授　業　内　容

（シラバス）

令　和　４　年　度
ファッション総合学科
テクニカル専攻科

香蘭女子短期大学

Koran Women's Junior College

目　　次

ファッション総合学科

総　合　演　習	1年	1期･2期	･･･････	1
	1年	3期･4期	･･･････	2
共通必修科目	1年		･･･････	3
指　定　科　目	1年		･･･････	5
教　養　科　目	1年	1期･2期	･･･････	11
	1年	3期･4期	･･･････	23
選　択　科　目	1年	1期･2期	･･･････	27
	1年	3期･4期	･･･････	36
総　合　演　習	2年	1期･2期	･･･････	57
	2年	3期･4期	･･･････	58
共通必修科目	2年	1期･2期	･･･････	59
	2年	3期･4期	･･･････	60
指　定　科　目	2年		･･･････	61
教　養　科　目	2年	1期･2期	･･･････	65
	2年	3期･4期	･･･････	69
選　択　科　目	2年	1期･2期	･･･････	73
	2年	3期･4期	･･･････	93

テクニカル専攻科

前　期	･･･････	107
後　期	･･･････	116

香蘭女子短期大学　建学の精神・3つのポリシー

■ 香蘭女子短期大学建学の精神

「いかなる困難な場にあっても、創意・工夫を大切にし、人を愛し、人から愛される自立した女性の育成」

■ 教育理念としての学訓

「創意・自立・敬愛」

■ 本学の使命（教育目標）

「建学の精神のもと、社会の中堅として、指導的役割を果たす有為な女性の育成」

〇教育目的・目標

ファッション業界で活躍できる技術力を養う
総合的なファッション知識を深める
ファッション教育を通して人間力を育成する

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

建学の精神から導かれた「創意・自立・敬愛」の学訓を基に、専門知識と技能及び社会人としての基礎能力を身につけ、所定の単位を修得し、各学科が定めたディプロマ・ポリシーを満たした人に卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

「創意・自立・敬愛」の学訓の精神を涵養し、専門知識および技能を身につける。学訓の精神は教養科目と専門科目に渡って涵養する。履修した授業科目の学習成果は、筆記試験、レポート、実技、作品、またはこれらの組み合わせにより評価・査定する。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学の学訓が「創意・自立・敬愛」であることを十分に理解したうえで、入学後、本学の学生としての教養と専門知識および技能を身につける意欲がある人の入学を求める。高等学校卒業までに修得した学習成果は、下記の表により判断・判定する。

	望まれる高等学校までの学習成果	判定指標	総合型選抜	学校推薦型選抜	一般選抜
基礎的な知識・技能	高等学校で履修した教科について基礎的な知識を有している	調査書または筆記試験・小論文、面接・面談	〇	〇	◎
思考力・判断力・表現力	自分の考えを他者に分かるように表現できる	面接・面談または筆記試験・小論文	◎	◎	△
	ある事象に対し多面的に考え、自分の考えをまとめ表現することができる	面接・面談または筆記試験・小論文	〇	〇	△
主体的に取り組む態度	身近な課題や問題に関心を持ち、解決しようとする意欲がある	面接・面談または筆記試験・小論文および調査書	◎	〇	△

◎ ： 特に重視する、　〇 ： やや重視する、　△ ： あまり重視しない

■ 短期大学としての学習成果

『建学の精神から導かれた「創意・自立・敬愛」の学訓を基に、専門知識と技能及び社会人としての基礎能力を身に付けている』

ファッション総合学科・テクニカル専攻科　教育の基本方針

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 知識、理解
 ①一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。
 ②ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。
 ③服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。
2. 技能、表現
 ①ファション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。
 ②ファション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザインカとIT技術を身につけている。
 ③修得した知識や技術を総合的に活用することができる。
3. 人間力、態度
 ①専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力（社会人になるためのマナー、コミュニケーション能力、忍耐力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）を有している。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 共通基礎教育
 ①豊かな人間形成のための基礎力と基礎的な学力を身につけるための科目を全学期（1期～8期）で開講し、専門科目とのバランスを図る。
 ②初年次教育として1、2期では、2年間の目標と計画を立て、短期大学での学習方法やレポートの書き方を学ぶ。また、チームワークや教員とのコミュニケーションを図る。
2. 専門教育
 ①ファッションの職種の広がりに対応するために、4つのフィールド（デザイン、ファッション造形、ファッションビジネス、生活スタイリング）の中から、将来なりたい職種に必要な科目をそれぞれ選択できる。
 ②多様な職種にも対応できる知識、技能、態度および考え方の総合的能力を身につける。
 ③アパレルメーカーで必要な実践的能力を身につける。
 ④学生が自主的に学ぶ科目として「特別演習」を設ける。
 ⑤専門的な知識を技術を身につけ、2年間の学びの集大成となる卒業研究を完成させる。
3. キャリア教育
 入学後の早い時期から最終期（2期～8期）まで現場で学ぶインターンシップを経験させるとともに、「総合演習」の中で学科独自の就職支援講座を充実させ、就労意識を高めるための体系的なキャリア教育を行う。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）（ファッション総合学科）

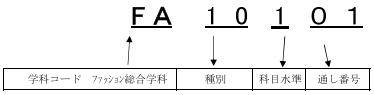
1. 入学後の就学に必要な基礎学力を有している人
2. 自らの感性と、その技術を高める意欲のある人
3. 服飾造形やファッションビジネスに関心があり、ファッションのことをもっと広く・深く学び、その知識や技術を社会や産業界で活かしたいと考えている人
4. 何事もあきらめずに努力し、自己の可能性に挑戦する意欲のある人
5. 地域社会とのかかわりに積極的に参加し取り組むことができる人

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）（テクニカル専攻科）

・デザイナー、パタンナー及び縫製等、製造業で活躍できる技術及び感性をもっと深く学びたい人。
・大学・短期大学または、専門学校（2年課程以上）を卒業した人で、ファッション・ビジネスについて学び、販売をスタートとし、将来店長、バイヤー及びコーディネーターとして活躍したい人。

ファッション総合学科科目ナンバリング

（ナンバリングの構成）



ファッション総合学科　学科コード　FA

ナンバリングの意味すること

種別	科目水準	通し番号
1　0	1	0　1

種別	授業科目	ナンバー
総合	総合演習Ⅰ	10101
	総合演習Ⅱ	10102
	総合演習Ⅲ	10103
	総合演習Ⅳ	10104
共通必修	被服構成の理解	20101
	被服構成実習	20102
	卒業研究Ⅰ	20103
	卒業研究Ⅱ	20104
指定科目	色の理解Ⅰ	30101
	ファッションビジネス概論	30102
	服装デザイン概論	30103
	パターンの理解	30104
	素材の知識	30105
	デザイン概論	30106
	ユニバーサルファッション	30107
	コーディネート企画論	30208
	特別演習Ⅰ	30109
	特別演習Ⅱ	30110
教養科目	文学Ａ（文学を楽しむ）	40101
	コンピューター演習	40102
	健康スポーツⅠ	40103
	西洋服装史	40104
	環境と生活	40105
	社会と心理	40106
	経済学（暮らしと経済）	40107
	消費科学	40108
	英語Ⅰ	40209
	英語Ⅱ	40210
	中国語	40111
	韓国語	40112
	フランス語	40113
	ビジネス英語	40114
	日本語文法の基礎	40115
	日本語語彙の基礎	40116
	日本語読解・作文の基礎	40117
	日常日本語会話の基礎	40118
デザイン	モードデッサン	50101
	デザインテクニックⅠ	50102
	ＣＧデザイン	50103
	ファッションイラストⅠ	50104
	色の理解Ⅱ	50205
	デザインテクニックⅡ	50206
	ファッションイラストⅡ	50207
	Ｗｅｂデザイン演習	50108
	デジタルイラストレーション	50209
	デジタル表現演習	50210
	音のデザイン	50111
	美術とファッション	50112
	デジタルモデリング演習	50113
	アニメーション演習	50114
	ファッション広告演習	50215

種別	授業科目	ナンバー
ファッションビジネス	ファッションスタイリング演習	51101
	ファッションとデザイン戦略	51102
	ビジュアルマーチャンダイジン	51103
	マーケティング基礎演習	51104
	アパレル情報分析	51105
	フォーマルウェア概論	51206
	ファッションビジネス戦略論	51207
	アパレル企画演習	51208
	カラーマーケティング演習	51209
	メンズファッション論	51110
	メディアと映像	51211
	ショップマネジメント	51212
生活スタイリング	国際マナーと服装	52101
	雑貨製作	52102
	デコレーション概論	52103
	織物実習	52104
	ヘア・メイクトレーニング	52105
	ファッションフォト	52106
	染色実習	52107
	きものと生活	52108
	きもの製作と着装	52109
	ファブリックワーク	52110
	インテリア生活	52111
	キッズ製作	52112
	生活コーディネート演習	52113
	ファッションアート	52114
ファッション造形	パターンメーキングⅠ	53101
	ファッションデザイン演習	53102
	ドレーピング演習Ⅰ	53103
	ファッション造形実習	53204
	ソーイング実習	53105
	アパレルＣＡＤ	53106
	ファッションデザインリサーチ	53207
	ドレーピング演習Ⅱ	53208
	ファッションクリエート演習	53209
	ドレス製作	53210
	デジタルパターン	53211
	パターンメーキングⅡ	53212
体験	ﾊﾟﾀｰﾝﾒｰｷﾝｸﾞ検定演習Ⅰ	54101
	ﾊﾟﾀｰﾝﾒｰｷﾝｸﾞ検定演習Ⅱ	54202
	海外研修	60105
	企業研修	60106
	インターンシップ	60107

〈種別〉

種別	
総合	10
共通必修	20
指定科目	30
教養	40
デザイン	50
ファッションビジネス	51
生活スタイリング	52
ファッション造形	53
体験	54
体験	60

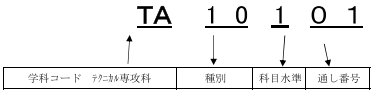
〈科目水準〉

基礎的科目	1
応用的科目	2

〈通し番号〉カリキュラム表順

テクニカル専攻科科目ナンバリング

（ナンバリングの構成）



テクニカル専攻科　　学科コード　TA

ナンバリングの意味すること

種別	科目水準	通し番号
1　0	1	0　1

種別	授業科目	ナンバー
特別	セコンダリーセミナーⅠ	10101
	セコンダリーセミナーⅡ	10102
共通	修了制作	20201
	企業とのプロジェクト企画	20202
	課題研究Ａ	20203
	課題研究Ｂ	20204
ﾌｧｯｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ研究	クリエート企画演習	30101
	テクニカル造形実習	30202
ﾌｧｯｼｮﾝﾋﾞｼﾞﾈｽ研究	コーディネート演習	31201
	ﾌｧｯｼｮﾝﾋﾞｼﾞﾈｽと商品分析	31102
素材研究	素材特性研究	32101
	特殊素材製作	32202
工業用ﾊﾟﾀｰﾝﾒｰｷﾝｸﾞ	パターン演習	33101
	デジタルパターン演習	33202
研修	インターンシップＡ	34101
	インターンシップＢ	34102
	学外学修	34103
	海外学修	34104

〈種別〉

種別	
特別	10
共通	20
ファッションデザイン研究	30
ファッションビジネス研究	31
素材研究	32
工業用パターンメーキング	33
研修	34

〈科目水準〉

基礎的科目	1
応用的科目	2

〈通し番号〉カリキュラム表順

令和4年(2022年)度　行事予定表

※補講について
通常の補講日(補講期間)以外に土曜日や5限目に補講を行うことがある。このような場合は事前に教務課掲示板により連絡するので注意すること。

(後期授業開始を保育2年以外9／22、保育2年9／29開始とする)

4月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	金		全学科2年生 OR		
2	土		入学式		
3	日				
4	月		全学科 オリエンテーション期間		
5	火				
6	水				
7	木				
8	金		前期・1期授業開始		
9	土				
10	日				
11	月				
12	火				
13	水				
14	木			FA・専攻登録変更日	LP登録変更日
15	金				
16	土				
17	日				
18	月				
19	火				
20	水				
21	木		食栄・保育登録変更日		
22	金				
23	土				
24	日				
25	月				
26	火				
27	水				
28	木				
29	金		全学科金曜授業日(昭和の日)		
30	土		休校日		

5月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	日		休校日		
2	月		休校日		
3	火		憲法記念日		
4	水		みどりの日		
5	木		こどもの日		
6	金		休校日		
7	土		休校日		
8	日				
9	月				
10	火				
11	水				
12	木				
13	金				
14	土				
15	日				
16	月				
17	火				
18	水				
19	木				
20	金				
21	土		食2年月曜授業日		
22	日				
23	月				
24	火				
25	水				
26	木				
27	金				
28	土		体育大会		
29	日				
30	月				
31	火				

6月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	水				
2	木				
3	金			FA・LP 1期 授業・補講 試験期間 6/3～6/9	
4	土				
5	日				
6	月				
7	火				
8	水				
9	木			1期 授業終了	
10	金			2期 授業開始	
11	土				
12	日				
13	月		食2給食管理学外実習		
14	火				
15	水				
16	木			FA2期 登録変更日	LP2期 登録変更日
17	金				
18	土				
19	日				
20	月			1期 試験結果発表	
21	火				
22	水			FA・LP1期 追再試験期間 22・23・24	
23	木				
24	金				
25	土		食2年火曜授業日		
26	日				
27	月				
28	火				
29	水				
30	木				

7月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	金				
2	土				
3	日				
4	月				
5	火				
6	水				
7	木				
8	金				
9	土		食2年水曜授業日		
10	日				
11	月				
12	火				
13	水				
14	木				
15	金				
16	土				
17	日				
18	月		全学科月曜授業日(海の日)		
19	火				
20	水				
21	木				
22	金				
23	土		食2年木曜授業日		
24	日				
25	月				
26	火				
27	水				
28	木		食2以外 前期授業終了	セメスター科目授業終了	
29	金		食2授業終了 保・食1補講		
30	土		補講	FA補講期間 7/29～8/1	
31	日				

8月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	月		補講終了		
2	火		食・保 単位認定試験		
3	水				
4	木			FA&LP クォーター科目 授業・補講・試験終了	
5	金			FA補講期間 8/2～8/6	LP 試験予備日
6	土				
7	日				
8	月				
9	火				
10	水				
11	木		山の日		
12	金				
13	土				
14	日				
15	月				
16	火		保2保育実習Ⅱ（保育所）Ⅲ（施設）		
17	水				
18	木				
19	金				
20	土				
21	日		Web実施		
22	月		前期・2期結果発表(保2以外) 履修登録(食栄・保1)		
23	火				
24	水			FA・専・LP学科 対面での 追再試期間	
25	木				
26	金				
27	土				
28	日		Web実施		
29	月		保2前期結果発表・履修登録		
30	火				
31	水				

9月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	木			FA・専・LP 追再試結果発表 履修登録	
2	金		食2・保2 対面での 追再試期間		
3	土				
4	日				
5	月				
6	火				
7	水				
8	木				
9	金				
10	土				
11	日				
12	月				
13	火				
14	水			FA企業研修	
15	木				
16	金				
17	土				
18	日				
19	月			敬老の日	
20	火			秋季入学式	
21	水				
22	木			保2以外後期・3期 授業開始	
23	金			全学科金曜授業日・食栄・保1追再試結果発表	
24	土				
25	日				
26	月				
27	火				
28	水			FA・専攻登録変更日	LP3・4期登録変更日
29	木		保2後期開始		
30	金		保2追再試結果発表		

10月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	土				
2	日				
3	月				
4	火				
5	水		食栄・保育登録変更日		
6	木				
7	金				
8	土				
9	日				
10	月		全学科月曜授業日(スポーツの日)		
11	火				
12	水				
13	木				
14	金				
15	土				
16	日				
17	月				
18	火				
19	水				
20	木				
21	金				
22	土				
23	日				
24	月				
25	火				
26	水				
27	木				
28	金				
29	土				
30	日				
31	月				

11月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	火		香蘭祭週間		
2	水		香蘭祭週間 11/7まで		
3	木		出校(通常の木曜扱い)		
4	金		RAN FES(前夜祭)		
5	土		香蘭祭		
6	日		香蘭祭		
7	月		後片付け		
8	火		代休		
9	水				
10	木				
11	金				
12	土				
13	日				
14	月				
15	火				
16	水				
17	木			FALP3期 授業・補講・ 試験期間 11/17～11/23	
18	金				
19	土				
20	日				
21	月				
22	火				
23	水		全学科水曜授業日	3期授業終了	
24	木		4期 授業開始		
25	金				
26	土				
27	日				
28	月				
29	火				
30	水		4期 登録変更日		

12月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	木				
2	金				
3	土				
4	日				
5	月				
6	火			3期 試験結果発表	
7	水				
8	木				
9	金			FA・LP3期 追再試験期間	
10	土				
11	日				
12	月				
13	火				
14	水				
15	木				
16	金				
17	土				
18	日				
19	月				
20	火				
21	水				
22	木				
23	金		冬季期間前授業終了		
24	土				
25	日				
26	月				
27	火				
28	水				
29	木				
30	金				
31	土				

1月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	日		元日		
2	月		振替休日		
3	火				
4	水				
5	木				
6	金				
7	土				
8	日				
9	月		成人の日		
10	火		授業再開		
11	水				
12	木				
13	金				
14	土		全学科月曜授業日		
15	日				
16	月				
17	火				
18	水				
19	木				
20	金				
21	土				
22	日				
23	月				
24	火				
25	水		保1・食栄 授業終了	セメスター科目授業終了	
26	木		保1・食栄 補講	FA補講期間 1/26～1/28	
27	金		保1・食栄 補講		
28	土				
29	日				
30	月		保1・食栄 試験開始 (2/3まで)		
31	火				

2月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	水		保2授業終了	FA&LP クォーター科目 授業・補講・試験終了	
2	木		保2補講 2/2・3		
3	金		保1・食栄 試験終了	FA試験期間 1/30～2/4	LP 試験予備日
4	土				
5	日				
6	月		保2試験2/4～2/9		
7	火				
8	水				
9	木			FA卒業制作展予定日	
10	金				
11	土			建国記念の日	
12	日				
13	月				
14	火				
15	水		保1保育実習Ⅰ（保育所・施設）①		
16	木				
17	金		Web実施 保1以外本試結果発表		
18	土				
19	日				
20	月				
21	火		1保育実習Ⅰ（保育所施設）②3/3まで	食栄・保2 FA・LP 対面での 追再試験期間 (20～23の4日間)	
22	水				
23	木				
24	金				
25	土				
26	日				
27	月				
28	火				

3月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	水				
2	木			Web実施	
3	金		保1本試、保1以外追再試結果発表		
4	土				
5	日				
6	月				
7	火				
8	水				
9	木				
10	金				
11	土				
12	日				
13	月				
14	火				
15	水				
16	木				
17	金		卒業パーティー		
18	土		卒業証書・学位記授与式		
19	日				
20	月				
21	火		春分の日		
22	水				
23	木				
24	金				
25	土				
26	日				
27	月				
28	火				
29	水				
30	木				
31	金				

学生の皆さんへ

オフィスアワーについて

◆本学では学生の皆さんの質問や相談などに先生方が対応するため、“オフィスアワー”を設けています。

先生方に質問や相談があれば“オフィスアワー”を利用してください。

・専任教員についての“オフィスアワー”の対応時間は各先生方の研究室入口に掲示してあります。
・非常勤教員についての“オフィスアワー”については、授業前・後の休み時間等を利用して教室等で相談してください。

（本学のホームページでも案内しています。：ホームページのトップページ⇒“在学生の方へ”⇒ “オフィスアワー”を参考にしてください。）

ファッション総合学科１年

総　合　演　習

共通必修科目

指　定　科　目

教　養　科　目

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
総合演習Ⅰ	FA10101	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	◎

Ⅱ. 概要

香蘭女子短期大学での勉学を開始するために必要となる初年次教育(レポート等の書き方、学生生活における時間管理、プレゼンテーション等の技法、図書館の効果的な利用法、その他学問修得に向けた動機付け等の取組)を行う。　本学ファッション総合学科での生活をより有意義に貴重な時間いするためには、短期大学生としての生活と高校までの生活との違いについて知ることが必要である。総合演習Ⅰでは、高校生とは異なる短期大学生としての修学姿勢や学生生活について、ホームルームや教育講演会、香蘭祭、その他の学校行事や学科行事等を通して理解し身に付けていく。

Ⅲ. 学習成果

ファッション総合学科の学生としての2年間の計画を立て実行する力をつける
短期大学生としての修学姿勢を身につける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 学科賞表彰式 、 履修登録確認 総合演習について概要	履修時間と単位の確認
2: 学科企画　交流会の報告書作成 小テスト①	小テスト①の予習
3: 2年間の計画 小テスト② ポートフォリオの作成	入学前課題の提出内容を振り返り、1・2期の目標について考える 小テスト②の予習　ポートフォリオの記入
4: 学年企画　体育祭の企画 小テスト③	体育祭の企画の準備をしてくる 小テスト③の予習
5: 香蘭祭ミーティング①　　2年生から概要説明 小テスト④	小テスト④の予習
6: 海外研修説明会	個人面談のためのシートを記入
7: 学科長講和	レポートを書き提出する
8: 人権教育 1期の確認	アンケートを書き提出する 1期クオーター受講者は出席と試験に備える
9: 2期登録変更について(クオーター科目) 香蘭祭ミーティング②　学年企画について　　小テスト⑤	1期の単位確認と2期の予定を再確認 小テスト⑤の予習
10: 教育講演会Ⅰ	レポートを書き提出する
11: 1期試験結果発表(クオーター科目) 香蘭祭ミーティング②　学年企画について　　小テスト⑥	追再試について確認 小テスト⑥の予習
12: 香蘭祭ミーティング③　学年企画について 小テスト⑦	小テスト⑦の予習
13: 履修指導①　3・4期について 小テスト⑧	シラバスを読む 小テスト⑧の予習
14: 全体集会 履修指導②　3・4期履修モデル　　小テスト⑨	登録科目を考える 小テスト⑨の予習
15: 1・2期のまとめ 小テスト⑩　ポートフォリオの提出	1・2期を振り返り、設定した目標の達成度を振り返る 小テスト⑩の予習　ポートフォリオの記入

＊準備学習についての補足説明
小テストの予習は、毎回30分以上は行うこと
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

小テストの内容に準じたテキストを使用する
その他必要な資料は配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

小テスト　30%　　課題レポート10%　　授業貢献度60%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

学校行事や学科行事、クラス行事等の企画内容により、時間外の学習時間が必要となる場合があります。
各レポートにはコメントでフィードバックします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
総合演習Ⅱ	FA10102	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	◎

Ⅱ. 概要

1年3, 4期は、主に進路決定に至る意識の育成や将来に向けて必要な知識や技能を身につけていく事が必要となる。
総合演習Ⅱでは、進路支援を中心に、自分にあった方向性を見出していくことを目的とした指導を行う。
さらに、各行事の企画を通して協調・協力していく力を身に付ける。

Ⅲ. 学習成果

進路決定のために計画をたて、実現に向けて活動を行う力をつける。
コミュニケーションカをつけるために協調・協力を身につける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: 履修登録確認 学科長講話	3・4期単位修得の確認
2: 全体集会 香蘭祭準備① 担当別報告 小テスト①	進捗状況の発表準備 小テスト①の予習
3: 進路支援講座① 自分企画書作成 小テスト② ポートフォリオの作成	自己分析・自己PRの課題プリントをまとめる 小テスト②の予習 ポートフォリオの記入
4: 香蘭祭準備② 担当別準備	担当した内容を進める
5: 進路支援講座② ファッションビジネスに関わる仕事について	ファッションビジネスの仕事について調べる レポートを書き提出する
6: 香蘭祭準備③ 担当別準備 小テスト③	小テスト③の予習
7: 学科賞授賞式 香蘭祭の反省会 小テスト④	レポートを書き提出する 小テスト④の予習
8: 進路支援講座③ 進路体験報告会(2年生より)	職種等を調べる 3期修得単位を確認する
9: 進路支援① 進路登録カード記入指導 3期履修確認(クオーター授業) 小テスト⑤	進路登録カード指定箇所の下書きをしておく 小テスト⑤の予習
10: 教育講演会Ⅱ	レポートを書き提出する
11: 進路支援講座④ ファッション業界を知る 3期試験結果発表(クオーター科目) 小テスト⑥	レポートを書き提出する 小テスト⑥の予習
12: 進路指導③ 履歴書下書き 小テスト⑦	履歴書下書きを進めてくる 小テスト⑦の予習
13: 進路指導④ 企業調査について 小テスト⑧	履歴書を清書してくる(1枚提出) 小テスト⑧の予習
14: 進路支援講座⑤ OG懇談会 小テスト⑨	レポートを書き提出する 小テスト⑨の予習
15: 履修指導 3・4期確認と2年1・2期の予定 小テスト⑩ ポートフォリオの作成	1年修得予定単位確認と2年開講科目を調べてくる 小テスト⑩の予習 ポートフォリオの記入

＊準備学習についての補足説明
小テストの予習は毎回30分以上行うこと
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

小テストの内容に準じたテキストを使用する
その他必要な資料は配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

小テスト 30% 課題レポート10% 授業貢献度60%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

学校行事や学科行事、クラス行事等の企画内容により、時間外の学習時間が必要となる場合があります。
各レポートにはコメントでフィードバックします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
被服構成の理解	FA20101	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
斉藤　朋子		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	◎
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	◎
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

複雑な曲線からなる人体を美しく覆い、動きやすい快適な衣服を形づくるためには、人体の構造と衣服との関係を理解する必要があります。そのために
必要な体型とパターンの関係や衣服に関する基本的な知識を身につけます。さらに衣服形態の推移など歴史的な視点からも衣服に関する知識を広げます。
また、被服製作に必要な縫製機器や基本となる縫製方法についても学びます。

Ⅲ. 学習成果

人体の構造を明らかにし問題点を見つけ、被服構成へどのように反映すればよいかを考える力がついている。
服飾造形の基礎知識を修得し、総合的に活用することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 導入　衣服の着衣動機 Kaiser博士による被服に関する心理学的研究	
2: 衣服形態の推移…衣服の祖型と衣服型 衣服に求められる特性(審美性、快適性、安全性について)	学習の振り返り表を記入すること
3: 衣服の用(機能性)と衣服の美(表現性)について ファッションについての概念　ファッションの魅力について	学修の振り返り表を提出すること 次回の課題に取り組むこと
4: 衣服の変遷に見られる身体観 (オートクチュールの時代以前)	課題について調べること 次回の課題について取り組むこと
5: 衣服の変遷見られる身体観 (プレタポルテの時代～現在)	課題について調べること 次回の課題について取り組むこと
6: 衣服と人体…人体の構造と運動機能　骨格、筋、関節と運動、皮膚と皮下脂肪 人体の計測方法について	教科書「服飾造形の基礎」のP46～P49を参照して プリントに記入してくること
7: 自分の体を計測しよう	教科書「服飾造形の基礎」のP57～P63を読んでおくこと
8: 体型の特徴と衣服…成人体型、成長と体型変化、人体形態の年代差	計測した表を提出することこと 教科書「服飾造形の基礎」のP106～P114を読んでおくこと
9: パターン設計について…原型とダーツの展開方法 衣服の平面と立体の認識について	原型ダーツの展開図を完成させておくこと
10: パターン設計について…切り替え戦の展開方法、パターンの記号について	原型ダーツの展開図を提出すること 教科書「服飾造形の基礎」のP72～P76を読んでおくこと
11: 縫製の基礎知識 衣服の素材と付属材料	教科書「服飾造形の基礎」のP115～P129を読んでおくこと
12: 縫製の基礎知識 裁断と縫製の基礎	教科書「服飾造形の基礎」のP130～P139を読んでおくこと
13: 立体化のための技法	提示した課題プリントに取り組むこと
14: 織物の知識　(グループワーク)	織物の組織図を完成させて提出すること
15: まとめ	学習の振り返り表の総括とノートを提出すること

＊準備学習についての補足説明
教科書を使った準備学習を毎回30分程度は行うこと
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

文化ファッション体型、服飾造形講座1　服飾造形の基礎

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験60%　提出物20%　学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各自の体型を計測したり観察したりします。(問題のある学生は申し出ること。)
配布した資料の再配布はしないので、紛失しないように保管すること。また無断欠席した場合も再配布はしない。
学習の振り返り表のコメントでフィードバックします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
被服構成実習	FA20102	開講時期:	1・2期		
		形態:	実習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
角谷　由加里		履修要件他:			
山北　真紀 / 津留崎　順子		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	◎
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

①ブラウスとスカートの製作を通して、ミシンの使い方や生地の裁断、縫製などの基本的な技術を身につける。
②製作を通して、基本的な服の構造を理解する。

Ⅲ. 学習成果

基本的な縫製技術が身に付く。
基本的な服の構造を理解し、今後の学習に活かすことができる知識や技術が身につく。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　導入、本縫いミシンとロックミシンの使い方	(予習)服飾造形の基礎《第2章》を読み、用具の名称や用途を理解しておく
2:《直線裁ちギャザースカート》裁断、ロック始末、脇縫い	(予習)服飾造形の基礎P131を読み、地の目直しの手順を確認しておく
3:　《直線裁ちギャザースカート》ウエストと裾の本縫い、ゴム通し	(予習)配布資料をみて手順を確認しておく
4:　《定規入れ》裁断、印つけ、ロック始末	(予習)配信動画または配布資料をみて手順を確認しておく
5:　《定規入れ》本縫い、スナップボタンつけ、仕上げ	(予習)配信動画または配布資料をみて手順を確認しておく
6:　《セミタイトスカート》裁断、印つけ、ロック始末	(予習)配信動画または配布資料をみて手順を確認しておく
7:　《セミタイトスカート》コンシールファスナーつけ	(予習)配信動画または配布資料をみて手順を確認しておく
8:《セミタイトスカート》ダーツと脇の本縫い	(予習)配信動画または配布資料をみて手順を確認しておく
9:　《セミタイトスカート》ベルト作り、ベルトつけ	(予習)配信動画または配布資料をみて手順を確認しておく
10:　《セミタイトスカート》裾をまつる、前カンをつける、仕上げ	(予習)配信動画または配布資料をみて手順を確認しておく
11:　《ブラウス》　裁断、芯接着、印付け	(予習)配信動画または配布資料をみて手順を確認しておく
12:　《ブラウス》　ロック始末、見返しおよび肩の本縫い、衿つくり	(予習)配信動画または配布資料をみて手順を確認しておく
13:　《ブラウス》　衿つくり(続き)、衿つけ	(予習)配信動画または配布資料をみて手順を確認しておく
14:　《ブラウス》　袖つけ、脇縫い、袖口ステッチ	(予習)配信動画または配布資料をみて手順を確認しておく
15:　《ブラウス》　裾ステッチ、ボタンホール、ボタンつけ、仕上げ	(予習)服飾造形の基礎P151　ボタンのつけ方をみて手順を確認しておく

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回30分程度行うこと。
授業内で終わらなかった工程は時間外で工程を進め次の授業までに終わらせておくこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

文化服装学院編「服飾造形の基礎」「スカート・パンツ」「ブラウス・ワンピース」
教員作成の配布資料および配信動画

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題作品(ギャザースカート、定規入れ、セミタイトスカート、ブラウス)／70%　受講態度／15%　学習意欲／15%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

◆製作のための生地、付属品は各自で購入。(一部配布するものも有り)
◆教科書、配布資料、パターン、裁縫道具一式、定規等は毎回必ず持参すること。
◆課題作品はコメントを添えて返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
色の理解Ⅰ	FA30101	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択必修		
担当者		免許・資格など 履修要件他:	ベーシックフィールド指定科目		
岡田　絵梨奈		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

1 指定科年目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

私たちの身のまわりにはたくさんの色があり、とりわけファッションやメイクアップなどデザインに関連する分野と色彩は密接な関係にあります。
デザインで重要な役割を果たす「デザインの色彩」「カラーコーディネート」についての基礎的な知識を理論的に学ぶことで
目的に合わせたカラーコーディネーションを実現するための技術を習得し、今後の授業や課題で応用することができます。

Ⅲ. 学習成果

色についての基礎知識を理解し、カラーコーディネートの力を身につけることができる。
色の性質や効果を学び、目的に応じた配色を考えることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション 色のはたらき	シラバスとテキストの範囲を確認しておくこと
2: 光と色	課題プリントの実施
3: 眼のしくみ	眼のしくみの内容を暗記する　次回小テスト
4: 照明と色の見え方	照明の種類をリサーチし、分類する
5: 混色① 加法混色	課題プリントの実施
6: 混色② 減法混色	課題プリントの実施
7: 学習のまとめ 検定対策とポイント	色彩検定3級の過去問題を解く
8: 色の表示(表色系)① 色の分類と三属性	課題プリントの実施
9: 色の表示(表色系)② PCCSとカラーカード	色相環とトーン表を作成する
10: 色彩心理① 色の心理効果	色の心理効果についてリサーチし、まとめる　発表準備
11: 色彩心理②　色の心理効果について発表 色の視覚効果　色の対比	色の視覚効果についてリサーチし、まとめる　発表準備
12: 色彩心理③　色の心理効果について発表 同時対比、色の同化	課題プリントの実施
13: 色彩心理のまとめ	課題プリントの実施
14: 学習のまとめ 検定対策とポイント	色彩検定3級の過去問題を解く
15: 色彩とファッションについて 試験について	これまでの課題をまとめる

＊準備学習についての補足説明
課題プリントなど30分以上の準備学習が必要となります。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は色彩検定協会「色彩検定3級　公式テキスト」 を使用します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験 45%　課題 50%　学習の意欲 5%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

文部科学省後援　色彩検定3級の対策支援も含めた授業です。
検定試験受験のためには時間外での自主学習が必要となります。
課題や授業では、のり・はさみ等が必要です。 課題は返却時に個別にフィードバックします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
ファッションビジネス概論	FA30102	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択必修		
担当者		免許・資格など	ベーシックフィールド指定科目		
手嶋　康則		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

・ファッションの歴史の変化からこれからのアパレル業界のあり方について理解する。
・洋服が出来上がるまでの企画・製造・販売の流れを学ぶ。
・アパレルショップに行き、ショップでは何が重要なのかを理解する。
・お客様に適した具体的な接客販売のスキルを習得する。

Ⅲ. 学習成果

1. アパレル業界のビジネスに関する知識を習得している。
2. アパレル企業の特徴を専門用語(ファッション用語)を使い説明することができる。
3. アパレルショップの接客販売に必要な知識と技術を習得している。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ファッションビジネスについて **グループワーク: ファッションビジネスとは何か考える**	自分にとってファッションとは何かを考えてまとめておく
2: ファッションビジネスの歴史 **DVD鑑賞:「ファッションビジネスの歴史」**	いろいろなファッションデザイナーについて調べる
3: アパレル業界の構造 **DVD鑑賞:「アパレル業界の役割」**	いろいろなアパレル企業について調べる
4: アパレル業界の基礎知識Ⅰ 国内・海外のテキスタイル	テキスタイルに関する課題
5: アパレル業界の基礎知識Ⅱ **グループワーク: ネット資料の活用方法**	ファッションアイテムに関する課題
6: アパレル・マーチャンダイジングⅡ **DVD鑑賞:「アパレル業界の役割」**	ファッションブランド関する課題
7: アパレル業界の課題 **DVD鑑賞:「ファストファッションの裏側」**	DVDを観た感想文を書く
8: ファッション・マーケティング② **グループワーク:「MY SHOP 自慢コンテスト」のプレゼンテーション**	プレゼンボードを作成する
9: ファッション・マーチャンダイジングについて **グループワーク: ショップの映像から問題点を考える**	ファッション・マーチャンダイジングの課題
10: 接客販売の基本 **DVD鑑賞:「購買心理①」**	購買心理の特徴をまとめる
11: 接客販売の法則 **DVD鑑賞:「購買心理②」**	購買心理の特徴をまとめる
12: 接客販売の実践 **グループワーク: ロールプレイング審査**	ロールプレイング審査の課題
13: 接客販売の応用 **DVD鑑賞:「ロールプレイングのポイント」**	ファッションビジネスの10年後を考える
14: ファッションビジネスの今後について リアルとネットの融合	ファッションビジネスの10年後についてまとめる
15: ファッションビジネスの仕事　※アンケート実施 まとめ	試験範囲の復習

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

オリエンテーションでテキスト(有料500円)を配布します。
参考図書:「ファッション販売」(発行所　アール・アイ・シー)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験　50%
小テストの総合点　25%
プレゼンボードの作成　25%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

◇小テストのフィードバックは、授業の中で解答と解説を行います。また、提出されたレポートは採点評価後に返却します。
◈メンズ、レディス、服飾雑貨、アクセサリーのバイイングおよびショップ運営の経験を活かした実務・実践的指導をします。
※この授業計画は対面授業を前提としおり、遠隔授業に変更された場合はWeb授業に適した授業運営を考えています。
「実務経験教員科目」特記事項:メンズ、レディス、服飾雑貨・アクセサリーの企画およびショップ運営。国内外でのバイヤーを経験。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
服装デザイン概論	FA30103	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択必修		
担当者		免許・資格など 履修要件他:	ベーシックフィールド指定科目		
岡田　絵梨奈		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	○
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

デザインの形式原理やファッションデザインで必要な素材・技術・色彩・形態などの基礎的知識の習得を目指します。
ファッションデザイン論用語の理解も自己流のデザインセンスを一流のデザインセンスへ高めるために必要なことであり
ファッション知識を深めることを目的とします。

Ⅲ. 学習成果

多くのファッション用語を理解すると同時に、ファッションデザインの基礎的知識を習得し
今後の授業及びファッション業界で活用できるようになることを目的とします。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション	シラバスを読んでおくこと
2: デザインとは何か ・身の回りのデザインについて	生活の中のデザインについて調査し 好きなデザインについて課題プリントにまとめる
3: ファッションデザインについて ・ファッションデザインと服飾デザインの違い	ブランドやデザイナーについてまとめる
4: シルエットの種類 ・シルエットの名称とその特徴	ファッション雑誌から様々なシルエットを抽出し、まとめる
5: シャツとブラウスの基礎知識 ・襟や袖のデザイン　・シャツやブラウスのデザイン比較ディスカッション	シャツの種類とデザイン分析 課題プリント
6: ディティールを観察する ・ディティールの種類とその特徴	服のディティールデザインを観察する 課題プリント
7: スカートの基礎知識 ・プリーツの種類　・スカートのデザイン比較ディスカッション	スカートの種類とデザイン分析 課題プリント
8: ワンピースの基礎知識 ・シルエットの復習	ワンピースのデザイン分析 平図の描き方練習　課題プリント
9: これまでの学習の振り返りと補足 ・小テストと平図演習	これまでの学習の振り返りとプリントの整理
10: パンツの基礎知識	パンツのデザイン分析 課題プリント
11: ジーンズの基礎知識 ・ジーンズの染色や加工の種類　・ジーンズのデザイン比較グループワーク	ジーンズのデザイン分析 課題プリント
12: ジャケット・スーツの基礎知識 ・平図の制作	ジャケットとスーツのデザイン分析 課題プリント
13: コートの基礎知識 ・用途に合わせたコートデザイン	コートのデザイン分析 課題プリント
14: ファッションイメージからファッションデザイン企画へ	テーマに合わせて平図を描く
15: まとめ ・試験についての説明　ファイルの確認	ファイルの最終チェックと質疑応答

＊準備学習についての補足説明
課題プリントや調査など30分以上の準備学習が必要となります
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書はありませんが、毎回テキスト(プリント)を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

試験(60%)、課題提出物(30%)、学習への意欲(10%)
※試験には、ファイリングした配布テキスト・課題プリント・自筆ノートの持ち込み可。(規定のポケットファイル様式)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

ファッション雑誌を使用して課題を作成しますので、切り取りのできるファッション雑誌、のり、はさみ等が必要です
また、全ての課題については返却時に個別にフィードバックを実施いたします。

「実務経験教員科目」特記事項:スタイリスト経験を活用し、ファッションにおける共通言語の重要性を実践を通じて深めていきます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
パターンの理解	FA30104	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択必修		
担当者		免許・資格など	ベーシックフィールド指定科目		
斉藤　朋子		履修要件他:			
津留﨑　順子		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	◎
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

服の設計をするための型紙作成の基本となる平面作図法を学ぶ。
トップス(身頃)、ボトムス、ワンピースの基本パターンとその展開方法について学び、縮尺によるノート作りをする。

Ⅲ. 学習成果

身頃・袖・スカートの原型と展開法がわかるようになる。
婦人服のパターンを観察し把握する、基本的な力を身につける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: スカート原型の作図	スカート原型について教科書を熟読すること。 スカート原型の作図について要点をまとめる。
2: スカートのダーツ展開(セミタイト・フレアー)	スカート原型の展開について教科書を熟読すること。 スカート原型の展開について要点をまとめる。
3: ヨーク切り替えのヒップボーンスカートの作図(ヨーク切り替え)	ヨーク切り替えについて教科書を熟読すること。 ヨーク切り替えスカートの作図について要点をまとめる。
4: 部分プリーツ展開の作図	プリーツ展開について教科書を熟読すること。 プリーツ展開について要点をまとめる。
5: 身頃原型(身頃の構造を知る)	文化式原型の概要を教科書で読んでおくこと。 文化式身頃原型について要点をまとめる。
6: 身頃原型のダーツ展開	文化式原型のダーツ展開について教科書で読んでおくこと。 文化式身頃原型のダーツ展開について要点をまとめる。
7: シャツカラーブラウスの作図	シャツカラーブラウスについて教科書で読んでおくこと。 シャツカラーブラウスの製図について要点をまとめる。
8: 袖の作図	ブラウスの袖について教科書で読んでおくこと。 袖の作図について要点をまとめる。
9: フラットカラーブラウスの作図	フラットカラーブラウスについて教科書で読んでおくこと。 フラットカラーブラウスの製図について要点をまとめる。
10: フラットカラーブラウス(身頃の展開と衿の作図)	ブラウスの衿について教科書で読んでおくこと。 フラットカラーの作図について要点をまとめる。
11: フラットカラーブラウス(袖の作図)	ブラウスの袖について教科書で読んでおくこと。 袖の作図と展開について要点をまとめる。
12: ワンピースの作図①(原型操作と身頃の作図)	ワンピースについて教科書で読んでおくこと。 ワンピースの身頃製図について要点をまとめる。
13: ワンピースの作図②(袖の作図)	ワンピースの袖について教科書で読んでおくこと。 ワンピースの袖の製図について要点をまとめる。
14: ワンピースの作図③(袖の展開)	ワンピースの袖について教科書で読んでおくこと。 ワンピースの袖の製図について要点をまとめる。
15: まとめ(ファイル整理と提出)	これまでのパターンの平図を描いておくこと。 ファイル整理と提出

＊準備学習についての補足説明
毎回の授業について30分程度の準備学習が必要となる。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

文化服装学院編「スカート・パンツ」「ブラウス・ワンピース」
配付プリント

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験70%、ファイル提出20%、学習意欲10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業内で完成しなかった場合や欠席した場合には、次回までに各自で課題を進めて準備してください。
A3クリアファイル、定規類(実寸用・1/2縮尺)等の準備が必要となります。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
素材の知識	FA30105	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択必修		
担当者		免許・資格など	ベーシックフィールド指定科目		
松本　美保子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

ファッション産業の現場で使用される様々な素材についての基礎を学ぶ。
また、素材である繊維、糸、布の種類や組織、特性、後加工の役割について基本的な知識を学び、実際に体験学習などを行い習得する。
衣に関わることは衣空間、住空間、さらにeco(エコ)環境と、現代が必要とすることへの対応を含みヴィジュアルレポートにまとめ学ぶ。
この ヴィジュアルレポートとは、見て分かるレポートのことで、授業で必要なことをコンパクトにまとめる技術を習得する。

Ⅲ. 学習成果

使用される素材の基本的な知識を、サンプルや簡単な試作、実験などで、視覚だけではなく テクスチュア感(手触り感)も含み確認し、
種々の布地に対しての理解ができる。
また、加工やeco(エコ)、新素材などにもファッション＋応用・展開の幅を広げることができる。
ヴィジュアルレポートを基にグループディスカッションし、相手に伝達する方法を身につける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション　ファッションとの関わり 素材とは　テキスタイルとは　歴史と産業	シラバスの概要、学習成果を読んでおく
2: 素材としての繊維の理解　糸素材から衣料品ができるまでの流れ 繊維特性についての総合的な理解	ファッションに関わる布製品を調べる
3: 天然繊維 綿・麻・毛・絹　歴史　世界の産地　特性	綿・麻・毛・絹についてファッションアイテムも含み調べる
4: 化学繊維 歴史　種類　特性	化学繊維の種類について調べる
5: その他の繊維 天然皮革　毛皮　人造皮革　特性	天然皮革・毛皮・人造皮革製品を調べる
6: 素材収集　布地　糸　体験学習 テクスチュア感の理解　布地についてのまとめ方をディスカッションする	色々な布地を集めておく　素材名が分かるものは記す
7: 糸について　糸の分類　素材による糸質の違い 糸と素材の関係　種類　太さ　撚り	ミシン糸他、身の回りの糸を集める
8: 布について　歴史と役割、用途　布地と素材感の関係 布地の種類　織地　編地　レース　不織布　他	有名なプリント模様の柄を調べる
9: 織体験学習　織物組織図の理解 平織、綾織(斜文織)で織布地の理解　グループディスカッションでポイントを学ぶ	オリジナル織物サンプルを織る
10: 布地の加工 1　加工とは　加工の種類 染色加工　仕上げ加工	布地を2種類加工する
11: 布地の加工 2　改質加工 繊維製品の表示　クリーニング表示　の理解	身の回りの繊維製品の表示を集める
12: 布地と色彩、テクスチャ―感の関わり カラートレンドと布地の関係　テクスチャ―用語　光との関係　JAFCA	街中の カラートレンドを調べる
13: 布地の役割　1 環境との関わりとしてのエコ　プレゼンテーション方法説明 リサイクル　リユース　リデュース　などの理解	環境エコ作品制作 プレゼンテーションボードを作る
14: 布地の役割　2 環境エコ作品プレゼンテーション 素材加工の関係	ヴィジュアルレポート、配布資料をファイルにまとめる
15: まとめ ファイルを基にグループディスカッションし授業内容の把握をする	ヴィジュアルレポートファイルを基に、本講義の内容を再確認 素材に対する興味の幅を確認する

＊準備学習についての補足説明

各回授業時に次回説明を行い、予習としてのビジュアルレポートを提示します。また、復習としてファイルにまとめそれぞれの見地を再確認します。準備学習に必要な時間は30分以上行うこと
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験　50%　ヴィジュアルレポート 40%　学習の意欲　10%
居眠り、私語、スマートフォンの使用の使用に関しては　学習の意欲　の評価の対象となります。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各自リサーチを心がけるように指示を出します。コミュニケーションに必要な態度にも気を配るようにしてください。
各回の課題は返却時に良い点や工夫点等を紹介し、コメントを伝えます。
これらの積み重ねが次への応用に役立ち、向上への必要性を認識につながります。
配布資料や課題を入れるファイル、課題で試作する使用材料の一部は個々に準備していただきます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
特別演習 I	FA30109	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択必修		
担当者		免許・資格など	ベーシックフィールド指定科目		
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	○
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	◎

Ⅱ. 概要

各自が授業以外にチャレンジしたいと思う内容を決め、実践する科目である。
各フィールドで学んだ知識を実践的にチャレンジすることで、人間力および行動力を身につけ、ファッションの多様な職種にも対応できる能力を身につけることを目的とする。チャレンジの内容は1、自主課題制作または研究 2、デザインコンテストへの作品応募 3、各種検定試験対策 以上の中から選択すること。

Ⅲ. 学習成果

様々なことにチャレンジすることにより、人間力や行動力を身につけることができる。
主体的な学びができるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

	授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:	導入 特別演習Ⅰについての説明	チャレンジする内容を考えておく
2:	各自のチャレンジ内容の申請	チャレンジの内容をまとめておく
3:	各自のチャレンジ内容に応じた実習、研究、 検定対策問題を行う 活動計画表の記入	作品制作や検定対策問題の予習復習を行い、 疑問点や質問事項を見つけておくこと
4:	各自のチャレンジ内容に応じた実習、研究、 検定対策問題を行う 活動計画表の記入	作品制作や検定対策問題の予習復習を行い、 疑問点や質問事項を見つけておくこと
5:	各自のチャレンジ内容に応じた実習、研究、 検定対策問題を行う 活動計画表の記入	作品制作や検定対策問題の予習復習を行い、 疑問点や質問事項を見つけておくこと
6:	各自のチャレンジ内容に応じた実習、研究、 検定対策問題を行う 活動計画表の記入	作品制作や検定対策問題の予習復習を行い、 疑問点や質問事項を見つけておくこと
7:	各自のチャレンジ内容に応じた実習、研究、 検定対策問題を行う 活動計画表の記入	作品制作や検定対策問題の予習復習を行い、 疑問点や質問事項を見つけておくこと
8:	各自のチャレンジ内容に応じた実習、研究、 検定対策問題を行う 活動計画表の記入	作品制作や検定対策問題の予習復習を行い、 疑問点や質問事項を見つけておくこと
9:	各自のチャレンジ内容に応じた実習、研究、 検定対策問題を行う 活動計画表の記入	作品制作や検定対策問題の予習復習を行い、 疑問点や質問事項を見つけておくこと
10:	各自のチャレンジ内容に応じた実習、研究、 検定対策問題を行う 活動計画表の記入	作品制作や検定対策問題の予習復習を行い、 疑問点や質問事項を見つけておくこと
11:	各自のチャレンジ内容に応じた実習、研究、 検定対策問題を行う 活動計画表の記入	作品制作や検定対策問題の予習復習を行い、 疑問点や質問事項を見つけておくこと
12:	各自のチャレンジ内容に応じた実習、研究、 検定対策問題を行う 活動計画表の記入	作品制作や検定対策問題の予習復習を行い、 疑問点や質問事項を見つけておくこと
13:	各自のチャレンジ内容に応じた実習、研究、 検定対策問題を行う 活動計画表の記入	作品制作や検定対策問題の予習復習を行い、 疑問点や質問事項を見つけておくこと
14:	各自のチャレンジ内容に応じた実習、研究、 検定対策問題を行う 活動計画表の記入	作品制作や検定対策問題の予習復習を行い、 疑問点や質問事項を見つけておくこと
15:	活動レポートまたは作品の完成 最終報告書の作成	活動計画表の提出、作品の場合は作品の提出の準備 報告書をまとめる

＊準備学習についての補足説明
先生に習うのではなく、主体的に学ぶことが目的であるため、予習、復習を十分に行い、疑問点を見つけて授業に臨むこと。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

各自のチャレンジに応じて、教科書や資料を準備する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

チャレンジの内容 計画への取り組み度 (活動状況) 最終報告書 などを総合的に評価する.
学習ルーブリックによる評価100%。評価内容は事前に伝える。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

疑問点を見つけ出し、わからないことは専門の先生に質問して解決すること。
毎回の報告内容に対して、コメントでフィードバックします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
文学A （文学を楽しむ）	FA40101	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
橋本　浩		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	○

Ⅱ. 概要

文学は人間の思いを言葉で表したものである。私たちの周りには先人たちが残してくれた名作と呼ばれる文学作品が数多く存在している。そして私たちは、それらを読むことを通して、様々な人間の営みを時代を超えて追体験し、自身の人生を豊かにしていくことができる。

この授業では、代表的文学作品の鑑賞を通し、文学に親しむ心を育てるとともにその楽しさを味わい、語彙力や表現力、さらには教養を高めていくことを目的として行う。

Ⅲ. 学習成果

（1） 文学作品の背後にあるそれぞれの時代を生きた人々の生活や、生きた姿、またその思いを知ることができる。
（2） 人間としての在り方・生き方を、自分自身に重ねて鑑賞することにより、人生を豊かなものにしていくきっかけを得ることができる。
（3） 時代を問わず広く文学に親しむことにより、語彙力や表現力を身につけ、教養を高めることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1: 文学概観とオリエンテーション～文学を学ぶ意義　講義・協議 *有名文学（フレーズ）紹介　オリエンテーション	課題1、近現代の作品を読む①（森鷗外「舞姫」）
2: 上代の文学（1）～神話や伝説：古事記(上)　講義 *有名文学（フレーズ）紹介　近現代文学作品課題解説①	○発表者決定及び準備（発表の要領については下欄「Ⅶ、その他」を参照のこと。） 課題2、近現代の作品を読む②（志賀直哉「城の崎にて」）
3: 上代の文学（2）～神話や伝説：古事記（下）、　講義・発表・協議 *有名文学（フレーズ）紹介　近現代文学作品課題解説②	課題3、近現代の作品を読む③（太宰治「走れメロス」）
4: 中古の文学（1）～和歌集：万葉集　講義 *有名文学（フレーズ）紹介　近現代文学作品課題解説③	○発表者決定及び準備（発表の要領については下欄「Ⅶ、その他」を参照のこと。） 課題4、近現代の作品を読む④（小川未明「赤いロウソクと人魚」）
5: 中古の文学（2）～歌物語：伊勢物語（上）　講義・発表・協議 *有名文学（フレーズ）紹介　近現代文学作品課題解説④	課題5、現代の作品を読む⑤（菊池寛「恩讐の彼方に」）
6: 中古の文学（3）～歌物語：伊勢物語（下）　講義 *有名文学（フレーズ）紹介　近現代文学作品課題解説⑤	○発表者決定及び準備（発表の要領については下欄「Ⅶ、その他」を参照のこと。） 課題6、近現代の作品を読む⑥（壺井栄「二十四の瞳」）
7: 中古の文学（4）～日記文学：蜻蛉日記（上）　講義・発表・協議 *有名文学（フレーズ）紹介　近現代文学作品課題解説⑥	課題7、近現代の作品を読む⑦（井伏鱒二「山椒魚」）
8: 中古の文学（5）～日記文学：蜻蛉日記（下）・更級日記（上）　講義 *有名文学（フレーズ）紹介　近現代文学作品課題解説⑦	○発表者決定及び準備（発表の要領については下欄「Ⅶ、その他」を参照のこと。） 課題8、近現代の作品を読む⑧（伊藤左千夫「野菊の墓」）
9: 中古の文学（6）～日記文学：更級日記（下）　講義・発表・協議 *有名文学（フレーズ）紹介　近現代文学作品課題解説⑧	自由課題、百人一首の中から「好きな一首」を選びレポートにまとめ提出。
10: 百人一首 かるた会～源平戦	課題9、近現代の文学作品を読む⑨（芥川龍之介短編集）
11: 中古の文学（7）～随筆：枕草子　講義 *有名文学（フレーズ）紹介　近現代文学作品課題解説⑨	○発表者決定及び準備（発表の要領については下欄「Ⅶ、その他」を参照のこと。） 課題10、近現代の文学作品を読む⑩（宮沢賢治「どんぐりと山猫」）
12: 中古の文学（8）～物語：源氏物語　講義・発表・協議 *有名文学（フレーズ）紹介　近現代文学作品課題解説⑩	課題11、近現代の文学作品を読む⑪（有島武郎「一房の葡萄」）
13: 中世の文学（1）～軍記物語：平家物語　講義 *有名文学（フレーズ）紹介　近現代文学作品課題解説⑪	○発表者決定及び準備（発表の要領については下欄「Ⅶ、その他」を参照のこと。） 課題12、近現代の文学作品を読む⑫（新美南吉「ごんぎつね」）
14: 中世の文学（2）～随筆：徒然草（上）　講義・発表・協議 *有名文学（フレーズ）紹介　近現代文学作品課題解説⑫	課題13、近現代の文学作品を読む⑫（梶井基次郎「檸檬」）
15: 中世の文学（3）～随筆：徒然草（下）・総まとめ　講義・協議 *有名文学（フレーズ）紹介　近現代文学作品課題解説⑬	○これまでの振り返り。（これまで学んですべての学習資料を持参）

＊準備学習についての補足説明
○発表する者は、予め予告する当日解説予定の文学作品について、テキストや図書館等にある書籍・参考本により調べること。　○準備学習は各回45分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

○授業担当者による作成資料（教科書は使わない）

Ⅵ. 評価方法と評価基準

（1）単位認定試験（55%）　（2）発表・課題・レポート（25%）
（3）学習の意欲（20%）

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

1、毎時間の復習課題に誠実に取り組むこと。
2、発表者は、作品の概要について、A4一枚に次の事項をまとめる。①成立　②作者等　③文体　④文学史的意義等　⑤主な内容　⑥鑑賞や感想
パワーポイント使用可。発表後は協議の時間を設け 、内容の共有と深化を図る。
フィードバックについては、毎回担当者による発表に対するコメントの他、学生間相互評価も取り入れる。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
コンピューター演習	FA40102	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
髙橋　主光		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	◎
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

皆さんが社会人となるに当たり、小売に関する業務であれば人員管理・売り上げ管理・データ分析の知識、デザインに関する業務であればパワーポイントによるプレゼンテーションの知識を身につけることとは必須となります。また、日々の業務において、WORDを用いた文書作成やEメールでの連絡は不可欠です。本講義では、WORD/EXCEL/POWERPOINTの基礎的な知識を身につけることを通じ、上記のような能力の基礎を固めることを目標とします。

Ⅲ. 学習成果

1.簡単な文書作成、Eメールによる連絡ができる
2.EXCELを用いた簡単な計算や、グラフの作成ができる
3.POWERPOINTを用いたプレゼンテーション資料が作成できる
4.WORD/POWERPOINTでの資料作成において、EXCELで作成した表やグラフ、画像を挿入できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:授業ガイダンス、Eメールの使い方について	Eメールの使い方に関し、復習をする
2:WORDを使った文書入力(1):簡単な文書を作成する	復習として、課題文を入力する
3:WORDを使った文書入力(2):フォントの変更、Eメールにファイルを添付する	Eメールで、添付ファイルを送付できるようにする
4:EXCELの使い方(1):四則演算	復習として、実際の計算問題を行う
5:EXCELの使い方(2):合計、平均などを出してみる	復習として、実際の計算問題を行う
6:EXCELの使い方(3):棒グラフ、折れ線グラフを作成する	復習として、実際のグラフ作成問題を解く
7:EXCELの使い方(4):円グラフ、折れ線グラフを作成する	復習として、実際のグラフ作成問題を解く
8:EXCELの使い方(5):ピボットテーブル	復習として、実際の計算問題を行う
9:EXCEL、WORDの使い方(1):作成したグラフをWORDに貼付する	課題に基づき作成したファイルを、Eメールで送付する
10:EXCEL、WORDの使い方(2):画像をWORDに貼付する	課題に基づき作成したファイルを、Eメールで送付する
11:POWERPOINTの使い方(1):デザインを変更する	課題に基づき作成したファイルを、Eメールで送付する
12:POWERPOINTの使い方(2):簡単なスライドを作成する	課題に基づき作成したファイルを、Eメールで送付する
13:POWERPOINTの使い方(3):スライドに画像やグラフを貼付する	課題に基づき作成したファイルを、Eメールで送付する
14:POWERPOINTの使い方(4):アニメーション	課題に基づき作成したファイルを、Eメールで送付する
15:POWERPOINTの使い方(5):実際にプレゼンテーションを行う	

＊準備学習についての補足説明
毎回、2時間程度の課題を出します。各回の課題に関しては、講義中に課題プリントを配布します。教科書の該当箇所に関しても、課題プリントに記載します。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「今すぐ使えるかんたんmini Word & Excel & PowerPoint 2019 基本技」技術評論社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出(60%)、学習への意欲(20%)、最終プレゼンテーション(20%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

毎回出席し、課題を提出すること(USBメモリを持参すること)
私語や講義中の携帯電話等の使用は減点の対象とします
課題に関しては、解答例を配布します

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
健康スポーツⅠ	FA40103	開講時期:	1・2期		
		形態:	実講	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
秋峯　良二		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	○

Ⅱ. 概要

・健康生活と運動について理論的に理解を深めるために1・2講で講義を行います。
・3講より体育館において種々のスポーツ活動を実践していきます。

Ⅲ. 学習成果

・チームスポーツを行うことによりコミュニケーション力、プレゼンテーション力、実行力・行動力を習得できる。
・それぞれの基本技術・応用技術を習得できる。
・楽しく意欲的に実践することにより、運動効果をあげることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 講義 (授業内容説明・健康と運動について)	一日の生活習慣を把握しておく
2: 講義 (BMI・運動とエネルギー消費)	身長、体重を確認しておく 一日の歩数を調べておく
3: ストレッチ・トレーニング	ストレッチ・トレーニングの実践内容について調べておく
4: レクリエーション	レクリエーションの実践内容について調べておく
5: バドミントン① (基礎技術練習)	基本技術について調べておく
6: バドミントン② (ダブルスゲーム)	ダブルスゲーム・ルールを理解しておく
7: バドミントン③ (ダブルスゲーム)	二人のコンビネーションについて理解しておく
8: バドミントン④ (シングルゲーム)	シングルゲーム・ルールを理解しておく
9: バドミントン⑤ (シングルゲーム)	コート内での動き方について理解しておく
10: バレーボール① (基礎技術練習)	基本技術について調べておく
11: バレーボール② (ゲーム)	ゲーム・ルールを理解しておく
12: バレーボール③ (ゲーム)	ポジションの役割について調べておく
13: バスケットボール① (基礎技術練習)	基本技術について調べておく
14: バスケットボール② (ゲーム)	ゲーム・ルールを理解しておく
15: バスケットボール③ (ゲーム)	チームプレーについて調べておく

＊準備学習についての補足説明

・体育館は自由に使用できます。日頃より運動習慣を身につけましょう。
・予習復習については1．5時間程度は行いましょう。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲(積極性) 30%、協調性 30%、技術力 40%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・課題に対するフィードバックについてはその都度授業の中で行います。
・体操服、体育館シューズについては高校時の物を使用してください。
・授業内容については受講人数、受講者の希望により変更することがあります。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
英語Ⅰ	FA40209	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
ライオ・ランドリー		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	◎
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

国際化と言われはじめてかなりたつが、その中でも最も大切なコミュニケーションツールとなる英語を身に付ける。
英語というのは数学とは違い、必ず答えは一つではない。 間違いを恐れずチャレンジすることでいきた英語を学び、グローバルな人間に成長しよう。

Ⅲ. 学習成果

・外国人とのコミュニケーションを積極的に行えるようになる。
・間違いを恐れずに会話ができるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: 英語と日本語の違い(又は日本における英語と米語の違い)	事前に英語と日本語の違いを自分で調べる
2: アルファベットの1つひとつの発音	事前に英語と日本語の発音の違いを自分で調べる
3: 日常的英語でのあいさつ	中・高で学んだあいさつの仕方を書いておく
4: 日常的英語でのあいさつ(日本と米語のマナーも含む)	日本とアメリカのマナーを調べておくこと
5: コミュニケーションに必要なバディーランゲッジ	バディーランゲッジの必要性を考えておく
6: 映画鑑賞	鑑賞後の感想文を提出する
7: 映画で出て来た、おもしろいフレーズの学習	記憶に残るフレーズの発表
8: 一日の生活を通して、英語で自分を表現する(熟語を入れながら)	熟語ガイドブックを持参する
9: 自己紹介の仕方(フォーマルに/インフォーマルに)	フォーマル/インフォーマルの違いを自分なりに書いておく
10: 道の尋ね方(Howの使い方)	Howを使った文を10問書いてくる
11: リクエストの仕方・・・ 答え方・・・(ポジティヴに/ネガティヴに)	何がポジティヴ/ネガティヴかを考えておく
12: クレームの対応の仕方	どの様なクレームがありそうかを自分で調べてくる
13: 意見に対しての同意・不同意	オピニオンの必要性を書いてくる
14: エクスキュースの仕方	エクスキュースの本来の意味を調べて書いてくる
15: 感謝の表し方、受け取り方	英語で感謝の仕方を五つ書いてくる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

テーマに沿った教員作成資料を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(90%)学習の意欲(10%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業で提出された課題は添削し返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
日本語文法の基礎【中級】	FA40115	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
香月　智恵		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

日本語能力試験N2レベルの文法を学ぶ

Ⅲ. 学習成果

日本語能力試験N2レベルの文法の意味・用法を理解し、正しく使用することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス 力試し	時や場の領域を表す表現について調べる
2: 時や場の領域を表す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 進行状態を示す表現について調べる
3: 進行状態を示す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 対応関係や比較を表す言い方について調べる
4: 対応関係や比較を表す言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 仮定や観点を示す表現について調べる
5: 仮定や観点を示す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 限定して示す表現について調べる
6: 限定して示す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 傾向や様子を表す表現について調べる
7: 傾向や様子を表す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 列挙する言い方について調べる
8: 列挙する言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 「わけ」「こと」「もの」を使った言い方について調べる
9: 「わけ」「こと」「もの」を使った言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 可能・不可能を示す言い方について調べる
10: 可能・不可能を示す言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す これまで勉強した文法を見直す
11: 模擬試験 グループワークにて答え合わせ	問題で間違えた箇所を見直す 時や場の領域を表す表現を確認する
12: 総合問題① 時や場の領域を表す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 対応関係や比較を表す言い方を確認する
13: 総合問題① 対応関係や比較を表す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 傾向や様子を表す表現を確認する
14: 総合問題② 傾向や様子を表す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 可能・不可能を示す表現を確認する
15: 総合問題③ 可能・不可能を示す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 文作練習で正しい文が書けているか確認する

＊準備学習についての補足説明

準備学習は毎回30分以上行うこと。基本的に、毎回小テストを行うので、前回の内容を必ず確認しておくこと。

次の時間に学習する文法については目を通しておくこと。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する

参考図書:「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50%、課題・小テスト25%、学習の意欲25%

居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や小テストに関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。

積極的な授業参加を期待する。

シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
日本語文法の基礎 【上級】	FA40115	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
淀川 藍凛		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	○

Ⅱ. 概要

日本語能力のレベルを高める事と共に日本語文法の体系や文の成り立ち、文を構成する各要素の関係を理解するためには文法項目の複雑さを乗り越えないといけません。語彙力を増やしながら実践トレーニングを通じて日本語文法をマスターしましょう。

Ⅲ. 学習成果

1) 日本語の複雑な文の構造や修飾関係を正しく理解することができる。
2) 多様なテーマの文章を通じて文法構造や用法などを覚えて日本語能力試験N1を目指すことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:授業内容のご案内 →PPT映像と動画を授業を行います。授業資料を学習して課題ワークシートを必ず提出すること。ワークシートについて	goole classrommのクラスコード(lrcxkys) シラバス及びテキスト／2週目の課題ワークシートについて
2:Lesson1 健康法①～体重 (文法・語彙・クイズ) 一人ランチ (文法・語彙・クイズ)	 ワークシート①課題
3:Lesson2 健康法②～ウォーキング (文法・語彙・クイズ) 日本文化を生んだ道具 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート①フィードバック ワークシート②課題
4:Lesson3 お礼の手紙 (文法・語彙・クイズ) アレルギーの危険性 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート②フィードバック ワークシート③課題
5:Lesson4 おわびのメール (文法・語彙・クイズ) 苦しいときほど笑え (文法・語彙・クイズ)	ワークシート③フィードバック ワークシート④課題
6:Lesson5 日々の生活①～携帯電話 (文法・語彙・クイズ) お風呂入ってもいいですか。 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート④フィードバック ワークシート⑤課題
7:Lesson6 今日の出来事②～スポーツ観戦 (文法・語彙・クイズ) 学び直し休暇 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート⑤フィードバック ワークシート⑥課題
8: 復習 (Lesson1～Lesson6)のワークシート及び小テスト	小テスト
9:Lesson7 自然の世界①～天気 (文法・語彙・クイズ) ぼくは勉強ができない① (文法・語彙・クイズ)	 ワークシート⑦課題
10:Lesson8 今日の出来事③～番号 (文法・語彙・クイズ) ぼくは勉強ができない② (文法・語彙・クイズ)	ワークシート⑦フィードバック ワークシート⑧課題
11:Lesson9 今日の出来事④～失敗続き (文法・語彙・クイズ) 花 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート⑧フィードバック ワークシート⑨課題
12:Lesson10 今日の出来事⑤～交通事故 (文法・語彙・クイズ) 河童 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート⑨フィードバック ワークシート⑩課題
13:Lesson11 大衆文化	ワークシート⑩フィードバック
14:Lesson12 大衆文化	ワークシート⑪ フィードバック
15:Lesson13 復習 (Lesson7～Lesson10)のワークシート及び小テスト 日本語文法の基礎まとめ	小テスト

＊準備学習についての補足説明
※辞書を必ずご準備下さい。(授業中のスマホの使用は禁じます。) なお、前回の授業の復習は30分以上行って下さい。
※課題ワークシートはA4用紙に手書きで書いて提出して下さい。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

栗岩しづ可・青木幸子・高橋尚子 著 「日本語N2 文法・読解まるごとマスター」 Jリサーチ出版 2018
朝日新聞論説委員室 著 「天声人語 2019年7月―12月」 朝日新聞出版 2020

Ⅵ. 評価方法と評価基準

小テスト20%、単位認定レポート60%、課題学習20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題ワークシートは学籍番号とお名前のご記入上、指定の場所に提出して下さい。(期間設定あり、手書き提出、成績評価)
提出課題がある場合はコメントして返却します。
辞書を必ず準備して授業を受けて下さい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
日本語語彙の基礎【中級】	FA40116	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
川野 さやか		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	○

Ⅱ. 概要

「自分のこと、自分の考えを伝える力」「伝え合う力、語り合う日本語力」を身につけることを目的に
JLPTのN2レベルの日本語能力の獲得を目指します。

Ⅲ. 学習成果

・日常生活、大学生活の語彙を理解し、適切な場面で使用できる。
・JLPT N2に合格できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: 自分の興味、関心とその理由を日本語で表現し、共有することができる。	JLPTN2対策問題を解く
2: 自分の3つの強みのエピソードを日本語で表現し、共有することができる。	JLPTN2対策問題を解く
3: JLPT模擬試験	JLPTN2対策問題を解く
4: 説明を読んで、日本の地理や町の様子、気候について知ることができる。	ことば、文法復習問題を解く
5: 説明を聞いて、気候に合わせた建物の特徴を知ることができる。	ことば、文法復習問題を解く
6: 説明を読んで、町の特徴や歴史などについて知ることができる。	ことば、文法復習問題を解く
7: JLPT N2模擬試験	JLPT模擬試験問題を復習する
8: 地震や台風などの速報を聞いたとき、必要な情報を得ることができる。	ことば、文法復習問題を解く
9: 約束の時間に間に合わないとき、状況を説明して指示を受けることができる。	ことば、文法復習問題を解く
10: けがをしたときの状況と今の状態を説明することができる。	ことば、文法復習問題を解く
11: 避難の際の注意事項を読んで情報を得ることができる。	ことば、文法復習問題を解く
12: 緊急事態が起こって経験したことを周りの人と共有することができる。	ことば、文法復習問題を解く
13: 防災についてグループで調べる。	原稿を作成、提出する
14: これまでのことば、文法の復習①	ことば、文法復習問題を解く
15: これまでのことば、文法の復習②	ことば、文法復習問題を解く

＊準備学習についての補足説明
その日習ったことの復習としてほぼ毎回課題を出します。まずはその日に学習したことばをQuizletで復習してください。準備学習は毎回約15分行ってください。
授業開始時に確認するので、必ず自分でやってから授業に来てください。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

参考図書:『できる日本語中級』、『新完全マスターN2語彙』、『新完全マスターN2漢字』

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50% 課題25% 学習意欲25%
いねむり、私語、スマートフォンの使用については「学習意欲」の評価の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

Quizlet, Google classroomでの課題の提出の仕方については初回の授業で説明します。
提出課題のフィードバックは毎回授業の冒頭で行います。その際、他の学生の参考になるものは、スクリーンでシェアします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
日本語語彙の基礎 【上級】	FA40116	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
香月　智恵		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	○

Ⅱ. 概要

・日本語能力試験N1レベルの語彙を学ぶ

Ⅲ. 学習成果

日本語能力試験N1レベルの語彙の意味を理解し、正しく使用することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス 力試し	様子・感情などに関する語彙の意味を調べる
2: 様子・感情などに関する語彙 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 文化・社会などに関する語彙の意味を調べる
3: 文化・社会などに関する語彙 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す ビジネス・教育などに関する語彙の意味を調べる
4: ビジネス・教育などに関する語彙 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 副詞・形容詞などの意味を調べる
5: 副詞・形容詞など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 動詞・名詞などの意味を調べる
6: 動詞・名詞など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 類義語・対義語などの意味を調べる
7: 類義語・対義語など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 擬音語・擬態語などの意味を調べる
8: 擬音語・擬態語など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 慣用句・漢字などの意味を調べる
9: 慣用句・漢字など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 様子・感情などに関する語彙を確認する
10: 実践練習① 様子・感情などに関する語彙を用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 文化・社会などに関する語彙を確認する
11: 実践練習② 文化・社会などに関する語彙を用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す これまで学習した語彙を見直す
12: 模擬試験 グループワークにて練習問題の答え合わせ	問題で間違えた箇所を見直す ビジネス・教育などに関する語彙を確認する
13: 実践練習③ ビジネス・教育などに関する語彙を用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 類義語・対義語などを確認する
14: 実践練習④ 類義語・対義語などを用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 擬音語・擬態語などを確認する
15: 実践練習⑤ 擬音語・擬態語などを用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 文作練習で正しい文が書けているか確認する

＊準備学習についての補足説明

準備学習は毎回30分以上行うこと。基本的に、毎回小テストを行うので、前回の内容を必ず確認しておくこと。

次の時間に学習する語彙については意味を調べておくこと。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する

参考図書:「日本語能力試験問題集N1語彙スピードマスター」中島智子他(Jリサーチ出版)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50%、課題・小テスト25%、学習の意欲25%

居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や小テストに関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。

積極的な授業参加を期待する。

シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
日本語読解・作文の基礎 【中級】	FA40117	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
香月　智恵		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

・日本語能力試験N2レベルの読解教材を読む
・書き言葉としての日本語の文章の書き方を学ぶ
・日本社会についての文章を読み、社会的なテーマについて自ら考える

Ⅲ. 学習成果

・日本語能力試験N2レベルの読解教材を正しく読むことができる
・日本語での表現と作文の力を身に付ける
・日本語の文章を十分に理解することができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス 力試し	読解のポイントについてのプリントを読む
2: 内容理解(短文)① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
3: 内容理解(中文)① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
4: 統合理解① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
5: 主張理解(長文)① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
6: 情報検索① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
7: 内容理解(短文)② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
8: 内容理解(中文)② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
9: 統合理解② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
10: 主張理解(長文)② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
11: 模擬試験 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す「言葉の役割」の語彙を調べる
12: 読解「言葉の役割」① 作文「アポイントをとる」	本文を音読する 作文「アポイントをとる」を完成させる
13: 読解「言葉の役割」② 作文「アドバイスを求める」	「イルカと超音波」の語彙を調べる 作文「アドバイスを求める」を完成させる
14: 読解「イルカと超音波」① 作文「伝言する」	本文を音読する 作文「伝言する」を完成させる
15: 読解「イルカと超音波」② 作文「謝る」	本文を音読する 作文「謝る」を完成させる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと。基本的に、毎回小テストを行うので、前回の内容を必ず確認しておくこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する
参考図書:「日本語能力試験問題集N2読解スピードマスター」小林ひとみ他(Jリサーチ出版)
「日本語プロフィシェンシーライティング」由井紀久子他(凡人社)
「大学・大学院留学生の日本語1読解」アカデミック・ジャパニーズ研究会(アルク)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験40%、課題・小テスト35%、学習の意欲25%
居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や小テストに関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。
積極的な授業参加を期待する。
シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
日本語読解・作文の基礎 【上級】	FA40117	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
淀川　藍凛		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	○

Ⅱ. 概要

日本語能力のレベルを高める事と共に日本語文法の体系や文の成り立ち、文を構成する各要素の関係を理解するためには文法項目の複雑さを乗り越えないといけません。語彙力を増やしながら実践トレーニングを通じて苦手で読解・作文のコツをつかみ克服してみましょう。

Ⅲ. 学習成果

1)日本語の複雑な文の構造や修飾関係を正しく理解することができる。
2)多様なテーマの文章を通じて語彙力アップにつなげ、自由自在に作文ができる。
日本語能力試験N1をめざすことができる。。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:授業内容のご案内　→PPT映像と動画を授業を行います。授業資料を学習して課題ワークシートを必ず提出すること。ワークシートについて	goole classrommのクラスコード(lrcxkys) シラバス及びテキスト／2週目の課題ワークシートについて
2:Lesson1　旅行先からの絵はがき(読解・語彙・作文・クイズ) 一人ランチ(読解・語彙・作文・クイズ)	 ワークシート①課題
3:Lesson2　今日の出来事①～おもてなし (読解・語彙・作文・クイズ) 日本文化を生んだ道具(読解・語彙・作文・クイズ)	ワークシート①フィードバック ワークシート②課題
4:Lesson3　お礼の手紙 棚田	ワークシート②フィードバック ワークシート③課題
5:Lesson4　おわびのメール 絵の楽しみ方(語彙単語と読解予習)	ワークシート③フィードバック ワークシート④課題
6:Lesson5　日々の生活①～携帯電話 航空券を安く買う方法	ワークシート④フィードバック ワークシート⑤課題
7:Lesson6　今日の出来事②～スポーツ観戦 日々の生活～予約	ワークシート⑤フィードバック ワークシート⑥課題
8: 復習 (Lesson1～Lesson6)のワークシート及び小テスト	小テスト(四択式)
9:Lesson7　自然の世界①～天気 カプセルホテル	 ワークシート⑦課題
10:Lesson8　今日の出来事③～番号 子供とケータイ	ワークシート⑦フィードバック ワークシート⑧課題
11:Lesson9　今日の出来事④～失敗続き ペットと飼い主の名前	ワークシート⑧フィードバック ワークシート⑨課題
12:Lesson10　今日の出来事⑤～交通事故 自転車の車道通行	ワークシート⑨フィードバック ワークシート⑩課題
13:Lesson11　大衆文化	ワークシート⑩フィードバック
14:Lesson12　大衆文化	ワークシート⑪ フィードバック
15:Lesson13 復習 (Lesson1～Lesson6)のワークシート及び小テスト	小テスト(四択式)

＊準備学習についての補足説明
※辞書を必ずご準備下さい。(授業中のスマホの使用は禁じます。) なお、前回の授業の復習は30分以上行って下さい。
※課題ワークシートはA4用紙に手書きで書いて提出して下さい。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

栗岩しづ可・青木幸子・高橋尚子　著 「日本語N1　文法・読解まるごとマスター」 Jリサーチ出版　2018
朝日新聞論説委員室　著 「天声人語　2019年7月―12月」 朝日新聞出版　2020

Ⅵ. 評価方法と評価基準

小テスト20%、単位認定レポート60%、課題学習20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題ワークシートについて―学籍番号とお名前のご記入上、指定の場所に提出して下さい。(期間設定あり、手書き提出、成績評価)
提出課題がある場合は、コメントして返却します。。
辞書を必ず準備して授業を受けて下さい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
日常日本語会話の基礎 【中級】FA40118		開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
川野 さやか		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	○

Ⅱ. 概要

「自分のこと、自分の考えを伝える力」「伝え合う力、語り合う日本語力」を身につけることを目的に
JLPTのN2レベルの日本語能力の獲得を目指します。

Ⅲ. 学習成果

「自分のこと、自分の考えを伝える力」「伝え合う力、語り合う日本語力」を身につけることを目的に
JLPTのN2レベルの日本語能力の獲得を目指します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: 覚えてもらえるように印象的に発音に注意して自己紹介することができる。	ことば、文法復習問題を解く
2: 自分の価値観を伝えるため、あると幸せだと思うものについて優先順位を考えながら話すことができる。	ことば、文法復習問題を解く
3: JLPT模擬試験の解説	模擬試験の復習をする
4: JLPT模擬試験の解説	模擬試験の復習をする
5: 気候が合わなくて体調を崩した友達の話を聞いて、アドバイスすることができる。	ことば、文法復習問題を解く
6: 国・ふるさとの地形や気候を利用した名物や風物詩を紹介することができる。	ことば、文法復習問題を解く
7: JLPT模擬試験の解説	模擬試験の復習をする
8: 知ってもらいたい自分のふるさとについてグループで調べる	原稿を作成する
9: 知ってもらいたい自分のふるさとについてグループでまとめる	原稿を提出する
10: 発表練習	発表原稿を覚えてくる
11: 発表	発表原稿を覚えてくる
12: 防災についてグループでまとめる	原稿を提出する
13: 発表練習	発表原稿を覚えてくる
14: 発表	発表原稿を覚えてくる
15: まとめと振り返り	振り返りシートを提出する

＊準備学習についての補足説明
発表用の原稿はGoogle classroomに提出してください。そちらで添削を行います。準備学習は毎回約15分行ってください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

参考図書:『できる日本語中級』

Ⅵ. 評価方法と評価基準

発表50% 課題25% 学習意欲25%
いねむり、私語、スマートフォンの使用については「学習意欲」の評価の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出課題の原稿のフィードバックはGoogle classroom内で個別に添削を行い、他の学生の参考になるものは、スクリーンでシェアします。
その原稿をもとにグループで発表を行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
日常日本語会話の基礎 【上級】FA40118		開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
香月　智恵		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	○

Ⅱ. 概要

・日本語能力試験N1レベルの聴解問題を聞く
・論理的で説得力のあるプレゼンテーションについて学ぶ

Ⅲ. 学習成果

・日本語能力試験N1レベルの聴解問題の内容を正しく聞き取ることができる
・発表の流れを理解し、わかりやすいプレゼンテーションを行うことができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス 自己紹介・力試し	必要に応じて指示する。
2: 課題理解① メモをとる練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
3: 課題理解② 発表の構成	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
4: ポイント理解① 発表全体の流れ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
5: ポイント理解② 発表のための基本的な表現	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
6: 概要理解① 背景説明、問題提起	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
7: 概要理解② 分類の表現	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
8: 即時応答 データの提示	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
9: 統合理解① 定義、割合の表現	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
10: 統合理解② データの説明、解釈	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
11: 模擬試験1回目 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
12: 模擬試験2回目 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
13: 変化・経緯を表す表現 発表準備①	未習得の言葉を覚える 発表準備
14: 比較を表す表現 発表準備②	未習得の言葉を覚える 発表準備
15: プレゼン発表	発表の振り返り

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する
参考図書:「日本語能力試験問題集N1聴解スピードマスター」青木幸子他(Jリサーチ出版)
「聴解・発表ワークブック」犬飼康弘(スリーエーネットワーク)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験30%、課題・発表40%、学習の意欲30%
居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や発表に関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。
積極的な授業参加を期待する。
シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
西洋服装史	FA40104	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
斉藤　朋子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	◎
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	○
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

歴史の中で衣服は時代とともに変化し、進化してきた。服装の歴史を学ぶ意義は、衣服の変遷を学ぶことだけではなく、その背景にある社会との関連性を理解し、考えることにある。各時代の人間の営みと、その背景にある社会の中で作られた衣服について理解を深め考えることは、現在の衣服や未来の衣服を考える上で重要な基礎知識の一つとなる。この授業では、古代から近代までの衣服の変遷とその社会背景を学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

西洋の服装の変遷とその社会背景を学び、各時代の服装とその背景にある社会との関連性について理解を深める。
各時代と現代との服装について比較を行い、現代の服装や未来の服装について考える力を身につける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 衣服の起源と古代の服飾(メソポタミア)	教科書を読んで取り組んだ課題プリントを授業開始前に提出する 衣服の起源とメソポタミアの服飾や社会背景についてまとめる。
2: 古代の服飾(古代エジプト)	教科書を読んで取り組んだ課題プリントを授業開始前に提出する 古代エジプトの服飾や社会背景についてまとめる。
3: 古代の服飾(古代ギリシア)	教科書を読んで取り組んだ課題プリントを授業開始前に提出する 古代ギリシアの服飾や社会背景についてまとめる。
4: 古代の服飾(古代ローマ)	教科書を読んで取り組んだ課題プリントを授業開始前に提出する 古代ローマの服飾や社会背景についてまとめる。
5: 中世の服飾(ビザンティン帝国)	教科書を読んで取り組んだ課題プリントを授業開始前に提出する ビザンティン帝国の服飾や社会背景についてまとめる。
6: 中世の服飾(5世紀～10世紀)	教科書を読んで取り組んだ課題プリントを授業開始前に提出する 5～10世紀の服飾や社会背景についてまとめる。
7: 中世の服飾(11世紀～12世紀)	教科書を読んで取り組んだ課題プリントを授業開始前に提出する 11～12世紀の服飾や社会背景についてまとめる。
8: 中世の服飾(13世紀～14世紀)	教科書を読んで取り組んだ課題プリントを授業開始前に提出する 13～14世紀の服飾や社会背景についてまとめる。
9: 近世の服飾(15世紀～16世紀)	教科書を読んで取り組んだ課題プリントを授業開始前に提出する 15～16世紀服飾や社会背景についてまとめる。
10: 近世の服飾(17世紀～18世紀)	教科書を読んで取り組んだ課題プリントを授業開始前に提出する 17～18世紀の服飾や社会背景についてまとめる。
11: 近世の服飾(18世紀前半)	教科書を読んで取り組んだ課題プリントを授業開始前に提出する 18世紀前半の服飾や社会背景についてまとめる。
12: 近世の服飾(18世紀後半)	教科書を読んで取り組んだ課題プリントを授業開始前に提出する 18世紀後半の服飾や社会背景についてまとめる。
13: 近代前期の服飾18世紀末～19世期(1789年～1848年)	教科書を読んで取り組んだ課題プリントを授業開始前に提出する 19世紀前半の服飾や社会背景についてまとめる。
14: 近代前期の服飾19世期(1848年～1870年)	教科書を読んで取り組んだ課題プリントを授業開始前に提出する 19世紀前半の服飾や社会背景についてまとめる。
15: 近代後期の服飾19世期(1870年以降)	教科書を読んで取り組んだ課題プリントを授業開始前に提出する 19世紀後半の服飾や社会背景についてまとめる。

＊準備学習についての補足説明
各回の授業について15分程度の準備学習が必要となる。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

文化ファション大系　服飾関連講座⑪ 「西洋服装史」

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験　70%　課題プリント20%　受講態度10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

講義内容については板書を行うが、各自が工夫したノート作りが必要である。
欠席した授業内容については自主学習が必要となる。
授業の前に教科書をしっかりと読み、課題プリントに取り組んでください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
環境と生活	FA40105	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
河野　洋子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	◎
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

私たちは日々の生活の中で周りから様々な影響を受けています。私たちの置かれている環境(自然環境、文化的環境、社会環境)についての知識を身につけ、どのように考え行動していくべきかを学びます。

Ⅲ. 学習成果

1.社会で起こっている出来事について、幅広い知識をもとに自分の考えを持つことができる。
2.自分の置かれた環境に働きかけ、豊かな生活を送ることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:環境とは(オリエンテーション)	日本のジェンダーギャップの現状をまとめる
2:女子教育と女性の社会進出へのさまざまな考えについて	アジアの他の国での女性の社会進出について調べる
3:多様な環境を理解する(ムスリム社会)	イスラム教国での考えや現状を調べる
4:ムスリム社会での女性の考えと社会での立場について発表する	「少女は自転車に乗って」を観て、自分が同じ立場であったらどうするか考え、周りに意見を伝える
5:多様性について考える～LGBTQ～	憲法の生存権について調べる
6:他の人の考えを尊重できる環境について	ビデオの中の環境について自分と比べる
7:SDGs　日本で行われている様々な活動	現在の私たちの生活の中で自然環境破壊につながることを調べてまとめる
8:SDGs　持続可能な社会を作るためにできること	自分が現在行っている行動とSDGsの結びつきをまとめる
9:ごみ問題について(4Rを実践するために)	現在住んでいるまちで行われている活動について調べる
10:都市型の災害について	都市に起こる災害を調べ、自分の町のハザードマップを調べる
11:安全な都市環境(災害時の行動を考える) グループワークあり	災害時に必要な情報の管理についてまとめる
12:住環境について考える	住環境にもとめる指標をまとめる
13:都市の魅力とは	他の人の住環境への考えを聞いて、自分の考えと比較する
14:住んでみたい町と住み続けたい町	都市のもつ魅力について自分の考えをまとめる
15:住環境で大切にするもの(発表)	自分が住環境に求めるものや大切にするものをまとめて発表する

＊準備学習についての補足説明
準備学習については毎回30分以上行うこと
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。必要に応じて教員作成の資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題の提出(60%)、学習の意欲40%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出された課題については全体で共有し講評を行う。さらに個別にコメントを行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
英語Ⅱ	FA40210	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
ライオ・ランドリー		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	◎
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

日本と米国におけるマナーや考え方の違いを学び、より専門的な英語を身に付ける。

Ⅲ. 学習成果

・日本人として、恥ずかしくないように最低限の事が身に付く
・自分自身のマチガイによって学ぶ力をつける
・グローバルな人間力を身につける

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: 日本におけるマナーと米国におけるマナーや考え方のちがい	日本と米国のマナーについて調べる
2: 米語のアルファベットの発音① (A～M)	今まで中・高で学んだ英語を振り返ってみておく
3: 米語のアルファベットの発音② (N～Z)	今まで中・高で学んだ英語を振り返ってみておく
4: 外国人との出会い方(あいさつ・マナー)	事前に調べておく
5: 4による英会話のロールプレーなど	事前に調べておく
6: 店で使う英語(売り場での接客)① (声掛け)	自分で必要と思われるものをもって、自分自身が必要とする英語を事前にメモをとっておく
7: 店で使う英語(売り場での接客)② (お客様の好みを聞き出す)	自分で必要と思われるものをもって、自分自身が必要とする英語を事前にメモをとっておく
8: 店で使う英語(売り場での接客)③ (おすすめの品)	自分で必要と思われるものをもって、自分自身が必要とする英語を事前にメモをとっておく
9: 店で使う英語(売り場での接客)④ (他に何か)	自分で必要と思われるものをもって、自分自身が必要とする英語を事前にメモをとっておく
10: 店で使う英語(売り場での接客)⑤ (購入後)	自分で必要と思われるものをもって、自分自身が必要とする英語を事前にメモをとっておく
11: 熟語・ショートフレーズ① (気になる熟語)	熟語の本をもっていれば持参する
12: 熟語・ショートフレーズ② (覚えておきたい熟語)	熟語の本をもっていれば持参する
13: まとめ① (1回～6回)	これまでの授業の復習を行い、不明な点をあげる
14: まとめ② (7回～12回)	これまでの授業の復習を行い、不明な点をあげる
15: 総まとめ (学んだ事を発表してみよう)	総復習 学んだことを発表できるようにしておく

＊準備学習についての補足説明
準備学習は30分程度行うこと
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

テーマに沿った教員作成資料を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(90%)学習の意欲(10%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業で提出された課題は添削後返却する。

ファッション総合学科１年

選　択　科　目

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
モードデッサン	FA50101	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	デザインフィールド		
彌永　裕子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

自分のアイデアをアウトプットする時や、人に伝える時に必要な描写力を身につけていく。
基礎的なデッサンを学び観察力や描写力を高める。

Ⅲ. 学習成果

形のとらえ方、構図、質感、画材の使い方などを修得することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:1: オリエンテーション 、課題1「手を描く」 道具の使い方、形や陰影質感を意識した描写	(復習) 配布資料を読んで課題や授業内容を理解する。 授業内容をノートにまとめる。
2: 陰影を意識したデッサン 課題2立法体と円柱を描く	(復習) 手順や気づいたことをノートにまとめる。
3:組みモチーフで異なる素材や形のものを描写する 課題3静物デッサン	(復習) モチーフを用意する
4:組みモチーフで異なる素材や形のものを描写する 課題3静物デッサン	(復習) 手順や気づいたことをノートにまとめる。
5:組みモチーフで異なる素材や形のものを描写する 課題3静物デッサン、講評	(復習) 手順や気づいたことをノートにまとめる。
6:素材のかき分け、陰影、形をとらえる 課題4植物を描く	(予習) 身の回りの植物などをスケッチ (復習) 手順や気づいたことをノートにまとめる。
7:素材のかき分け、陰影、形をとらえる 課題4植物を描く	(復習) 手順や気づいたことをノートにまとめる。
8: 素材のかき分け、陰影、形をとらえる 課題4植物を描く、講評	(復習) 手順や気づいたことをノートにまとめる。
9:人体や衣服の形、質感をとらえる 課題6人物のデッサン	(予習) 身の回り人物をスケッチ (復習) 手順や気づいたことをノートにまとめる。
10:人体や衣服の形、質感をとらえる 課題6人物のデッサン	(復習) 手順や気づいたことをノートにまとめる。
11:ものの質感、色の描き分けと構図 課題7自分で組んだモチーフをデッサンと着彩	(予習) 自分の持っている服のスケッチ (復習) 手順や気づいたことをノートにまとめる。
12:ものの質感、色の描き分けと構図 課題7自分で組んだモチーフをデッサンと着彩	(予習) 自分の持っている服のスケッチ (復習) 手順や気づいたことをノートにまとめる。
13:色をつけた衣服や人体の描写表現 課題8人物のデッサンと着彩	(復習) 手順や気づいたことをノートにまとめる。
14:色をつけた衣服や人体の描写表現 課題8人物のデッサンと着彩	(復習) 手順や気づいたことをノートにまとめる。
15:色をつけた衣服や人体の描写表現 課題8人物のデッサンと着彩、講評	(復習) 手順や気づいたことをノートにまとめる。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

必要に応じて資料を配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

提出課題による評価80%、学習への意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
デザインテクニックⅠ	FA50102	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	デザインフィールド		
杉森　孝		履修要件他:			
彌永　裕子		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

デザインや造形をしていく上で必要な「色彩」「形」「バランス」などといった造形力の基礎について、
平面構成や立体構成を通して理解し、衣服のデザインに展開する方法について学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

デザイン・造形をしていくために必要な基礎的知識と技術を学び、それらを応用した被服素材での
造形方法を身につける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:「点」による構成	「点・線・面」カンディンスキーの書籍などについて調べ、「点」について読んで ファッションにおける「点」の要素について調査する
2:「線」による構成	「点・線・面」に関する書籍を元に「線」について調査する。 ファッションにおける「線」の要素について調査する
3:「面」による構成	「点・線・面」に関する書籍を元に「面」について調査する。 ファッションにおける面」の要素について調査する
4:被服素材を使った『点・線・面』による作品　① アイデアスケッチ～製作スタート	作品の構成案ラフスケッチ 作品制作のための素材調達
5:被服素材を使った『点・線・面』による作品　② 製作～完成へ	途中経過のチェックを受け、修正箇所を修正する。
6:シンメトリーとアシンメトリーの構成　① シンメトリーとアシンメトリーについての基礎知識を知る	シンメトリーとアシンメトリーなものを資料として収集
7:シンメトリーとアシンメトリーの構成　② シンメトリーとアシンメトリーによる平面構成	作品の構成案ラフスケッチ 作品制作のための素材調達
8:シンメトリーとアシンメトリーな構成による被服素材を使った作品　① アイデアスケッチ～製作スタート	途中経過のチェックを受け、修正箇所を修正する。
9:シンメトリーとアシンメトリーな構成による被服素材を使った作品　② 製作～完成へ	作品完成のための時間外での制作を進める。作品の完成度を上げる
10:切り絵による作品の制作　① モチーフの決定～アイデアスケッチ	各自のコンセプト・テーマの設定とそれに合わせたラフスケッチ 作品制作のための画像などの資料収集
11:切り絵による作品の制作　② デザイン案決定～下描き	下描き～試作のための準備
12:切り絵による作品の制作　③ 試作～本製作	試作の改善点を確認～本製作のための準備
13:切絵の技法を利用した1／2ボディでの衣服デザイン　① 衣服デザインの決定	1／2のボディの採寸　パターンの確認 各自のコンセプト・テーマの設定とそれに合わせたラフスケッチ
14:切絵の技法を利用した1／2ボディでの衣服デザイン　② 切絵の下描き～切り出し	作業の難しいパーツについて作業手順を考えておく
15:切絵の技法を利用した1／2ボディでの衣服デザイン　③ 切り出し～完成へ	途中経過のチェックを受け、修正箇所を修正する。

＊準備学習についての補足説明
　準備学習は毎回30分以上行うこと。必要に応じて内容や容量については必要に応じて説明する。
　単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

必要に応じて資料等を配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出　90%　学習の意欲　10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

USBフラッシュメモリーが必要。
授業時間外での課題の制作時間、資料収集、調査などの時間が必要。
提出された課題作品は採点しコメント等を添えて返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
CGデザイン	FA50103	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	デザインフィールド		
彌永　裕子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	◎
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

デザイン業界で使用されているイラストレーターやフォトショップの基本的な操作方法を課題を通して学びデザインし形にする力を身につける。

Ⅲ. 学習成果

レイアウト、文字組、図形の作り方、写真の加工などイラストレーターとフォトショップを使ったデザインに必要な基礎を修得できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション、イラストレーター課題1ブランドのロゴを制作 アイデアを考える、基本操作の説明	復習:配布資料を読んで課題や授業内容を理解する。 授業内容をノートにまとめる。
2: イラストレーター課題1ブランドのロゴを制作 パスや文字、基本図形などを使用してロゴの制作	予習:アイデアを考えてくる、ロゴのリサーチ 復習:手順や気づいたことをノートにまとめる。
3: イラストレーター課題1ブランドのロゴを制作 パスや文字、基本図形などを使用してロゴの制作、講評	復習:手順や気づいたことをノートにまとめる。
4: イラストレーター課題2 イラストレーターを使ってオリジナルのパターンを制作する	予習:アイデアを考えてくる、パターンのリサーチ 復習:手順や気づいたことをノートにまとめる。
5: イラストレーター課題2 イラストレーターを使ってオリジナルのパターンを制作する	復習:手順や気づいたことをノートにまとめる。
6: イラストレーター課題2 イラストレーターを使ってオリジナルのパターンを制作する 、講評	復習:手順や気づいたことをノートにまとめる。
7: フォトショップ課題3 自分で撮った写真の加工やフォトショップの基本操作を学ぶ	予習:素材になる写真を撮影、集める 復習:手順や気づいたことをノートにまとめる。
8: フォトショップ課題3 写真の加工や切り抜き、コラージュ	復習:手順や気づいたことをノートにまとめる。
9:フォトショップとイラストレーターを使った課題4 フライヤーをデザイン	予習:フライヤーなどを集める 復習:手順や気づいたことをノートにまとめる。
10: フォトショップとイラストレーターを使った課題4 フライヤーをデザイン	復習:手順や気づいたことをノートにまとめる。
11: フォトショップとイラストレーターを使った課題4 フライヤーをデザイン、講評	復習:手順や気づいたことをノートにまとめる。
12: フォトショップとイラストレーターを使った課題5 テーマを決めて冊子の制作をする、アイデアを考える	予習:レイアウトや参考になりそうな本を持ってくる 復習:手順や気づいたことをノートにまとめる。
13: フォトショップとイラストレーターを使った課題5 テーマを決めて冊子の制作をする、レイアウトやデザイン	復習:手順や気づいたことをノートにまとめる。
14: フォトショップとイラストレーターを使った課題5 テーマを決めて冊子の制作をする、レイアウトやデザイン	復習:手順や気づいたことをノートにまとめる。
15: フォトショップとイラストレーターを使った課題5 印刷、製本、講評	予習:データを仕上げてくる 復習:手順や気づいたことをノートにまとめる。

＊準備学習についての補足説明

授業時間内に課題が進まなかった場合は次回までに進めておく。準備学習について毎回30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

必要に応じプリントを配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

提出課題による評価80%、学習への意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

USBメモリを持参してください。(5GB程度)

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
ファッションイラストⅠ	FA50104	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	デザインフィールド		
徳山　真由美		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

ファッションイラストレーションとは、イメージした服のアイディアを視覚的に表現する方法のひとつである。そのためには、基本となる人体のプロポーションを把握し、着装させなければならない。そこでこの授業では、人体の基本的な描き方から着装方法までを学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

人体の基本プロポーションを把握し表現することができるようになる。
また、着装画の基本を表現する事ができるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1　人体とプロポーションの表現方法:	スタイル画のプロポーションの練習をおこなうこと
2:　基本プロポーションについて	スタイル画のプロポーションの練習をおこなうこと 小テストの準備をおこなうこと
3:　応用プロポーションについて 足の移動によるスタイル画の描き方	スタイル画のプロポーションの練習をおこなうこと 小テストの準備をおこなうこと
4:　応用プロポーション 人体の骨格と筋肉について　ヌードの描き方	ヌード人体の練習をおこなうこと 小テストの準備をおこなうこと
5:　応用プロポーション 正中線の移動によるスタイル画の描き方	正中線が変化したプロポーションの練習をおこなうこと 小テストの準備をおこなうこと
6:　人体の部分的な表現（手・脚）	手・脚の描き方の練習をおこなうこと 小テストの準備をおこなうこと
7:　人体の部分的な表現（頭部）	顔の描き方の練習をおこなうこと 小テストの準備をおこなうこと
8:　着装画の表現方法（ブラウス）	ブラウスの描き方の練習をおこなうこと 小テストの準備をおこなうこと
9:　着装画の表現方法（スカート）	スカート・パンツの描き方の練習をおこなうこと 小テストの準備をおこなうこと
10:　着装画の表現方法（ジャケット）	ジャケットの描き方の練習をおこなうこと 小テストの準備をおこなうこと
11:　着装画の表現方法（パンツその他）	描き方の練習をおこなうこと 小テストの準備をおこなうこと
12:　仕上げ線の表現方法	筆ペンの仕上げ線練習をおこなうこと 小テストの準備をおこなうこと
13:　立体感の表現方法 陰影のつけ方	影付の練習をおこなうこと
14:　パステルによる表現方法について	下書きを完成すること
15:　パステルによる作品制作	作品を完成すること

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分程度行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。 教員作成資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

小テスト 75%　課題 20%　学習の意欲 5%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

小テスト・作品は、添削と評価を行って返却します。
クロッキー帳(B4サイズ)、鉛筆(B～6B)を使用します。準備しておくこと。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
国際マナーと服装	FA52101	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	生活スタイリングフィールド		
臼井　京子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	◎

Ⅱ. 概要

・ 大人の女性として国際的に通用するマナー、および冠婚葬祭など日本の礼儀作法を習得します
・ 国際標準のマナーに関する知識、技能を認定する「マナープロトコール検定3級」取得対応講座です

Ⅲ. 学習成果

・ マナーの知識を習得し、社会人として信頼される振る舞いや心遣いを身につけ、実生活で生かせるようになる
・ マナープロトコール3級資格取得に対応した幅広いマナーの勉強をすることで、社会人としての自信がつく

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: マナーとは何か マナーを学ぶ意義	(復習)マナー、エチケット、礼儀、作法の関係をまとめる(→次回、提出①) 配布するプリントの該当箇所を解いて答え合わせをする
2: 第1章　マナーの歴史と意義	(予習)第1章を読み、わからない言葉を調べる (復習)プリントの該当箇所を解き、答え合わせをする(次回、小テスト)
3: 第2章　国際人としてのプロトコール	(予習)第2章を読み、わからない言葉を調べる (復習)プリントの該当箇所を解き、答え合わせをする(次回、小テスト)
4: 第3章　社会人に必要なマナー ①（丁寧な言葉使い・礼装の基準　）	(予習)第3章を読み、わからない言葉を調べる (復習)プリントの該当箇所を解を解き、答え合わせをする(次回、小テスト)
5: 第3章　社会人に必要なマナー ②（喜ばれる贈答・手紙のマナー）	(予習)　第3章の前回学んだ部分を復習する。便箋と封筒を持参する。 (復習)プリントの該当箇所を解を解き、答え合わせをする(次回、小テスト)
6: 第4章　ビジネスシーンのマナー ①（報連相・名刺の扱い方・電話応対）	(予習)　第4章を読み、課題プリントをまとめる(→次回、提出②) (復習)プリントの該当箇所を解いて答え合わせをする。
7: 第4章　ビジネスシーンのマナー ②（来客応対・ビジネス文書）	(予習)第4章後半を読み、わからない言葉を調べる (復習)プリントの該当箇所を解を解き、答え合わせをする(次回、小テスト)
8: 第5章　食事のマナー　和食編 アクティブラーニング(箸と器の扱い方の実践)	(準備)　授業時に、各自、お茶碗とお箸を持参する。 (復習)和室での振る舞いをレポート用紙にまとめる(→次回、提出③)
9: 第5章　食事のマナー　洋食編 アクティブラーニング(グループでカトラリーの使い方の実践)	(予習)第五章後半を読み、わからない言葉を調べる (復習)プリントの該当箇所を解いて答え合わせをする。
10: 第7章　「冠」のしきたり	(予習)第7章を読み、通過儀礼の経験を発表できるようにしておく。 (復習)プリントの該当箇所を解を解き、答え合わせをする(次回、小テスト)
11: 第8章　「婚」のしきたり	(予習)　第8章を読み、知らない単語や漢字があれば調べてくる。 (復習)プリントの該当箇所を解を解き、答え合わせをする(次回、小テスト)
12: 第9章　「葬」のしきたり	(予習)　第9章を読み知らない単語や漢字があれば調べてくる。 (復習)プリントの該当箇所を解を解き、答え合わせをする(次回、小テスト)
13: 第10章　「祭」のしきたり	(予習)年中行事の経験を発表出来るように、振り返っておく。 (復習)プリントの該当箇所を解を解き、答え合わせをする(次回、小テスト)
14: マナープロトコール検定試験の準備・対策	(準備)テキストをはじめから読み返す ＊ここでの模擬試験を、成績評価の対象の一部とします
15:マナープロトコール検定3級試験 （受験しない場合は授業時間内にレポート課題）	これまでのプリントや小テストの間違えた部分、知識の曖昧な部分を重点的に学び直しておく

＊準備学習についての補足説明
予習・復習は、ともに各回30分程度必ず行うこと。詳細な内容に関しては毎回の授業で説明します。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

マナー＆プロトコールの基礎知識（ NPO法人マナープロトコール協会発行）
教員作成のプリントを配布する
辞書・漢字辞典などは各自で準備して下さい

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単元ごとの確認試験および評価試験(14回目)の成績　50%、　　提出物 ・学習の意欲　50%
授業中の私語・スマートフォンの使用・居眠りは減点の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

希望者はマナープロトコール検定3級を授業時間内に受講できます。 検定料4800円が必要です。
学習内容を身近に感じて学ぶことが出来るよう、経験談、エピソードなどを発表してもらうこともあります。
持参していただくものは事前に指示します。忘れないようにお持ちください。
小テストは毎回、採点・記録の後に返却。提出物①～③(レポート)はコメントをした上で返却いたします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
雑貨製作	FA52102	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	生活スタイリングフィールド		
本田　夏子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	○
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

基礎的な縫う、編むの手法を使って、人形や、はさみケース、手編みのポーチなどの手作り雑貨をつくる。

Ⅲ. 学習成果

雑貨製作に必要な手縫い、刺繍、ミシン縫い、編み物の基本を身に付けることができる。
いろいろなアイデアを出しながら自分らしさを表現した作品づくりが出来るようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: かわいいお人形づくり 基本の手縫い(玉結び・並縫い・返し縫い・まつり縫いなど)	デザイン画を描いたり、どんな材料を使うか考える。(約30分)
2: かわいいお人形づくり 簡単な刺繍ステッチの習得・作品とレポート提出	手縫いと刺繍の基本を復習し作り方をもう一度見直し習得する。(約30分)
3: ミシンを使って縫い物【ポーチづくり】ファスナーの付け方を学ぶ 作り方の説明・型紙作成・生地の裁断	パターンと裁断時の注意点を復習する。(約30分)
4: ミシンを使って縫い物【ポーチづくり】 ファスナーの付け方を習得	ミシンの使い方、糸の掛け方、縫い方を復習し、まとめる。(約30分)
5: 縫い物に挑戦しよう【はさみケース】バイアステープの付け方を学ぶ 作り方の説明・型紙作成・生地の裁断	ミシンの使い方とファスナーの付け方を復習する。(約30分)
6: 縫い物に挑戦しよう【はさみケース】 バイアステープの作り方・縫い方を習得・作品とレポート提出	バイアステープの作り方、使い方を復習する。(約30分)
7: 編み物に挑戦しよう【手編みのクラッチバッグ】編みもの(棒編み)を学ぶ 編み物の基本・糸選び・作り目の仕方	資料やインターネットを活用して編み物の基本を知る。(約30分)
8: 編み物に挑戦しよう【手編みのクラッチバッグ】 ガーター編み・四角に編む	作り目の復習、針の動かし方を復習し覚える。(約30分)
9: 編み物に挑戦しよう【手編みのクラッチバッグ】 伏せ止め・はぎ合わせ	基礎的な編み方、注意点を復習しまとめる。(約30分)
10: 編み物に挑戦しよう【手編みのクラッチバッグ】 中袋を作る・生地を縫い合わせる	他の編み方、伏せ止めやはぎ合わせの手法を復習する。(30分)
11: 編み物に挑戦しよう【手編みのクラッチバッグ】 仕上げ・作品とレポート提出	もう一度編み物の基本から完成までを見直し復習する(約30分)
12: 自由作品製作【1人2作品】 ディスカッション:人気の手作り雑貨を市場調査「私なら何を作ってどう売るか」	インターネットや店舗などで人気の手づくり雑貨を見てみる。
13: 自由作品製作 実習・今まで習った手法を活かして作品づくりをする	作品の完成度を上げるための技術、工夫を考える。(約30分)
14: 自由作品製作 実習・販売することを目標にして丁寧に作品作りを進める・価格の付け方	資料を参考に自分の作品の価格を考える。(約30分)
15: 自由作品製作 実習、作品提出、レポート提出	企画から販売までの流れを復習し、まとめる。(約30分)

＊準備学習についての補足説明
課題ごとに資料の収集や素材の購入が必要です。授業内で終わらなかった課題については時間外での作業が必要になります。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者作成プリント使用。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習への意欲40%、作品提出40%、レポート提出20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

毎回裁縫道具を持ってきてください。材料(布や糸など)の準備が必要です。
課題に対するフィードバック:作品と一緒に提出するレポートの返却時に作品の評価すべき点や改善点など今の流行に沿ったフィードバックを実施します。
実務経験教員科目特記事項:春日市の手芸店「スフレ」オーナー。生地や手芸材料の仕入と販売、洋服の仕立てやソーイング教室を開催しています。
お洋服づくりや小物づくりなど、洋裁や編み物などの指導とともにハンドメイドの楽しさを日々お伝えしています。
初心者でも必ずできるをモットーに、できるだけ分かりやすく上達のコツを指導していきます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
デコレーション概論	FA52103	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	生活スタイリングフィールド		
松本　美保子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	◎
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

本講では、ファッションにかかわる立場の皆さんが、衣空間のみではなく、衣・食・住　それぞれお互いに密接な関係があることを学ぶ。
また、和と洋の比較で文化の成り立ちの違いを理解し、さらに五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）の関わりで視野、思考の幅を広げることを学び
グローバル社会への対応をはかる。

Ⅲ. 学習成果

美しく豊かな生活は、これら 衣・食・住 の調和が必要であるということを 歴史や成り立ちを通し、各部屋の役割やその場に対応したデコレーションの基礎を学ぶことで理解する。 さらに 応用能力 を養うことで、ファッション、インテリア、工芸、雑貨、飲食 等の 各分野、領域を問わず密接な関係を深めることを目的とする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション デコレーションとは　衣・食・住　との関わりについて	シラバスの概要、学習成果を読んでおく
2:部屋の役割 1 玄関アプローチ 歴史を通して役割を知る	玄関、アプローチを調べる
3:暮らしとスタイル 西洋と日本の比較　行事 暮らし方の理解	行事と飾りつけを調べる
4:部屋の役割 2 リビング 接客 家族との関係について	リビングに必要なもの→家具・照明・小物・雑貨などを調べる
5:ファッションと室内空間の関わり 様式 クラシックからモダンへ	クラシック、モダン様式を調べる
6:部屋の役割 3 寝室 照明 音 光 の必要性	照明器具を調べる
7:ファッションと部屋の明かり 色彩と光の関係	昼と夜のアクセサリーについて調べる
8:部屋の役割 4 キッチン、ダイニング、ダイニングキッチンの関係 食空間について　地域、歴史で学ぶ	食空間に必要なものを調べる
9:コーディネート1 イメージの表現方法 ライフスタイルについて	和 洋 テーブルセッティングを調べる
10:部屋の役割 5 水回り バス トイレ 環境としての衛生	各部屋で必要とされるリネン類を調べる
11:ファッションと家具の関わり 衣装とインテリアファブリックの関わり	家具の種類、インテリアで使われる布地使用のものを調べる
12:部屋の役割 6 子供部屋 書斎 高齢者用 使用目的とバリアフリー	各部屋で代表的なもの→家具・照明・小物・雑貨等を調べる
13:部屋の役割 7 収納 階段 廊下 収納の必要性 移動空間として	収納方法 階段 廊下の活用について調べる
14:コーディネート 2 空間演出としての仕掛け 五感に関わるもの 花・グリーン 香り 音楽について ファイルのまとめ方	スタイルに合わせ、花・グリーン 香り 音楽でコーディネートする ヴィジュアルレポートをファイルにまとめる。
15:まとめ ファイルを基にグループディスカッションし授業内容の把握をする	配布資料、ヴィジュアルレポートで本講義の内容を再確認する

*準備学習についての補足説明

授業時に次回説明を行い、予習としてのヴィジュアルレポートを提示します。また、復習としてファイルにまとめそれぞれの見地を再確認します。　準備学習時間は30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。資料はこちらで作成したものを必要に応じて配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験 50%　ヴィジュアルレポート40%　学習の意欲 10%
居眠り、私語、スマートフォンの使用に関しては　学習の意欲　の評価の対象となります。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

衣食住に関するリサーチを心がけるように指示を出します。コミュニケーションに必要な態度にも気を配るようにしてください。
課題は返却時に良い点・工夫点などを紹介しコメントを伝えます。これらを次の応用に活かし、向上への必要性を認識していただきます。
ビジュアルレポート用に必要なものは各自準備してください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
インテリア生活	FA52111	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	生活スタイリングフィールド		
河野　洋子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

インテリアコーディネートに必要な基礎知識を学び、商業空間(特に服飾販売空間)の家具のレイアウトや色彩計画・視線計画について学んでいく。

Ⅲ. 学習成果

1.インテリアの基礎資料である人体寸法と空間の関係が理解できる
2.家具のレイアウトを的確に行うことができる
3.目的に応じたインテリアイメージを提案できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション(図面について)	図面の種類を理解し、自分のへやのPLANを描く
2:人間工学(人体寸法とインテリア)	人の大きさと家具の大きさの関係を調べる
3:動線について	室内での人の動きを調べる
4:カラースキーム	色の3要素についてまとめる
5:イメージボードの作成①(3LDK住宅に家具を配置する)	部屋の機能と人の動きについてまとめ、必要な家具のリストを作成する
6:イメージボードの作成②(インテリアイメージを決めて家具を選ぶ)	イメージワードと家具のデザインの関係をまとめる
7:イメージボードの作成③(発表)	わかりやすい言葉で発表をする
8:飲食店の家具レイアウト①(動線・家具の種類)	客と店員の動きの違いをまとめる
9:飲食店の家具レイアウト②(視線の誘導)	色と感じ方の関係をまとめる
10:イメージボードの作成①(飲食店の家具を選ぶ)	飲食店に必要な家具の種類と機能についてまとめる
11:イメージボードの作成②(飲食店　発表)	他の人の作品と自分の作品の違いをまとめる
12:物販店の家具レイアウト	売り物の大きさとディスプレイの方法、什器の関係をまとめる
13:イメージボードの作成①(物販店の家具レイアウトとカラースキーム)	さまざまな物販店の例を調べる
14:イメージボードの作成②(物販店　室内パースを描く)	パースグリッドを使って自分の部屋のパースを描いてみる
15:物販店のイメージボード発表	他の人のイメージボードについてまとめる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回30分以上行うこと。授業時に説明を行う
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。必要に応じて教員が作成した資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題の提出(70%)、学習の意欲(30%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出された課題は授業の中で取り上げ、コメントを行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
企業研修	FA60106	開講時期:	通年		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	体験フィールド		
専任教員		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	○
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	◎

Ⅱ. 概要

アパレル企業の現場を視察研修することで、アパレル業界の仕事の流れや内容を理解し、学内では得られない知識を深めることを目的とする。また、美術館や特別展を見学し、ファッションを学ぶものとしての知識を広げる。

Ⅲ. 学習成果

アパレルメーカーの現場で商品企画から販売までのプロセスを知ることにより、学内の授業の理解を深める。
服作りに必要な副資材(芯地、裏地、ボタン、ファスナーなど)についての専門的な知識を学び、学内での実習に活かす。
美術館などの展示観覧を通してデザインの発想に活かす。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: 研修の概要の説明	研修先の概要について各自でノートにまとめる
2: 学生の組織編成	研修先についての調査を行う
3: 研修内容・レポート内容についての説明	研修先についての調査を行う
4: 研修前の指導 日程の確認 研修期間の服装や研修マナーについて	事前レポートの提出
5: 研修前の指導 注意事項の最終確認	出発前の準備を行う
6: 研修期間 (6講～14講) 7: 1、研修の概要 実施時期:9月中旬 2泊3日 8: 実施場所 東京 旅 程 事前研修にて説明 9: 授業形態 集中授業 2、研修内容(昨年度実績) 10: ①アパレルメーカー、素材に関する企業訪問 (株)ユミ・カツラインターナショナル 11: (株)レリアン (株)レモラファブリック 12: ②副資材メーカー三景株式会社による副資材講座 (研修場所:文化服装学園) 13: ③美術館・博物館の見学 (印刷博物館・アクセサリーミュージアム) 14: ④都内での自主研修	研修期間中はルールを守り行動すること 事後研修レポートのための準備をすること (ノート 写真 パンフレット 資料等の整理)
15: 事後研修 研修レポート提出についての説明	研修レポート提出

＊準備学習についての補足説明

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成の資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

事前指導の参加及び事前の課題提出20% 事後のレポート70% 研修中の態度10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

確定参加者20名以上で実施する。
参加費用は旅行業者より提示
研修内容や訪問先は諸事情により、変更になることがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
色の理解Ⅱ	FA50205	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	デザインフィールド		
岡田　絵梨奈		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	◎
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

色彩にはさまざまなイメージがあり、人間の感情や記憶に働きかける作用があります。また、色を組み合わせることで
カラーコーディネートの幅は広がり、表現力を豊かにすることができます。配色の理論を理解し、身の回りのファッションや
ファッショントレンドのカラー調査・分析を行うことで、配色の技術をファッションに応用する技術を習得します。

Ⅲ. 学習成果

1・2期の「色の理解Ⅰ」にて学んだ基礎知識を基に、カラーコーディネートの総合的な応用方法を習得できます。
ファッションのトレンドカラーを調査・分析する技術が身につきます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 色彩調和① ・配色の基本的な考え方	課題プリントの実施
2: 色彩調和② ・色相の配色について	課題プリントの実施
3: 色彩調和③ ・トーンの配色について	課題プリントの実施
4: 色彩調和④ ・配色の基本的な技法	色彩調和の復習　次回小テスト
5: 色彩調和⑤ ・配色演習　小テスト	課題プリントの実施
6: 配色イメージ	課題プリントの実施
7: ファッションとカラーコーディネート ・カラーコーディネートの実践	課題プリントの実施
8: インテリアとカラーコーディネート	課題プリントの実施
9: 慣用色名	慣用色名を暗記する
10: 色彩検定3級　過去問題を解く ・検定対策とポイント	課題プリントの実施
11: カラーコーディネート実践 ・テーマにあわせたカラーコーディネート	ファッションコーディネートに必要な服の準備をする
12: ファッションコーディネートの発表・撮影	コラージュの作成
13: ファッションと流行 ・ファッション雑誌からのカラートレンド調査	ファッション雑誌を2～3冊用意する
14: ファッションと色彩 ・DVD鑑賞	レポートを作成
15: ファッショントレンドを予測する ・色が持つ文化について	コラージュの作成

＊準備学習についての補足説明
課題プリントなど30分以上の準備学習が必要となります。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は色彩検定協会「色彩検定3級　公式テキスト」 を使用します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題・レポート 90%　 学習の意欲 10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題作品・レポートは、返却時に個別にフィードバックします。
「色の理解Ⅰ」のプリント、199b配色カード、のり、はさみを使用します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
デザインテクニックⅡ	FA50206	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	デザインフィールド		
杉森　孝		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	◎
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

Illsutrater、PhotoShopの連携による作品制作を通してパソコン特有のデザイン手法、
スタイル画、ハンガーイラストなど、ファッションの現場で必要になってくる技術と造形について学んでいく。

Ⅲ. 学習成果

Illsutrater、PhotoShopを連携させてデザインするための技術、ハンガーイラスト制作のための技術、
アイデアを具体的に形にし、パソコンを使って完成させるためのステップの組み立てができるようになることを目標とする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:文字をモチーフにしたハンカチのデザイン① 文字のアウトライン化と画面構成	Illustratorの復習または予習 次回時間内提出ができるための時間外制作を行っておく。
2:文字をモチーフにしたハンカチのデザイン② グラデーションとキャストシャドウ	途中経過のチェックを受け、修正箇所を修正する。
3:植物をモチーフにした生地の柄のデザイン① 植物を使った模様のデザイン	植物をモチーフにした古代の文様の資料を準備する。 ペンツールについての復習または予習
4:植物をモチーフにした生地の柄のデザイン② ペンツールのコツ	ペンツールについて復習
5:植物をモチーフにした生地の柄のデザイン③ 構成の結定とペンツールでの作業	ペンツールの使い方について、不明な点などについて再チェックする。
6:植物をモチーフにしたシャツのデザイン① ハンガーイラスト制作	シャツの資料原稿スキャン 植物柄のレイアウト案を３案以上考えてくる
7:植物をモチーフにしたシャツのデザイン② オリジナルの柄をシャツに。	途中経過のチェックを受け、修正箇所を修正する。
8:人物・鳥・花をモチーフにしたファッションイラストレーション フォトショップによる画像合成	各モチーフの画像資料の収集 フォトショップの復習または予習
9:人物・鳥・花をモチーフにしたファッションイラストレーション イラストレーターとフォトショップの連携によるフィニッシュ	作業の手順について整理しておく 未完成作品の完成提出のために必要な時間外制作
10:2種類以上の生物を組み合わせて新しい生物をデザイン　① 素材の組み合わせ方	ラフスケッチ、作品制作に必要な資料の収集 ラフスケッチのチェックを受ける
11:2種類以上の生物を組み合わせて新しい生物をデザイン　② イラストレーターによるフィニッシュワーク	色彩計画案を考えてくる 提出準備
12:2種類以上の生物を組み合わせて新しい生物をデザイン　③ イラストレーターによるフィニッシュワーク	途中経過のチェックを受け、修正箇所を修正する。
13:ペンタブレットを使ったスタイル画の制作 左手で描くスタイル画	筆ペンなどの画材の調達 スタイル画の練習
14:ペンタブレットを使ったスタイル画の制作 フォトショップによるフィニッシュワーク	提出準備
15:ペンタブレットを使ったスタイル画の制作 フォトショップを使ったテクスチュアの表現	途中経過のチェックを受け、修正箇所を修正する。

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと。必要に応じて内容や容量については必要に応じて説明する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

必要に応じて配布資料、参考資料を準備する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

提出課題による評価　90%　学習の意欲　10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

USBフラッシュメモリーが必要(可能であれば2本、1本はバックアップ用)
授業時間外での課題の制作時間、資料収集、調査などの時間が必要
提出された課題作品は採点しコメント等を添えて返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
ファッションイラストⅡ	FA50207	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	デザインフィールド		
徳山　真由美		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	◎
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	◎
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

ファッションイラストレーションには様々な表現方法がある。画材の違いによる表見方法を習得することは、よりイメージの伝達に広がりが生まれる。
そこで水性色鉛筆からマーカーを使用した表現までを学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

ファッションデザイン画の画材の違いによる技法を修得できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 導入 ・人体プロポーションについて	人体のプロポーションの練習をおこなうこと
2: 人体プロポーションの応用 ・正中線の変化による人体の表現方法について	小テストの練習をしておく
3: 画材別表現方法Ⅰ ・水性色鉛筆での作品制作(下書き)	下書きを完成しておくこと
4: 画材別表現方法Ⅰ ・水性色鉛筆での作品制作(着彩方法)	作品制作を進めておく
5: 画材別表現方法Ⅰ ・水性色鉛筆での作品完成	作品を完成する
6: 画材別表現方法Ⅱ ・グレーマーカーについて(下書き)	下書きを完成しておくこと
7: 画材別表現方法Ⅱ ・グレーマーカーでの作品完成	作品を完成する
8: 画材別表現方法Ⅲ ・カラーマーカーでの作品制作(下書き)	下書きを完成しておくこと
9: 画材別表現方法Ⅲ ・カラーマーカーでの作品制作(着彩方法について)	技法の練習をしておくこと
10: 画材別表現方法Ⅲ ・カラーマーカーでの作品制作	作品制作を進めておく
11: 画材別表現方法Ⅲ ・カラーマーカーでの作品完成	作品を完成する
12: 画材別表現方法Ⅳ ・ファッションイラストで使用されている様々な表現方法を調査する	調査資料をまとめておく
13: 画材別表現方法Ⅳ ・各自が使用したい表現方法の練習、下書き	下書きを完成しておくこと
14: 画材別表現方法Ⅳ ・作品制作	作品制作を進めておく
15: 画材別表現方法Ⅳ ・作品完成	作品を完成する

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分程度行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない　教員作成資料を配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題・小テスト 95%　　提出物・学習の意欲 5%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

小テスト・作品は、添削と評価を行って返却します。
クロッキー帳、鉛筆(B～6B)、筆ペンを準備しておくこと。
「ファッションイラストⅠ」を受講していることが望ましい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
Webデザイン演習	FA50108	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	デザインフィールド		
吉川　伸彦		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	◎
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

ネットを利用した情報伝達は当たり前となり、通信環境の高度化と様々なデバイスの登場で、我々は常に高度な情報に接し利用することができます。
情報発信も手軽にできるようになった一方で、ただ発信すれば見てもらえるわけでも、ただ「SNSを活用すれば集客できる」わけでもありません。
手法に振り回されずに、自らインプットしコンテンツの種を見つけ、アウトプットすることができることが求められます。
この科目では、メディアに依存しないコンテンツの編集とWebデザインについて講義し、Webデザインの技術を学ぶことを目的とします。

Ⅲ. 学習成果

1)ツールを使い、Webページ・サイトを作ることができる(技能)
2)Webサイトをデザインする際にどのような点に気をつけると良いか説明できる(知識・理解)
3)他人ではなく自分の行動や思考・感情からメッセージを作ることができる(態度)
4)日常的な観察・気づきから、自らの関心事を理解し、コンテンツ化することができる(技能)

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:〈ガイダンス〉Web制作・デザイン・コンテンツメイキングを通して知ってほしいことについ	予習)シラバスを読んでおく 復習)ガイダンスの内容を見直し、提出物などについて理解しておく
2:制作1:制作ツールの紹介、制作の流れを知る	予習)作ってみたいサンプルサイトを用意 復習)制作ツールを使い「できる・できない」を把握
3:制作2:要素を制作する、要素のデザインを考える	予習)作ってみたいサンプルサイトを用意 復習)制作ツールを使い「できる・できない」を把握
4:制作3:ページを制作する、ページのデザインを考える	予習)作ってみたいサンプルサイトを用意 復習)制作ツールを使い「できる・できない」を把握
5:制作4:2種類のページタイプを知る、一覧のデザインを考える	予習)作ってみたいサンプルサイトを用意 復習)制作ツールを使い「できる・できない」を把握
6:編集1:コンテンツとデザインを考察する	予習)「コンテンツ」について調査・レポート作成 復習)自分のアウトプットが「反応」と「意見」か分析してみる
7:編集2:サイトを分析してお手本にする	予習)分析したい「お手本サイト」を用意する 復習)見たものを構造で分解してみる
8:編集3:コンテンツの種の作り方を知る	予習)エピソードを記録してくる 復習)1日の終わりにその日の行動、思考、感情を書いてみる
9:編集4:コンテンツの種を芽吹かせる	予習)エピソードを記録してくる 復習)分類パターンをいくつか考えてみる
10:編集5:コンテンツを開花させる	予習)エピソードの整理をしておく 復習)記録に必要なことを記事化から逆算して考えてみる
11:編集6:サイトのスタイルを考える	予習)記事の準備(材料集め) 復習)ムードの言語化を練習してみる
12:編集・制作1:サイトの更新や改善を行う	予習)記事の準備、デザインの検討 復習)
13:編集・制作2:サイトの更新や改善を行う	予習)記事の準備、デザインの検討 復習)
14:編集・制作3:サイトの更新や改善を行う	予習)記事の準備、デザインの検討 復習)
15:提出・演習のまとめと振り返り・学んだことを確認	予習)記事の準備、デザインの検討 復習)

＊準備学習についての補足説明
授業の準備学習は1時間程度必要。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。授業用のレジュメサイトを準備します。参考図書は必要に応じて都度紹介します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲(10%) ／ レポーター・質問者としての貢献(20%) ／ 調査における提出物(20%) ／
成果物(＝コンセプト、情報設計、Webサイトの出来、など。50%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1)パソコンの基本的な操作やネットの使い方は説明しません
2)GoogleClassroomだけでなく、様々なオンラインツールを使うことになります
3)ものごとを深く・よく考えることを要求します
4)明らかに授業と関係ない会話やネットの閲覧は評価が悪くなります
5)提出物に対するフィードバックはGoogleClassroomで行います

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
ファッションスタイリング演習	FA51101	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッションビジネスフィールド		
岡田　絵梨奈		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	○

Ⅱ. 概要

販売員やスタイリストに必要なサイズ選びや体型カバーなどを学び、スタイリング提案に必要なコーディネートテクニックを習得します。
着る人の体型的魅力やファッションデザインを伝えるために、スタイリングの実践を中心とした演習をおこない
ファッションショーや商品企画、プレゼンテーションなどに効果的な表現力を身につけます。

Ⅲ. 学習成果

コーディネートのために必要な基礎知識や技術の習得、コミュニケーションスキルを身につけます。
ファッションデザインを分析し、理解する基礎力を身につけ、提案力を身につけます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション ・コーディネートとは何か	シラバスを読んでおくこと
2: ファッションマナーの必要性 ・ファッションにおけるTPO①	フォーマルウェアのコーディネートを ファッション雑誌から探しておく
3: フォーマルウェアとドレスコード ・ファッションにおけるTPO②	昼と夜のフォーマルウェアの違いを理解し 課題プリントを仕上げる
4: 体型別スタイリングテクニック① ・体型分析とバランス	テーマ別のコーディネートをまとめる コーディネートの実践・発表の準備
5: 体型別スタイリングテクニック② プレゼンテーション ・コーディネートテクニック　全身編	テーマ別のコーディネートをまとめる コーディネートの実践・発表の準備
6: 体型別スタイリングテクニック③ プレゼンテーション ・コーディネートテクニック　上半身編	テーマ別のコーディネートをまとめる コーディネートの実践・発表の準備
7: 体型別スタイリングテクニック④ プレゼンテーション ・コーディネートテクニック　下半身編	テーマ別のコーディネートをまとめる コーディネートの実践・発表の準備
8: 体型別スタイリングテクニック⑤ プレゼンテーション ・コーディネートテクニック　パーツ編	テーマ別のコーディネートをまとめる コーディネートの実践・発表の準備
9: 体型別スタイリングテクニック⑥ ・コーディネートテクニック　アクセサリー編	テーマ別のコーディネートをまとめる コーディネートの実践・発表の準備
10: カラーコーディネート ・色彩理論をコーディネートで実践	テーマ別のコーディネートをまとめる コーディネートの実践・発表の準備
11: ファッションとコーディネートについて　DVD鑑賞	感想レポート
12: 体型に合わせたコーディネートの企画 ・体型分析とコーディネートの企画・提案	これまでのコーディネートテクニックを編集し 相手に合わせたコーディネートを考察する
13: コーディネート提案シートの作成 ・コーディネートの解説のポイント	ファッション雑誌からアイテムを選択し コーディネートを提案する
14: トータルコーディネート ・テーマを設定し、コーディネートを実践する	体型を分析し トータルコーディネートを企画・実践する
15: スタイリングの重要性について	提出課題を仕上げる

＊準備学習についての補足説明
課題プリントや調査など30分以上の準備学習が必要となります
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書はありませんが、毎回テキストプリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出物(50%)、実技評価(30%)、受講態度(10%)、学習への意欲(10%)
※ 原則として評価対象の課題は全て提出すること。また、提出の際は規定のファイル形式で提出すること。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

ファッション雑誌を使用して課題を作成しますので、切り取りのできるファッション雑誌、のり、はさみ等が必要です
また、全ての課題については返却時や発表時に個別にコメントをフィードバックします。

「実務経験教員科目」特記事項:スタイリスト経験を活用し、コーディネートにおける共通言語の重要性を実践を通じて深めていきます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
ファッションとデザイン戦略	FA51102	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:	ファッションビジネスフィールド		
岡田　絵梨奈		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	◎
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

ファッションビジネスを取り巻くあらゆるデザインは、ブランディングやマーケティングなどが戦略的に活用されています。基礎的な
分析方法などを学び、ファッションビジネスとデザインの関係性を様々な角度から考察します。これからのファッションビジネスにおいては、
ライフスタイル全般におけるデザインの理解力が求められるため、より実践的なリサーチや分析手法を演習します。

Ⅲ. 学習成果

ファッションに関連するデザインを調査・分析することで、戦略的かつ理論的な提案力を身に付けることができます。
専門用語や分析手法を活用することで、企画・運営に役立つ知識を習得します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ファッションにおけるデザイン戦略とは	シラバスを読んでおくこと
2: ブランディングとデザイン戦略 ・ファッションブランドのデザイン戦略事例	課題プリントの実施
3: ファッションブランドの広報戦略 ・PRの種類とその役割	PRの種類やデザインについて調査し、まとめる
4: パッケージデザインからみるファッション① ・区分と分類　リサーチ演習	パッケージの収集
5: パッケージデザインからみるファッション② ・データベース化から分析まで　・グループワーク	デザイン分析のデータ化 データから結果をまとめる
6: パッケージデザインからみるファッション③ ・結果発表	発表準備
7: パッケージデザインからみるファッション③ ・ロゴのデザイン　フォントについて	ロゴデザインのチャートを作成する ファッション雑誌の広告切り取り
8: ファッションと空間デザイン ・ファッションと店舗　ディスプレイ等の調査	設定した内容について店舗調査をまとめる
9: ファッションと空間デザイン ・店舗デザインの調査結果	調査結果のまとめ
10: ファッションと空間デザイン ・店舗デザインから考える　・プレゼンテーション	発表準備
11: デザイン戦略の活用① 自由研究　テーマを決める	テーマ・調査方法の設定と調査計画
12: デザイン戦略の活用② 自由研究　リサーチの方法を考える	データの収集・分析と考察
13: デザイン戦略の活用③ 自由研究　収集したデータを分析する	分析と考察　発表準備
14: 発表　プレゼンテーション	発表準備
15: ファッションを分析するということ	提出課題のまとめ

＊準備学習についての補足説明
課題プリントや調査など30分以上の準備学習が必要となります
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書はありませんが、毎回テキストプリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出物(50%)、実技評価(30%)、受講態度(10%)、学習への意欲(10%)
※ 原則として評価対象の課題は全て提出すること。また、提出の際は規定のファイル形式で提出すること。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

ファッション雑誌を使用して課題を作成しますので、切り取りのできるファッション雑誌、のり、はさみ等が必要です
また、全ての課題については返却時や発表時に個別にコメントをフィードバックします。

「実務経験教員科目」特記事項:デザインストラテジー修士。理論的なデザイン分析の演習等を取り入れたカリキュラムです。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
ビジュアルマーチャンダイジング	FA51103	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッションビジネスフィールド		
中西　健也		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	○

Ⅱ. 概要

マーケティングの究極の目的である「販売せずして売上を上げる」の手法として欠かすことのできないのがVMDである。
この授業は、店舗運営に関わることを効果的に学ぶ授業であり、この「V・M・D」(ビジュアルマーチャンダイジング)の授業では本来の意味、基本を、徹底して学び、商品企画
商品計画、商品政策、顧客サービスと言った会議室で創られたものを、現場である「売場」、「お買場」で反映させる手法を学んでいく。
消費者がどのように情報やモノを選択しているのか、購入に至る経緯を倫理的に理解し現場で活かせるようになる。

Ⅲ. 学習成果

・誰が売り場に立っても、売れる売り場を作ることが出来、シーズン毎の、自分の店の販売計画が作れるようになる。
・シーズンを通じて、適正在庫数量、金額の確保が科学的にできるようになる。
・「販売せずして売上を上げる」という理論を修得できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:V・M・Dの概要と定義	VMDとは何か？の概要を理解するためにテキスト第1章19ページまでを読んでくる。
2:V・M・Dに必要な基本MD(マーチャンダイジング) ①ターゲット分類②ライフステージ分類	家族、友人を分類してみる。タンスの中を分類してみる。
3:V・M・Dに必要な基本MD(マーチャンダイジング) ⑤ オケージョン分類⑥ カラーの基本	定点観察、グループで百貨店を視察
4:V・M・Dに必要な基本MD(マーチャンダイジング) ⑦ サイズの基本⑧ プライスの基本	講義後　定点観察、グループで百貨店を視察
5:V・M・Dに必要な基本MD(マーチャンダイジング) ③ グレード分類④ テイスト分類	季節分類、年間行事、催事をまとめておく。
6:売場づくりの基本 ① 定数、定量の考え方　② 陳列の手法	講義後　定点観察、グループで百貨店IPスペースを視察
7:売場づくりの基本 ③ V・M・Dの基本用語	講義後　定点観察、グループで百貨店PPスペースを視察
8:売場づくりの基本 ④ VP (ビジュアルプレゼンテーション)の考え方とは	講義後　定点観察、グループで百貨店VPスペースを視察
9:売場づくりの基本 ⑤ IP　(アイテムプレゼンテーション)の考え方	講義後　定点観察、グループで百貨店IPスペースを視察
10:売場づくりの基本 ⑥ PP (ポイント・オブ・プレゼンテーション)の考え方	講義後　定点観察、グループで百貨店PPスペースを視察
11:、52週を通じた商品サイクル	カレンダーを作成してくる
12:売場づくりの応用 ①顧客購買心理を基にした売場づくり	講義後　定点観察、グループで百貨店、ショッピングモールを視察
13:売場づくりの応用 ② 季節によって変わるポップアップショップの考え方	講義後　定点観察、グループで百貨店、ショッピングモールを視察
14:VMDと係数 ① 売上と在庫の関係	レポートをまとめておく
15:最終レポート作成	レポート提出

＊準備学習についての補足説明
店舗視察を頻繁に行ってください。視察したお店を例に挙げて授業を進めます。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

参考図書:　繊研新聞社　図解VMDの基本　田村登志子　著

Ⅵ. 評価方法と評価基準

レポート（80%）学習の意欲　（20%）

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

講義中の私語、スマホ操作は他者への迷惑、また評価の減点に繋がります。
参考図書は1回目から使用します。必ず授業開始前までに購入しておいてください。AMAZONでも買えます。
「実務経験教員科目」 特記事項:百貨店勤務と販売代行会社経営者として40年の経験を生かして、教科書では伝えられないリアルな経験知識を伝えることができる
レポート内容について授業で講評、解説の時間を設けてフィードバックします

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
マーケティング基礎演習	FA51104	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッションビジネスフィールド		
曽根　ゆかり		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

マーケティングとは、幅広く難しいイメージがありますが、大切なのは、本質を大づかみに理解することです。お客様がどんな商品やサービスを欲しいと思うのか？
正しく把握することがビジネスでは大変重要です。また、ファッションビジネスは、次シーズンのトレンドを予測し、お客様の期待している商品やサービスを提供しなければなりません。その為に、マーケティングは、「お客様を知る」手法として大きな役割があります。ここでは、マーケティングの基礎知識を習得し、市場の変化やファッショントレンドの分析など実践的な活用方法を学びます。

Ⅲ. 学習成果

・ファッションビジネスにおいて、マーケティングの重要性を理解し、総合的に活用できるスキルを身につける
・マーケティング手法をつかって、ショップやブランドの情報収集・分析ができる
・マーケティング分析に基づき、自ら商品計画・販売計画・プロモーション計画の計画を立案し、理論的に人へ説明することができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション シラバスの確認・目標の設定・成績評価・課題取組などの説明	(予習)シラバスを読んでおく 本講座で自ら分析したいファッションブランドをピックアップしておく
2: ケーススタディ 2021年ヒット商品からマーケティング戦略を考察	(予習)2021年ファッションアイテムのヒット商品を調べておく 何故売れたのか？理由をまとめておく
3: マーケティングの基本 消費者の「本質的ニーズ」とは。「ニーズ」と「ウォンツ」の違い	(予習)自分が今一番手に入れたいファッションアイテムを挙げ、何故それが欲しいのか、その理由をまとめておく
4: マーケティング環境の変化 時代の移り変わりとマーケティングトレンドの変遷	(復習)アパレルのトレンド変化とその時代の様式を時系列にまとめる
5: マーケティングの流れ 環境の分析から戦略の立案　：　マーケティングの一連の流れを事例で学ぶ	(復習)マーケティング用語を暗記し、マーケティングの一連の流れをまとめる
6: 市場のつかみ方 マーケットリサーチ　：　PEST分析・5F分析・3C分析・SWOT分析	(予習)ニュースや本などから、日本・世界の政治・経済・文化や社会の問題など、自分の生活に関わる重要な事柄を調べておく
7: グループワーク・環境の分析まとめ 環境分析の共有、グループディスカッション	(予習)選択ブランドのマーケットリサーチを行い、発表の準備を行う (復習)メンバーの意見を受け、環境の分析を修正・完成させる
8: マーケティング戦略の策定 セグメンテーションとターゲティング・顧客ターゲットの設定(ペルソナ手法)	(復習)選択ブランドのセグメンテーションとターゲティングを実践し、ペルソナを作成する
9: ポジショニングの設定 マーケットを見定める　：　ポジショニングマップの作成	(復習)選択ブランドのポジショニングマップを作成する また、グループワーク発表の資料を準備する
10: グループワーク・戦略の立案まとめ マーケティング戦略の共有、グループディスカッション	(復習)メンバーの意見を受け、戦略のまとめを修正・完成させる
11: 施策の立案　製品・価格戦略 4P戦略(Product/Place)を事例で学ぶ	(復習)選択ブランドのプロダクト戦略・プライス戦略をまとめてみる
12: 施策の立案　チャネル・コミュニケーション戦略 4P戦略(Plasc/Promotion)を事例で学ぶ	(復習)選択ブランドのチャネル戦略・プロモーション戦略をまとめてみる
13: コンセプトワーク 個人ワーク:各自マーケティング分析・戦略から施策の立案までブランド戦略を作成	(予習)ブランド企画を考え、対象顧客・商品計画・販売方法・プロモーション計画を考え、資料作成の準備をする
14: チームプレゼンテーション チーム内で各自プレゼンテーション発表とディスカッション	(予習)パワーポイントで資料を作成し、プレゼンテーションの準備をする
15: 全体プレゼンテーション チーム代表のブランド戦略発表・講評	(予習)プレゼンテーションの準備をする (復習)受講生の発表を受けて、良かった点や感想をまとめて提出する

＊準備学習についての補足説明

市場調査や課題作成に要する時間は、週に3～4時間は必要です。
課題は、期限までに出来上がってなければ評価の対象になりません。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

・教科書は使用しません。適時資料を配布します。各自ファイリングをしてください。
・参考図書:ファッションビジネス能力検定試験テキスト

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・調査・レポート(40%)、プレゼンテーション(30%)、修了試験(20%)・学習の意欲(10%)
・学習意欲として、提出物期限や受講態度も評価に反映します。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・ノートと筆記具が持参してください。・座席指定をします。
・プレゼンテーションのためのパワーポイントでの資料作成・USBメモリーが必要です。
・情報収集において、各種ファッション雑誌、業界レポート等の準備が必要となります。
・予習、復習の配布シートは提出して頂きます。質問については、コメントを添えて返却します。
「実務経験教員科目」特記事項:百貨店でのバイヤー、MD,店舗プランニング経験あり。実務経験に基づき各回の授業を行っています。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
アパレル情報分析	FA51105	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッションビジネスフィールド		
秦　寛史		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	◎
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

アパレル業界において重要な情報とは、どのようなもので、何から得られるのでしょうか。
この授業では、主に「企画、デザイン」「接客、販売」の2つのシーンにおいて、
それぞれ有用と思われる情報を取り上げて、解説します。

Ⅲ. 学習成果

企画、デザインにどのような情報を活かすべきか理解できる。
接客、販売にどのような情報を活かすべきか理解できる。
トレンドの意味やファッション意匠の意味を理解し、創作に活かすことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: トレンドについて① トレンドとはなにか理解する	復習として、トレンドとは何か、今まで知っていた知識との違いをレポー
2: トレンドについて② 2022年春夏トレンドを検証する	2022年春夏トレンドについてレポートにまとめる
3: トレンドについて③ 2022年秋冬トレンドを予測する	2022年秋冬トレンドについてレポートにまとめる
4: トレンドについて トレンドをテーマにコラージュを作成する	コラージュを仕上げる
5: メディアについて① オンラインメディア上の情報の仕組みを理解する	オンラインメディアの特徴についてレポートをまとめる
6: メディアについて② ファッション雑誌上の情報の仕組みを理解する	ファッション雑誌に見方についてレポートをまとめる
7: レディスファッションの系統について① モダン、ソフィスティケート、エレガント、ロマンチック　特徴を理解する	4つのイメージをコレクションから探しておく
8: レディスファッションの系統について② マニッシュ、アクティブ、カントリー、エスニック　特徴を理解する	4つのイメージをコレクションから探しておく
9: レディスファッションの系統について② 8大イメージに沿ったコラージュを作成する	コラージュを完成させる
10: マーケットについて① 日本のアパレル市場の特徴を理解する	日本のアパレル市場の特徴をレポートにまとめる
11: マーケットについて② 日本の消費者区分を理解する	日本の消費者区分をレポートにまとめる
12: ファッションブランドについて① 海外ブランドの歴史や特徴を理解する	気になったブランドの特徴をレポートにまとめる
13: ファッションブランドについて② 国内ブランドの歴史や特徴を理解する	気になったブランドの特徴をレポートにまとめる
14: ファッションブランドについて③ 興味をもったブランドについて、特徴をまとめてコラージュにまとめる	コラージュを仕上げる
15: プレゼンテーション ブランドのどのようなところに興味を持ったのか、プレゼンテーションする	プレゼンテーションの準備をする

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用せず、画像や動画を参照する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

提出物50%、レポート50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

可能であれば、「Vogue Runway」のスマートフォンアプリ(無料)をダウンロードしておく。
提出物は採点後返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
織物実習	FA52104	開講時期:	3・4期		
		形態:	実習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	生活スタイリングフィールド		
彌永　裕子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

織物の基礎や構造を課題を通して学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

織物の基本の構造や仕組みが理解できる。織物についてや、生地産地についても知識を習得できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション 生地の構造や、織機の構造、生地産地についてのレクチャー	(復習) 配布資料を読んで課題や授業内容を理解する。 授業内容をノートにまとめる。
2: 木枠を使って織る織物課題1平織 自分で選んだ糸でサンプルとしての織物を織る準備、木枠に経糸をかける	(予習) 糸の色や種類を考える (復習) 手順などをノートにまとめる。
3: 木枠を使って織る織物課題1平織 木枠を使って織る	(予習) 織る作業を進めておく (復習) 手順などをノートにまとめる。
4: 木枠を使って織る織物課題2ノッティング 糸や色、デザインを考える、木枠に経糸をかける	(予習、復習) 手順などをノートにまとめる。
5: 木枠を使って織る織物課題2ノッティング 織る、講評	(予習、復習) 手順などをノートにまとめる。
6: 木枠を使って織る織物課題3綴織 糸や色、デザインを考える、木枠に経糸をかける	(予習、復習) 手順などをノートにまとめる。
7: 木枠を使って織る織物課題3綴織 織る	(予習、復習) 手順などをノートにまとめる。
8: 木枠を使って織る織物課題3綴織 仕上げ作業、講評	(予習、復習) 手順などをノートにまとめる。
9: 織機で織る課題4平織でマフラー デザインを考える、糸の計算、	(予習) 色、デザインイメージを考えてくる (復習) 糸の計算
10: 織機で織る課題4平織でマフラー 糸の染色、糸の準備	(予習、復習) 手順などをノートにまとめる。
11: 織機で織る課題4平織でマフラー 経糸の整経、織機の準備	(予習、復習) 手順などをノートにまとめる。
12: 織機で織る課題4平織でマフラー 織る	(予習、復習) 手順などをノートにまとめる。
13: 織機で織る課題4平織でマフラー 織る	(予習、復習) 手順などをノートにまとめる。
14: 織機で織る課題4平織でマフラー 織る	(予習、復習) 手順などをノートにまとめる。
15: 織機で織る課題4平織でマフラー 仕上げ、講評	(予習、復習) 手順などをノートにまとめる。

＊準備学習についての補足説明

授業時間内に課題が進まなかった場合は次回までに進めておく。

Ⅴ. 教科書・参考図書

必要に応じてプリント配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

提出課題による評価80%、学習への意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題のフィードバックとして、作品ごとに合評を行う。スケジュールや作業内容を確認し、必要な材料や道具を忘れないようにすること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
ヘア・メイクトレーニング	FA52105	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	生活スタイリングフィールド		
戸上　由起子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

ファッションに合わせたヘアメイクの知識を身につけ、表現できる技術力を養います。

Ⅲ. 学習成果

ファッションのイメージやコンセプトに合ったヘアメイクを理解し、ヘアメイクで表現できる技術を習得できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: メイク理論	学んだ内容を基にファッションとヘアメイクの関係についてまとめる。
2: スキンケア・ベースメイク	習得内容を1～3名の方で実践する。記録用に撮影する。
3: ソフトメイク(アイメイク、アイブロウ)	習得内容を1～3名の方で実践する。記録用に撮影する。
4: ソフトメイク(リップ、チーク)	習得内容を1～3名の方で実践する。記録用に撮影する。
5: ソフトフルメイク	事前にイメージを考えておく。 習得内容を1～3名の方で実践し記録用に撮影する。
6: シャープメイク(アイメイク、アイブロウ)	習得内容を1～3名の方で実践し記録用に撮影する。
7: シャープメイク(リップ、チーク)	習得内容を1～3名の方で実践し記録用に撮影する。
8: シャープフルメイク	事前にイメージを考えておく。 習得内容を1～3名の方で実践し記録用に撮影する。
9: ヘアーアイロンの使い方	習得内容を1～3名の方で実践し記録用に撮影する。
10: ヘアーアレンジ基礎	習得内容を1～3名の方で実践し記録用に撮影する。
11: ヘアーアレンジデザイン	事前にイメージを考えておく。 習得内容を1～3名の方で実践し記録用に撮影する。
12: ヘアーアップスタイル	事前にイメージを考えておく。 習得内容を1～3名の方で実践し記録用に撮影する。
13: ヘアーメイク作品制作①	作成したいイメージ・コンセプトを考え制作に必要な物を準備する。
14: ヘアーメイク作品制作②	作成したいイメージ・コンセプトを考え制作に必要な物を準備する。
15: ヘアーメイク作品制作・提出	作成したいイメージ・コンセプトを考え制作に必要な物を準備する。

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回30分～60分程度行います。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教員作成資料を配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・作品評価(60%)[イメージ・コンセプトに合ったヘアメイク、ファッションでトータルで作品としてまとまっているかという点での評価]
・学習意欲(40%)[積極的な姿勢で授業に取り組んでいるのかという点での評価]

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・メイク実習時は、必ず洗顔から行う規則となります。 ・ヘアー、メイク実習時の用品は各自ご準備下さい。
・作品制作材料は各自ご準備下さい。
・提出課題がある場合はコメントして返却します。
・「実務経験教員科目」特記事項:プロ育成を目的とするトータルビューティースクールにて17年間インストラクターとして技術者を育成しています。
またヘアメイクアーティストとして様々な活動を行っています。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
ファッションフォト	FA52106	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	生活スタイリングフィールド		
重松　美佐		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	◎
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

ファッションフォト制作のために必要な写真撮影の基礎知識及び応用までの実践演習を交えながら学びます。
人物撮影から物撮りなど、様々なモチーフを撮影することにより、構図や構成、撮影技術を習得し、
ポートフォリオの制作やコーディネートの課題、作品制作の為の表現方法を考察します。

Ⅲ. 学習成果

1.撮影のイメージを考えることができる。
2.目的に応じた撮影方法を選択できる。
3.目的に応じた写真編集ができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション 〝ファションフォト〟とは何か。	日常での雑誌、SNSに関わらず、様々な媒体の〝ファションフォト〟をまとめる。
2: 基礎写真① 撮影に欠かせない〝カメラ〟について。	授業で使うカメラ(スマートフォンカメラも含む)の撮影機能を 理解しておく。
3: 基礎写真② 写真に欠かせない光、構図、アングルとは何か。	光、構図、アングルの意味、そしてその効果を確認する。
4: 撮影実習・物撮り(テーブルフォト)① 〝物を撮る〟について。撮影のイメージ作り、準備。	テーマを決め、撮影の準備をする
5: 編集実習・物撮り(テーブルフォト)② 自分のカメラ(スマートフォンカメラも含む)で撮影する	撮影した画像の編集をする。
6: 作品発表	作品制作・発表の準備をする。
7: 撮影実習・屋外で人物撮影する① 〝人を撮る〟について。レフ板の説明、使い方。撮影場所の選び方。	テーマを決め、撮影に使う衣装計画、小道具の準備、 また、撮影場所の確認。
8: 撮影実習・屋外で人物撮影する② 自分のカメラ(スマートフォンカメラも含む)での撮影	光、構図、アングル、撮影場所の選択の意味、効果を確認する。
9: 編集実習 撮影した画像を編集する	撮影した画像を編集する。
10: 撮影した作品の発表 作品発表	作品制作・発表の準備。
12: 撮影実習・スタジオで人物を撮影する① 〝スタジオ撮影〟とは。照明機材の説明、使い方	撮影したいテーマを決め、撮影に使う衣装計画、 小道具の準備を行う。
12: 撮影実習・スタジオで人物を撮影する② スタジオ撮影	照明機材を使い、〝光を作る〟という事の意味を理解する。
13: 編集実習 撮影した画像を編集する。	撮影した画像の編集をする。
14: 撮影した作品の発表 作品発表	作品の制作・発表の準備をする。
15: 写真集の見方、ZINEの話。	自分が好きな写真集、雑誌、写真を準備する。

＊準備学習についての補足説明
作品の準備や編集で30分以上の準備が必要
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。資料は教員が作成したものを必要に応じて配布する。
雑誌や写真集、SNS等で各自で資料を準備する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出物(40%)、実技評価(40%)、学習意欲(20%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

『実務経験教員科目』特記事項:広告や舞台、HP、雑誌の撮影を中心とした実務経験あり。
撮影でのノウハウや表現方法など、より実践的な撮影方法を学ぶ。
課題作品は発表時に講評し、必要なアドバイスとコメントを口頭で行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
パターンメーキング Ⅰ	FA53101	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション造形フィールド		
斉藤　朋子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	◎
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	◎
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	◎
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	○

Ⅱ. 概要

服作りのための平面作図法を学ぶ。パンツ、ジャケット、ワンピースの基本パターンとその展開方法を学び工業用パターンを作成していく。
縫製工程に沿った完成パターンを通して縫製仕様や縫製方法を考える力を同時に養っていく。

Ⅲ. 学習成果

平面作図の基本的な技法を身につけることができる。
平面と立体の関連性を考える力を深めることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ストレートパンツ(基本形)の作図(前)(後ろ)(ベルト)	スカート・パンツの教科書P136～P139を熟読する
2: パターンチェック	授業の再確認をするため1／2作図を書く
3: トワル作成	シーチング準備・完成のための組み立て準備
4: トワルチェック	A4写真付きレポートをまとめる。1／2作図完成
5: テーラードジャケット作図(4面構成)　身頃(前)(後ろ)	ジャケット・ベストの教科書P34・P35を熟読する
6: テーラードジャケット作図(4面構成)　身頃・襟完成	授業の再確認をするため1／2作図を書く(身頃、襟)
7: テーラードジャケット作図(4面構成)　袖(2枚袖)	ジャケット・ベストの教科書P27を熟読する
8: テーラードジャケット作図(4面構成)　パターンチェック	授業の再確認をするため1／2作図を書く(襟・袖)
9: トワル作成	完成のための裁断・組み立て
10: トワル作成	組み立て
11: トワルチェック	1／2作図完成
12: トワルチェック	1／2作図完成
13: プリンセスラインワンピースドレス身頃作図	ブラウス・ワンピースの教科書P157～P159を熟読する 授業の再確認をするため1／2作図を書く(身頃)
14: プリンセスラインワンピースドレス身頃袖作図　(長袖口パフスリーブ・カフス付)	ブラウス・ワンピースの教科書P28を熟読する 授業の再確認をするため1／2作図を書く(袖)
15: まとめ	パターンの修正点をまとめる

＊準備学習についての補足説明
　30分程度行うこと。準備学修についての内容は毎回の授業で説明します。
　単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

文化服装学院編「スカート・パンツ」「ジャケット・ベスト」「ブラウス・ワンピース」

Ⅵ. 評価方法と評価基準

演習課題70%　1/2作図・レポート提出20%　学習意欲10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

実物パターン・1／2作図によるレポート作成についてコメントを加え本人に返却します。
実物パターン作成のためのハトロン紙及びトワル作成のシーチングは各自準備が必要です。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
ファッションデザイン演習	FA53102	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション造形フィールド		
彌永　裕子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	◎
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

ファッションデザインの発想、アイデアを視覚的に表現していくことを学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

ファッションデザインに必要なデザインを導きだす方法を学び、デザインを考える能力やデザインを展開する能力(バリエーション)、

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:課題①自分を掘り下げたデザイン リサーチ、マインドマップを作る	(予習)自分の影響を受けてきたもの、美意識、好きなものなどを リサーチしておく
2:課題①自分を掘り下げたデザイン ビジュアルイメージを集める、コラージュ	(予習)ビジュアルイメージを集める 復習)イメージを組み合わせる
3:課題①自分を掘り下げたデザイン コラージュによるデザイン案の作成	(予習)コラージュ素材を集める (復習)コラージュを進める
4課題①自分を掘り下げたデザイン コラージュによるデザイン案を絵に変換する。	(予習)画材を準備 (復習)デザイン画を制作
5:課題①自分を掘り下げたデザイン プレゼンテーション、講評	(予習)仕上げ、プレゼンテーションの準備 (復習)講評の意見などを記録しておく
6:課題②人間像からのデザイン 具体的な人間像をイメージし、そこからデザインを考える	(予習)人間像のリサーチ (復習)デザイン案を考える
7:課題②人間像からのデザイン 素材を集める、描く	(予習)素材を集める (復習)デザイン画を制作
8:課題②人間像からのデザイン プレゼンテーション、講評	(予習)仕上げ、プレゼンテーションの準備 (復習)講評の意見などを記録しておく
9:課題③立体からのデザイン 布や紙、糸などで立体を作る	(予習)素材を集める (復習)形を作る
10:課題③ 試作、イメージを描く	(復習)形を作る (復習)デザイン画を制作
11:課題③ 試作、イメージを描く	(復習)デザイン画を制作
12:課題③ プレゼンテーション、講評	(予習)仕上げ、プレゼンテーションの準備 (復習)講評の意見などを記録しておく
13:課題④自分で設定したテーマでのデザイン リサーチ、試作	(予習)テーマを考えてくる、リサーチ (復習)リサーチ
14:課題④自分で設定したテーマでのデザイン 試作、描く	(予習)デザイン画を制作 (復習)デザイン画を制作
15:課題④自分で設定したテーマでのデザイン プレゼンテーション、講評	(予習)仕上げ、プレゼンテーションの準備 (復習)講評の意見などを記録しておく

＊準備学習についての補足説明

1回の授業に対して30分程度の準備学習を行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

・プリント配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・課題　90%　・学習の意欲　10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題のフィードバックとして、合評を行う。
提出期限厳守ですので、授業時間内に終えていない課題は次の授業までに追いつくように努力してください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
ドレーピング演習 I	FA53103	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション造形フィールド		
坂元　美貴子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	◎
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

ドレーピングとは、ボディに(人台・ドレスフォーム)に布(シーチング)を当て、立体的に型紙を作る方法を言います。
この授業では、ドレーピングの基本的な技法を学ぶとともに前、後、側面から立体的に服を見る目を養うことを目的とします。.
また、ドレーピングを学ぶことにより、平面製図の理解も深めます。

Ⅲ. 学習成果

ドレーピングの基本的な技法を修得し、平面製図と合わせてパターンﾒｰｷﾝｸﾞが理解できている。
立体的に服を見る目が養われている。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 導入　シーチングのアイロンかけ、地直しの方法　ピンの打ち方について	ドレーピングの準備やピンの打ち方などをノートにまとめる。
2: ストレートスカートのドレーピングと印つけ	シーチングの地直しとライン入れ
3: ストレートスカートの再度組み立てとトレースパターンについての説明	トレースパターンを完成させて次回提出
4: 工業用ボディからの原型(スローパ)のドレーピング	シーチングの地直しとライン入れ ドレーピングの手順とポイントをノートにまとめる。
5: 工業用ボディからの原型(スローパ)の印つけと再度組み立て	トレースパターンを完成させる
6: フレアースカートのドレーピングと印付け	シーチングの地直しとライン入れ
7: フレアースカートの再度組み立てとトレースパターン	ドレーピングの手順とポイントをノートにまとめる。 トレースパターンを完成させて次回提出
8: 衿のドレーピングと再度組み立て ショールカラー　フラットカラー	シーチングの地直しとライン入れ
9: 衿のドレーピングと再度組み立て スタンドカラー	ドレーピングの手順とポイントをノートにまとめる。
10: ブラウスのドレーピング	シーチングの地直しとライン入れ
11: ブラウスのドレーピングと印付け	ドレーピングの手順とポイントをノートにまとめる。
12: ブラウスの再度組み立て	トレースパターンを完成させて次回提出
13: ワンピースのドレーピング①本体	ドレーピングの手順とポイントをノートにまとめる。
14: ワンピースのドレーピング②衿と袖	トレースパターンを完成させる
15: ワンピースの印つけと再度組み立て　合評とまとめ	トレースパターンとノート整理をして最終提出する。

＊準備学習についての補足説明
シーチングのアイロン掛けは必ず行っておくこと。アイロン掛けや地直し、トレースパターン、ノート整理など毎回30分以上は行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない
教員作成の資料や師範作品を参考資料とする。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題作品(提出物ノート含む)　80%　　学習の意欲20%
準備学習ができていない場合は、学習意欲の評価の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

ノートやトレースパターンはコメントを添えて返却します。資料の再配布のはしないので紛失しないように保管すること。
授業の性質上、欠席をすると次の授業に支障をきたすので無断欠席はしないようにすること。病欠等で欠席した場合は必ず研究室に聞きに来ること
「実務経験教員科目」特記事項:アパレルメーカーでパタンナーとしての勤務経験あり。授業第1回から第15回まで現場で行っていたドレーピング技法を実習形式で行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
ファッション造形実習	FA53204	開講時期:	3・4期		
		形態:	実習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など履修要件他:	ファッション造形フィールド		
尾畑　圭祐		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	◎
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	◎
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

産業界で即応できる実践能力を養うことを目標に、工業用パターンへ展開を行い、素材特性を活かした衣服製作の方法を学びます。
課題に沿って実習を進めながら、縫製の専門用語やパターンと縫製工程に沿った技術を修得します。

Ⅲ. 学習成果

パターンと素材に合った作品を具現化するための縫製技術やコツを身につけることができます
衣服の構成を考えるための基礎から応用力を付けることができます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:課題Ⅰパンツ製作　パンツ概説、パンツサイズ確認、デザイン決定	製作課題に関した市場調査、ファッション誌を見る
2: ストレートパターン修正、付属パーツ作成	パンツパターンについて教科書で予習する
3: 工業用パターン作成、裁断	デザインに合った素材を選ぶ
4: 準備工程(端始末、印つけ他)	パターンの確認をする(縫い代、ノッチ等)
5: 縫製　脇ポケット作り　脇縫い	縫製進行に合わせた箇所まで、進めておく
6: 股下・股ぐり縫い	縫製進行に合わせた箇所まで、進めておく
7: ファスナーつけ、ウェストベルト付け	縫製進行に合わせた箇所まで、進めておく
8: 丈確認、裾始末	縫製進行に合わせた箇所まで、進めておく
9: 完成、提出	提出表作成準備
10:課題Ⅱ　裏付テーラードジャケット製作　ジャケット概説、パターン確認	自分のサイズ確認、変更点の確認
11: 表・裏パターン修正、パーツ作成	裁断用パターンを完成させる
12: 表・裏裁断	布地の準備
13: 芯裁断、芯接着、印し付け(ノッチ)	工程通りに進める
14: 前端、折り返り線テープ芯貼り、縫い代整理	教科書、プリントで工程の確認
15: 裏衿準備工程、玉縁ポケット準備工程	縫製進行に合わせた箇所まで、進めておく
16: パネルライン縫い、玉縁ポケット作成	縫製進行に合わせた箇所まで、進めておく
17: 玉縁ポケット作成	縫製進行に合わせた箇所まで、進めておく
18: 肩縫い、表衿つけ、裏布縫い	縫製進行に合わせた箇所まで、進めておく
19: 見返し・裏布縫い合わせ、肩縫い、裏衿付け	縫製進行に合わせた箇所まで、進めておく
20: 前端縫い	縫製進行に合わせた箇所まで、進めておく
21: 袖作り	縫製進行に合わせた箇所まで、進めておく
22: 袖作り	縫製進行に合わせた箇所まで、進めておく
23: 前端整理	縫製進行に合わせた箇所まで、進めておく
24: 脇縫い、裾縫い	縫製進行に合わせた箇所まで、進めておく
25: 脇中とじ、整理しつけ	縫製進行に合わせた箇所まで、進めておく
26: 袖仮付け、試着、袖つけ袖つけ	縫製進行に合わせた箇所まで、進めておく
27: 山布、肩パットつけ	縫製進行に合わせた箇所まで、進めておく
28: 袖ぐり始末	縫製進行に合わせた箇所まで、進めておく
29: ボタンホール等完成	工程の記録を確認
30: 合評	提出表作成準備

＊準備学習についての補足説明
1回の授業に対して30分程度の準備学習を行うこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

文化ファッション大系　スカート・ワンピース編、ジャケット編　、　適宜プリント配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題作品、進行表、課題提出表を含む提出物(70%)　課題レポート(20%)　学習の意欲(10%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各課題のフィードバックとして、合評を行う。また、提出課題は改善点や評価ポイント等を添えて返却をする。
各課題に必要な素材や付属品は各自準備する事が必要です。
提出期限厳守ですので、授業時間内に終えていない課題は次の授業までに追いつくように努力してください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
ソーイング実習	FA53105	開講時期:	3・4期		
		形態:	実習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション造形フィールド		
宮﨑　千草		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	○
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

基本的な衣服の構造を知ることを目的とし、サーキュラースカートと一重のジャケットの製作を行う。
サーキュラースカートやジャケットの製作を通して、ファッション業界の各職種に従事する者に求められる基本的な知識を身に着ける。

Ⅲ. 学習成果

サーキュラースカートやジャケットの縫製における基本的な知識を習得する。
被服構成実習での基本的な縫製技術を基に、サーキュラースカートとジャケットの縫製を通して被服構成についての理解を深める。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

	授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:	課題Ⅰ　サーキュラースカート 導入・基本型からのパターン変更・ウエストベルト製図	サーキュラースカートのウエストサイズの計算方法を予習する。
2:	課題Ⅰ　サーキュラースカート 地直しと裁断(表地・裏地)	地直し・裁断の要点や注意点についてまとめる。
3:	課題Ⅰ　サーキュラースカート 印つけ(表地・裏地)	表地と裏地の印つけについての要点をまとめる。
4:	課題Ⅰ　サーキュラースカート 縫製(表地の縫製・端の始末・ファスナー付け)	端の始末とファスナー付けの要点をまとめる。
5:	課題Ⅰ　サーキュラースカート 縫製(裏地の縫製)	裏地縫製の要点や注意点をまとめる。
6:	課題Ⅰ　サーキュラースカート 縫製(ウエストベルト・前かんつけ)	ウエストベルトの縫製と前かんつけについてまとめる。
7:	課題Ⅰ　サーキュラースカート 縫製(裾の始末)	裾上げの要点や注意点をまとめる。
8:	課題Ⅱジャケット(衿なし・裏なし) 導入・基本パターンからのサイズ展開	ジャケットのつくりについて理解し、構成についてまとめる。
9:	課題Ⅱジャケット(衿なし・裏なし) 地直し・裁断・芯及び接着テープ貼	地直しと裁断の注意点、接着芯や接着テープの貼り方をまとめる。
10:	課題Ⅱジャケット(衿なし・裏なし) 縫製(身頃)	身頃の縫製について要点や注意点ををまとめる。
11:	課題Ⅱジャケット(衿なし・裏なし) 縫製(ファスナー付け)	オープンファスナーについての要点や縫製上の注意点をまとめる
12:	課題Ⅱジャケット(衿なし・裏なし) 縫製(見返し)	見返しについての要点や縫製上の注意点をまとめる。
13:	課題Ⅱジャケット(衿なし・裏なし) 縫製(袖つくり)	1枚袖の縫製の要点をまとめる。
14:	課題Ⅱジャケット(衿なし・裏なし) 縫製(袖つけ)	ジャケットの袖付けの要点をまとめる。
15:	課題Ⅱジャケット(衿なし・裏なし) ジャケット完成・合評	ジャケット製作の仕上げや、全体の要点をまとめる。

＊準備学習についての補足説明
各回の時間外学習には30分程度を要する。

Ⅴ. 教科書・参考図書

文化服装学院編 「スカート・パンツ」
配布プリント

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出70%、 レポート20%、学習の意欲10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

毎回の課題目標に到達できるように、時間内で終わらなかったところは時間外学習で補うこと。
提出期限は厳守です。
使用布地は各自で準備していただきますので、材料費が必要となります。
提出レポートに製作物への評価とコメントでフィードバックします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
アパレルCAD	FA53106	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション造形フィールド		
竹内　真由美		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	○
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	◎
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	◎
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

コンピューターソフトを使いパーターンメーキング、マーキング、グレーディング等を行う
CADシステムの基本操作を修得し工業用パターンを作成をする

Ⅲ. 学習成果

CAD操作でのパターン展開方を学びアパレル業界の技術を修得できます。
生地巾に合わせた型入れ(マーキング)、サイズ展開(グレーディング)の知識を習得できます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 基本操作、原型パターン(身頃、スカート)スキャナー入力	CADの基本操作をノートにまとめておく ※その日ごとにパソコンのファイルと各自のUSBに保存する
2: 身頃原型作図	マウス、キー操作を項目ごとに実践しておく
3: スカート原型作図	マウス、キー操作を項目ごとに実践しておく
4: パーツ化(各種の線作成、文字入れ)	パーツ化までの操作手順を練習パーツで復習しておく
5: 情報入力、縫い代作成	それぞれの練習パーツを見合い合評する
6: 身頃原型パターンを展開しプリンセスラインワンピース作図(後)	身頃原型からの展開方法をノートにまとめておく
7: 身頃原型パターンを展開しプリンセスラインワンピース作図(前)	身頃原型からの展開方法をノートを基に予習しておく
8: 袖パターン(パフスリーブ)作図	パフスリーブのデザインを調べてまとめておく
9: 衿パターン(フラットカラー)作図	フラットカラーのデザインを調べてまとめておく
10: スカート原型パターンを展開しプリーツスカート作図	スカート原型からの展開方法をノートにまとめておく
11: スカート原型パターンを展開しフレアースカート作図	スカート原型からの展開方法をノートを基に予習しておく
12: ジャケット表地パターンから身頃見返し、表衿パターンを作図	抜き取り方や表への展開方法を練習パーツで復習しておく
13: ジャケット表地パターンから裏地パターンを作図	表地からの展開方法を練習パーツで復習しておく
14: マーキング	それぞれの練習パーツを見合い合評する
15: グレーディング	ルールコードと部位コードの基本をノートにまとめておく

＊準備学習についての補足説明
内容について詳しくは毎回の授業で説明します。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教員参考資料を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

作成課題　70%　　レポート　10%　　学習の意欲　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

※その日ごとに各自のUSBに保存する為USBメモリーを準備してください。
「実務経験教員科目」特記事項:アパレルメーカーパタンナー勤務経験あり
授業第1回より第15回まで現場で行った事例を紹介している。
現場で求められる手法を用いて授業を進める。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
パターンメーキング検定演習Ⅰ	FA54101	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	体験フィールド		
角谷　由加里		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	◎
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

パターンメーキング技術検定3級取得のための授業である。
9月下旬から12月上旬の検定試験まで集中的に授業を行う。(授業の日程は、検定日が確定したあとに詳細を示す。)
パターンメーキングの授業のスキルアップにつながる科目である。

Ⅲ. 学習成果

パターンメーキング技術検定3級に合格する力を身につける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 筆記試験対策① ガイドブック　チャプター1(ガイダンス)、2(検定内容)の講義	(課題)過去問題①を解き、わからない点をまとめておく
2: 筆記試験対策②　過去問題①の解説 ガイドブック　チャプター3(既製服の概念)、4(ファーストパターンメーキング)の講義	(課題)過去問題②を解き、わからない点をまとめておく
3: 筆記試験対策③　過去問題②の解説 ガイドブック　チャプター5(工業用パターンメーキング)、6(グレーディング)の講義	(課題)過去問題③を解き、わからない点をまとめておく
4: 筆記試験対策④　過去問題③の解説、ガイドブック　チャプター7(素材)の講義	(課題)過去問題④⑤を解き、わからない点をまとめておく
5: 筆記試験対策⑤　過去問題④⑤の解説 実技試験対策①　デザイン1/内容説明、製図手順確認	(復習)製図の手順を覚える
6: 実技試験対策②　デザイン1/製図、ファーストパターン作成	(復習)製図からファーストパターン作成までの方法を復習する
7: 実技試験対策③　デザイン1/シーチング地直し、トワル組立準備	(予習)服飾造形の基礎P131を読んで地直しの方法を確認しておく
8: 実技試験対策④　デザイン1/トワル組立	(復習)製図～組立までの方法を復習する
9: 実技試験対策⑤　デザイン2/内容説明、製図手順確認、製図	(復習)製図の手順を覚える
10: 実技試験対策⑥　デザイン2/製図、ファーストパターン作成、トワル組立準備	(予習)シーチングの地直しをする。製図と組立の手順や寸法を確認する。
11: 実技試験対策⑦　デザイン2/トワル組立	(予習)シーチングの裁断まで終わらせておく (復習)製図～組立までの方法を復習する
12: 実技試験対策⑧　デザイン1/製図、ファーストパターン作成、トワル組立準備	(予習)シーチングの地直しをする。製図と組立の手順や寸法を確認する。
13: 実技試験対策⑨　デザイン1/トワル組立	(復習)製図～組立までの方法を復習する
14: 実技試験対策⑩　デザイン2/製図、ファーストパターン作成、トワル組立準備	(予習)シーチングの地直しをする。製図や組立の手順や寸法を確認する。
15: 実技試験対策⑪　デザイン2/トワル組立	(復習)製図～組立までの方法を復習する

＊準備学習についての補足説明
各回30分程度の準備学習を行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

パターンメーキング技術検定試験3級ガイドブック
配布資料

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定受検／60%　課題提出／30%　学習意欲／10%
評価基準の詳細は検定ガイダンスで示す

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題は、改善点等の添えて返却する。
試験に必要な備品は各自で準備すること。
この科目は「パターンの理解」と「パターンメーキングⅠ」を履修済みであることが望ましい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
海外研修	FA60105	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	体験フィールド		
専任教員		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

ファッションを取り巻く現代と過去の文化や歴史に触れ、質の高い製品作りを体感できるヨーロッパでの研修を目的としています。
イタリアの都市ミラノ・ヴェネツィア・フィレンツェ・ローマにおいてファッションの異文化に触れることで日本や学校では学べない知識や見聞を広めます。

Ⅲ. 学習成果

ヨーロッパの文化や歴史に触れ、知識や見聞を広げ新しい考え方を身につけます。
団体行動を通して、人間力、協調性、コミュニケーション能力を身に付けます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
Ⅰ 研修計画の概要(予定) 研修実施国:イタリア(ローマ・ヴェネツィア・フィレンツェ・ミラノ) 研修内容 各都市での歴史や文化探訪 ミラノ:ドゥオーモ見学 ヴェネツィア:サンマルコ大聖堂、アカデミア美術館見学 フィレンツェ:ファッション関係美術館見学、皮革製品工場見学 ローマ:ファッション専門学校研修 各都市でのグループ研修 ※詳細は、5月に予定している説明会でお知らせします	説明会後の予定 6月 参加申し込み締め切り 7月 参加者説明会(旅行社) 9月 履修登録、パスポートコピー提出、保険等書類提出他 10月 参加者説明会(旅行会社) 11月 参加者説明会(旅行会社)
Ⅱ 指導内容	
1: 授業の内容説明、研修個人テーマ設定	研修場所について調べる
2: 最終日程について、荷物の計画、グループテーマ	グループ研修の場所を調べる
3: 個人テーマ、グループ研修設定	研修場所を調べ、個人テーマについて考える
4: グループ研修決定	研修場所の交通機関や訪問先などを調べる
5: 学科長より海外研修について	研修計画を決定し、自分の荷物等を把握しておく
6: 最終説明会(旅行社)	外貨交換のためのレートを調べる。
7: 海外研修期間(8日間)	レポートをまとめる為の記録を取っておく
8: 〃	〃
9: 〃	〃
10: 〃	〃
11: 〃	〃
12: 〃	〃
13: 〃	〃
14: 〃	〃
15: 研修レポート作成について、アンケート ※決められた日時にレポートを提出すること	レポートを作成する

＊準備学習についての補足説明
個人・グループのテーマ設定においてイタリアの都市を充分に調べる為の時間(1週間に1時間程度)を取ること。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

研修先に関するガイドブックは各自または各グループで準備すること。
その他必要な資料は配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

現地研修の参加 55% レポート 35% 研修に対する学習意欲 10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

現地では決められたルールを守り、グループで行動を共にしてください。
研修参加後、レポート未提出の場合、単位は修得できません。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	1年
インターンシップ	FA60107	開講時期:	通年		
		形態:	実習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	体験フィールド		
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	○
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	○

Ⅱ. 概要

学外の現場におけるデザイン企画、縫製技術、販売技術、生産管理等の専門分野に関わる業務等を学び、ファッションビジネスの考え方と現状を理解する。それと同時に自らの進路について考えるきっかけとなることを目的とする。

Ⅲ. 学習成果

様々な分野において専門知識を活かして社会人として自立するために必要なことは何かを知る。
実際の現場で体験することにより、将来の進路の方向性を見出すことができるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: インターンシップについての説明 職種別調査	インターンシップを体験したい職種の事前調査を行う
2: インターンシップ希望企業の調査	インターンシップ受入れ企業の事前調査を行う
3: アピールシート、履歴書の書き方、基本マナーの指導	アピールシート、履歴書の作成
4: アピールシート、履歴書の書き方、基本マナーの指導	アピールシート、履歴書の作成
5: 書類作成、インターンシップでの注意事項の説明	
6: 現場実習 実習時期 主に2月下旬～3月末 実習期間 1日8時間×4日間(21コマ) 体験内容 基本業務 企業でのマナー	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
7: 現場実習 実習時期 主に2月下旬～3月末 実習期間 1日8時間×4日間(21コマ) 体験内容 基本業務 企業でのマナー	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
8: 現場実習 実習時期 主に2月下旬～3月末 実習期間 1日8時間×4日間(21コマ) 体験内容 基本業務 企業でのマナー	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
9: 現場実習 実習時期 主に2月下旬～3月末 実習期間 1日8時間×4日間(21コマ) 体験内容 基本業務 企業でのマナー	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
10: 現場実習 実習時期 主に2月下旬～3月末 実習期間 1日8時間×4日間(21コマ) 体験内容 基本業務 企業でのマナー	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
11: 現場実習 実習時期 主に2月下旬～3月末 実習期間 1日8時間×4日間(21コマ) 体験内容 基本業務 企業でのマナー	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
12: インターンシップ終了後の報告会	
13: 企業へのお礼状作成について	企業へのお礼状の作成
14: 企業へのお礼状作成について	実習レポートの作成
15: まとめ 実習レポート提出	

＊準備学習についての補足説明
毎回の準備学習は30分以上行うこと

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない
資料はプリントで配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

レポート80% 提出物10% 事前・事後指導での学習の意欲10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

事前事後の研修を必ず受けること
現場での実習は企業でのマナーを守って、礼儀正しい態度で臨むこと
作成書類に関してはコメントでフィードバックします。

ファッション総合学科２年

総　合　演　習

共通必修科目

指　定　科　目

教　養　科　目

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
総合演習Ⅲ	FA10103	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	◎

Ⅱ. 概要

本学ファッション総合学科での学園生活で学んだことをもとに、2年次からは卒業後の進路や将来に向けて計画をたて、実行していくことが必要となってくる。
総合演習Ⅲでは主に、卒業後の進路に向けて具体的に行動することを目的とした指導を行う。また1年生へのアドバイス会、香蘭祭準備、その他の学校行事や学科行事等を通して2年生としてのリーダーシップや積極性を身につけて行く。

Ⅲ. 学習成果

卒業後の進路に向けて具体的に行動できるようになる。(7月までに必ず1社受験する)
2年生としてのリーダーシップや積極性を身につけられる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: 学科賞表彰式　学科長講話(感想レポート提出) 履修登録確認	レポートを完成させる 履修時間と単位の確認
2: 交流会行事	交流会の内容と感想をまとめる
3: 進路指導① 小テスト① ポートフォリオ作成	進路先の資料を調査しておく 小テストの予習　ポートフォリオ作成準備
4: 香蘭祭ミーティング① 香蘭祭の企画　小テスト②	香蘭祭の内容をまとめる 小テストの予習
5: 香蘭祭ミーティング② 2年生から1年生へプレゼンテーション　小テスト③	香蘭祭資料の作成をする 小テストの予習
6: 就職支援講座 外部講師による支援　レポート	レポートを完成させる
7: 香蘭祭ミーティング③　グループワーク 小テスト④	香蘭祭の資料をまとめる 小テストの予習
8: 進路指導② 小テスト⑤	進路先の資料を調査しておく 小テストの予習
9: 進路指導③ 小テスト⑥	進路先の資料を調査しておく 小テストの予習
10: 香蘭祭ミーティング④　グループワーク 小テスト⑦	計画書作成 小テストの予習
11: 進路指導④ 小テスト⑧	進路先の資料を調査しておく 小テストの予習
12: 教育講演会Ⅰ 感想レポート提出	レポートを完成させる
13: 香蘭祭ミーティング⑤　グループワーク 小テスト⑨　進路指導	香蘭祭の計画をまとめる 小テストの予習
14: ポートフォリオの作成 小テスト⑩　進路指導	ポートフォリオを作成する 小テストの予習
15: 後期履修指導 前期単位数の確認　夏休みの就職活動計画	後期の履修計画案を作成する

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分程度行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

小テストの内容に準じたテキストを使用する
その他必要な資料は配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

小テスト30%　レポート10%　学習の意欲60%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

学校行事や学科行事・クラス行事等の企画内容により、時間外の学習時間が必要となる場合がある。
各レポート等は、コメントでフィードバックする。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
総合演習Ⅳ	FA10104	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	◎

Ⅱ. 概要

本学ファッション総合学科での2年後期は、卒業後の進路や人生設計に向かって具体的に行動するとともに、社会人として自立できる力を養うことが必要となってくる。総合演習Ⅳでは、主に卒業後の社会人としての心構えや基礎的なマナーなどを身につけることを目的とした指導を行う。
またファッションのプロとして自立できる力を養う。

Ⅲ. 学習成果

社会人として自立できる力を身につけることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: 履修登録確認　進路指導① 小テストについて	履修の確認 1・2期の進路活動シートの記入
2: 全体集会　後期の計画をたてる 学習・進路面での目標　小テスト①	小テストの予習　計画表を作成する
3: 学科長講話　卒業制作展に向けて 小テスト② ポートフォリオの作成	小テストの予習 ポートフォリオの作成
4: 進路支援講座 進路活動の振り返り　小テスト③	小テストの予習
5: 抗ストレス講座	アンケートを完成させる
6: 香蘭祭ミーティング 各グループに分かれて活動　小テスト④	小テストの予習
7: 学科賞表彰式　香蘭祭反省会 小テスト⑤	香蘭祭の振り返りシートを作成する 小テストの予習
8: 進路体験報告会(1年生へのアドバイス会) 就職未決定者は面談	報告会の準備をする
9: 進路支援講座 進路を決定できない学生への支援講座	未決定者‥進路活動の振り返りシートを作成する 決定者　‥3・4期目標達成のための資料を作成する
10: 進路指導2 未決定者指導　決定者支援　小テスト⑥	小テストの予習
11: 教育講演会Ⅱ 感想レポート提出	レポートを完成させる
12: 進路指導③ 未決定者指導　決定者支援　小テスト⑦	小テストの予習
13: 進路支援講座 「社会人へ向けての心構え」 感想レポート提出　小テスト⑧	レポートを完成させる 小テストの予習
14: 卒業時調査・学生マナー調査 小テスト⑨	小テストの予習
15: 2年間の振り返り　卒業に向けて 小テスト⑩ ポートフォリオの作成・提出	ポートフォリオの記入・提出　小テストの予習

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分程度行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

小テストの内容に準じたテキストを使用する
その他必要な資料は配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

小テスト30%　レポート10%　学習の意欲60%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

学校行事や学科行事・クラス行事等の企画内容により、時間外の学習時間が必要となる場合がある。
各レポート等は、コメントでフィードバックする。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
卒業研究Ⅰ	FA20103	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	○
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	◎

Ⅱ. 概要

各テーマ及びプレゼンテーションを受け、学生は自分の卒業制作の意向と合わせて、各自のテーマ設定を行う。
各テーマにそって調査研究試作を行い、研究発表を行う。

Ⅲ. 学習成果

研究テーマにそって研究結果をまとめ、試作品やパワーポイントを使ってプレゼンテーションができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:導入 各ゼミテーマにそって調査及び分析をし、各自のテーマを設定する	調査研究の資料を作るために授業時間以外での調査を行う
2:調査研究の資料収集 授業内容や進め方は各ゼミによって異なる	調査研究の資料を作るために授業時間以外での調査を行う
3:調査研究の資料収集 授業内容や進め方は各ゼミによって異なる	調査研究の資料を作るために授業時間以外での調査を行う
4:調査研究の資料収集 授業内容や進め方は各ゼミによって異なる	調査研究の資料を作るために授業時間以外での調査を行う
5:調査研究の資料収集 授業内容や進め方は各ゼミによって異なる	調査研究の資料を作るために授業時間以外での調査を行う
6:調査研究の資料収集 授業内容や進め方は各ゼミによって異なる	調査研究の資料を作るために授業時間以外での調査を行う
7:調査研究の資料収集 授業内容や進め方は各ゼミによって異なる	調査研究の資料を作るために授業時間以外での調査を行う
8:調査研究の資料収集 授業内容や進め方は各ゼミによって異なる	調査研究の資料を作るために授業時間以外での調査を行う
9:具体的なデザイン決め及び試作品の製作 授業内容や進め方は各ゼミによって異なる	試作品の製作
10:具体的なデザイン決め及び試作品の製作 授業内容や進め方は各ゼミによって異なる	試作品の製作
11:具体的なデザイン決め及び試作品の製作 授業内容や進め方は各ゼミによって異なる	試作品の製作
12:パワーポイントの作成 授業内容や進め方は各ゼミによって異なる	試作品の製作
13:パワーポイントの作成 授業内容や進め方は各ゼミによって異なる	個人のレポート作成
14:パワーポイントの完成 授業内容や進め方は各ゼミによって異なる	個人のレポート作成
15:各テーマのプレゼンテーションの準備	個人のレポート作成

＊準備学習についての補足説明
準備学習の時間は毎回30分以上はおこなうこと
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

テーマに沿った参考資料

Ⅵ. 評価方法と評価基準

レポート60% 発表会での各先生の評価30% 学習の意欲10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

卒業の集大成であるため、授業では使用したことのない手法や生地を使うことがある。
調査のための交通費や試作に必要な生地、付属品の費用を必要とする。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
卒業研究Ⅱ	FA20104	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	3単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	◎
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	◎
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	◎

Ⅱ. 概要

制作ｸﾞﾙｰﾌﾟの学生は1・2期の卒業研究Ⅰの結果をふまえて、デザインとパターン、生地の選択、縫製方法との関係を研究しながら、
シーチングでの型だしを行う。
研究論文のグループは、1・2期の卒業研究Ⅰの調査をふまえて、各自の論文を完成させる。

Ⅲ. 学習成果

各自のテーマそった、2年間の集大成となる作品を完成させる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:テーマにそった、各自の作品制作又は論文を完成させるまでの計画をたてる	夏季休暇中にデザインを決定しておく 計画表の提出
2:①中間発表会までに行う内容 作品の試作及び論文の概要を組み立てる	パターンや試作品の制作 (デザイン決定のための試作品の制作) 論文の為の調査資料のまとめを進める
3: 各自のテーマにそって、デザインを決定し、シーチングを制作する 各自のテーマにそって、論文を組み立てる	パターンや試作品の制作 (デザイン決定のための試作品の制作) 論文の為の調査資料のまとめを進める
4: 各自のテーマにそって、シーチングを制作する 各自のテーマにそって、論文を組み立てる	シーチングの組み立て 論文の為の調査資料のまとめを進める
5: 各自のテーマにそって、シーチングを制作する 各自のテーマにそって、論文を組み立てる	シーチングの組み立ての完成 論文の内容を組み立てる
6:②本体アドバイス会までに行う内容 各自のテーマにそって、作品制作及び論文を作成する	修正パターンを完成させる 論文の内容を組み立てる
7: 中間発表会でのアドバイスを受けて、作品や論文の一部変更や修正を行う。	本体アドバイス会発表のための制作 論文の作成
8: 作品制作のために、本生地の決定や色使いなども検討する 各自のテーマにそって、論文を作成する	本体アドバイス会発表のための制作 論文の作成
9: 作品の完成度を高めるために検討する 各自のテーマにそって、論文を作成する	本体アドバイス会発表のための制作 論文の作成
10: 作品の完成度を高めるために検討する 各自のテーマにそって、論文を作成する	本体アドバイス会発表のための制作 論文の作成
11:③本体審査会までに作品本体及び論文を完成させる 審査会までに本体が完成していない作品は、卒業制作展に出展できない事がある	本体アドバイス会発表のための制作 論文の作成
12: 作品本体及び論文を完成させる	本体の縫製 論文の作成
13: 作品本体及び論文を完成させる	本体の縫製 論文の作成
14: 審査会での評価は、学科の教員全員の評価を平均し各自の評価とする	本体の縫製 論文の作成
15:④作品制作グループはｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ審査会までにｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄを完成させる 論文のグループは、卒業制作展の為の映像を制作する	コーディネートの準備(アクセサリー、その他の小物)レポート作成 卒業制作展の映像制作

＊準備学習についての補足説明
授業時間以外での制作の時間が必要となる。 準備学習の内容は各ゼミにより異なるので、一例として明記している。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

製作のための資料が必要である。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学科の先生方の評価(60%) 担当教員の評価(30%) 学習の意欲(10%)

Ⅶ. その他(課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

卒業の集大成であるため、授業では使用したことのない技法や生地を使うことがある。
調査のための交通費や試作に必要な生地、付属品の費用を必要とする。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
デザイン概論	FA30106	開講時期:	1期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択必修		
担当者		免許・資格など	ベーシックフィールド指定科目		
杉森　孝		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

ファッションはデザインの分野ではプロダクトデザインの領域に入れて考えることができるが、それ以外にもグラフィックデザインやスペースデザインの分野とも関係がある。この授業ではファッションが属しているデザインの世界について、その成り立ちから現在の状況まで学んでいく。

Ⅲ. 学習成果

現代デザインの成り立ちと意義についての知識を得ることができる。
また、デザインの世界についての知識を得ることで、ファッションとデザインの関係について理解できる。
デザインとはどのような行為であるのかを知る。
それによってファッションとデザインの関係を理解できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:産業革命とデザイン　①	産業革命について調査してくる。
2:産業革命とデザイン　②	産業革命以前の家具や衣服などの画像を収集しておく。
3:アーツ・アンド・クラフツ運動	アーツ・アンド・クラフツ運動に関わった主要な人物について調べてくる。
4:アール・ヌーボー	アール・ヌーボーの頃の衣服の画像を収集しておく。
5:アール・デコ	アール・デコの頃の衣服の画像を収集しておく。
6:ドイツ工作連盟	ドイツ工作連盟に関わる主要な人物について調査してくる。
7:バウハウス	バウハウスの中のファッションについて画像を収集する。
8:デザインの世界	身の周りにあるデザインされたものの画像をを収集する。
9:デザインの条件	デザインと芸術の違いは何か考えをまとめてくる。
10:グラフィックデザイン	ファッションに関係のあるグラフィックデザイン仕事や作品、商品に関する事を調査してくる。
11:グラフィックデザインとファッション	グラフィックデザインとファッションの関係についてまとめる。
12:プロダクトデザイン	プロダクトデザインの分野だと思うものの画像を収集しておく。
13:プロダクトデザインとファッション	プロダクトデザインとファッションの関係についてまとめる。
14:スペースデザイン	スペースデザインの仕事や作品、商品に関する画像を収集しておく。
15:スペースデザインファッション	デザインとファッションの関係についてまとめる。

＊準備学習についての補足説明

レポートの作成、およびそのための調査を事前に行ってもらう。単位認定試験のための授業時間内での小テストを行う。そのための学習が必要である。準備学習は毎回30分以上行うこと。必要に応じて内容や容量については必要に応じて説明する。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

参考図書は授業内で必要に応じて、紹介する。
その他の資料は必要に応じ配布するが基本的には視聴覚機材を使用して授業を進める。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

提出レポートの評価　30%　　単位認定試験の得点　60%　　学習の意欲　10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出された課題は添削して返却する。各自でノート整理を工夫し、漏れのないようにしておくこと。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
ユニバーサルファッション	FA30107	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択必修		
担当者		免許・資格など	ベーシックフィールド指定科目		
今福　智美		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	◎

Ⅱ. 概要

ファッションに関わる仕事をする人たちは、できるだけ多くの人に満足を得られる衣服の提供を考えることが望ましいと思われます。
着用者の年齢・体形・身体能力・環境などの違いから衣服について考え、既製服の現状を分析します。さらに、取り巻く環境の変化から
これからの衣服を提供する対応力を養います。

Ⅲ. 学習成果

誰にでも使いやすい製品や環境作りを目指すユニバーサルデザインや、ユニバーサルファッションがある事を知り、日常の中での物の見方や
考え方を広げていきます。
着用者にとって快適な衣服とは何か、考える力を養います。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ユニバーサルとは	身近にある「ユニバーサルデザイン」を見つけ、書き出す
2: 身体的特徴に配慮した衣服設計① 【子どもの身体的・行動的・生理的特徴】 調査内容の発表(グループワーク)	子どもの体型変化を調べてまとめ、 変化の説明ができるようにする
3: 身体的特徴に配慮した衣服設計② 【高齢者の身体的・行動的・生理的特徴】 調査内容の発表(グループワーク)	高齢者の体型変化を調べてまとめ、 変化の説明ができるようにする
4: 生理的特徴に配慮した衣服設計 【熱移動と衣服気候】	夏の装いと服の装いの違いを衣服気候の視点から考え レポートにまとめる
5: 機能性に配慮した衣服設計 着る・装うことへの障害と課題①　疑似体験(グループワーク)	疑似体験を通じ衣服の着やすさの点で、 何が重要か考察する
6: 着る・装うことへの障害と課題②	衣服の着脱に不便を感じるに人に向け、 どう言った改善ができるか提案する
7: 着る・装うことへの障害と課題③　皮膚障害、衣料障害	衣服が人体に及ぼす障害を調べ書き出す
8: ユニバーサルファッションの提案①	ターゲットの身体的特徴に沿った衣服の提案を行うため、 個人テーマを決定する
9: ファッションを取り巻く環境の変化(グループワーク)	今後予想される環境の変化を調べ、説明できるようまとめる
10: 市場のユニバーサル 循環型リサイクル・企業が取り組む環境への対応	身近で行われているリサイクルまたは、自分がしたことのある リサイクルを振り返り書き出す
11: ユニバーサルファッションの提案② テーマに対する中間発表	個人テーマの内容を深めるための調査を行う
12: 世界と日本 ユニバーサルの考え方	世界と日本で、ユニバーサルに対しての違いがあるのか調べ 自分の意見をまとめる
13: 世界のユニバーサルデザイン、ユニバーサルへの取り組み ダイバーシティ	企業が提案するユニバーサルファッション を調べまとめる
14: ユニバーサルマナー	ユニバーサルマナー検定について調査し、検定の内容をまとめる
15: ユニバーサルファッションの提案③	個人で設定した「ユニバーサルファッションの提案」を発表し 授業内で共有する

＊準備学習についての補足説明
予習学習については毎回の授業で説明します。次回の授業時に提出すること。各回30分程度行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員作成資料・参考資料を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(50%)　提案レポート(20%) 授業後のコメントシート・(10%)　学習、グループワークへの積極性や意欲(20%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

希望者はユニバーサルマナー検定3級をスクーリングまたはオンラインで受講し、取得できます。
事前準備や提出レポートは提出後、添削・評価し返却します。
レポート用紙などは各自準備すること。レポートは手書き、パソコン不問。
携帯電話およびスマートフォンは、授業内容と関係のある場合の操作は認める。
不明な点は、積極的に意見すること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
コーディネート企画論	FA30208	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択必修		
担当者		免許・資格など	ベーシックフィールド指定科目		
岡田　絵梨奈		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	○

Ⅱ. 概要

これまで学んだ知識や技術を応用し、様々な視点によって服飾デザインを造形的に理解します。
また、テーマに合わせたコーディネートを企画する上で必要な基礎知識や手順を習得し、
ファッションショーや商品企画、プレゼンテーションなどに効果的な表現力を身につけます。

Ⅲ. 学習成果

ファッションのテーマに合わせたコーディネートを企画し、プレゼンテーションを行う際に必要なファッション用語、技術、提案力
及びコミュニケーション力を習得します。
デザインコンセプトを分析・考察することで、自己の企画力や表現力を身につけます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション ・コーディネート企画を伝えるために	シラバスを読むこと
2: イメージ別によるコーディネートの企画① プレゼンテーション ・イメージについて考える ・クラシック	課題の作成 コーディネートの実践・発表の準備
3: イメージ別によるコーディネートの企画② プレゼンテーション ・エレガント ・ロマンティック	課題の作成 コーディネートの実践・発表の準備
4: イメージ別によるコーディネートの企画③ プレゼンテーション ・スポーティブ ・エスニックとフォークロア	課題の作成 コーディネートの実践・発表の準備
5: イメージ別によるコーディネートの企画④ プレゼンテーション ・マニッシュ ・モダン ・アヴァンギャルド	課題の作成 コーディネートの実践・発表の準備
6: イメージボードの作成① ・イメージボードのテーマ設定	イメージボード制作に必要な素材の収集準備
7: イメージボードの作成② ・イメージの組み合わせ フォントの設定など	イメージボード制作に必要な素材の収集準備
8: コーディネート企画① ・企画書の作成	旅行計画のためのコーディネート提案 旅行先の情報を集める
9: コーディネート企画② ・テーマやコンセプトを設定する	季節や風土に合わせたコーディネートの資料を集め 衣装計画をたてる
10: コーディネート企画③ ・コーディネートプラン コーディネートの決定	撮影のための準備とヘアメイクの設定 撮影場所の設定
11: コーディネート企画④ ・撮影	撮影のための準備とヘアメイクの設定
12: コーディネート企画⑤ ・撮影した写真をつかって紙面を作成する	参考にしたい誌面やレイアウトなどを準備する
13: コーディネート企画⑥ ・コラージュ作成 エディトリアルデザイン	コーディネートを伝えるための文章を作成
14: コーディネート企画⑦ ・発表	発表の準備
15: コーディネートについて	提出課題のまとめ

＊準備学習についての補足説明
課題プリントや調査など30分以上の準備学習が必要となります
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書はありませんが、毎回テキストプリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出物(50%)、実技評価(30%)、受講態度(10%)、学習への意欲(10%)
※ 原則として評価対象の課題は全て提出すること。また、提出の際は規定のファイル形式で提出すること。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

ファッション雑誌を使用して課題を作成しますので、切り取りのできるファッション雑誌、のり、はさみ等が必要です
また、全ての課題については返却時や発表時に個別にコメントをフィードバックします。

「実務経験教員科目」特記事項:スタイリスト経験を活用し、コーディネートにおける共通言語の重要性を実践を通じて深めていきます。

2指定科目年

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
特別演習Ⅱ	FA30110	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択必修		
担当者		免許・資格など	ベーシックフィールド指定科目		
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	○
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	◎

Ⅱ. 概要

各自が授業以外にチャレンジしたいと思う内容を決め、実践する科目である。
各フィールドで学んだ知識を実践的にチャレンジすることで、人間力および行動力を身につけ、ファッションの多様な職種にも対応できる能力を身
以上の中から選択する事
以上の中から選択する事

Ⅲ. 学習成果

様々なことにチャレンジすることにより、人間力や行動力を身につけることができる。
主体的な学びができるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

	授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:	導入　特別演習Ⅰについての説明	チャレンジする内容を考えておく
2:	各自のチャレンジ内容の申請	チャレンジの内容をまとめておく
3:	各自のチャレンジ内容に応じた実習および研究 活動計画表の記入	チャレンジの予習復習を行い、 疑問点や質問事項を見つけておくこと
4:	各自の実習および研究 活動計画表の記入	作品制作や検定対策問題の予習復習を行い、 疑問点や質問事項を見つけておくこと
5:	各自の実習および研究 活動計画表の記入	作品制作や検定対策問題の予習復習を行い、 疑問点や質問事項を見つけておくこと
6:	各自の実習および研究 活動計画表の記入	作品制作や検定対策問題の予習復習を行い、 疑問点や質問事項を見つけておくこと
7:	各自の実習および研究 活動計画表の記入	作品制作や検定対策問題の予習復習を行い、 疑問点や質問事項を見つけておくこと
8:	各自の実習および研究 活動計画表の記入	作品制作や検定対策問題の予習復習を行い、 疑問点や質問事項を見つけておくこと
9:	各自の実習および研究 活動計画表の記入	活動計画表の提出、作品の場合は作品の提出の準備
10:	各自の実習および研究 活動計画表の記入	作品制作や検定対策問題の予習復習を行い、 疑問点や質問事項を見つけておくこと
11:	各自の実習および研究 活動計画表の記入	作品制作や検定対策問題の予習復習を行い 疑問点や質問事項を見つけておくこと
12:	各自の実習および研究 活動計画表の記入	活動計画表の提出、作品の場合は作品の提出の準備
13:	各自の実習および研究 活動計画表の記入	作品制作や検定対策問題の予習復習を行い 疑問点や質問事項を見つけておくこと
14:	実習および研究 活動計画表の記入	疑問点や質問事項を見つけておくこと
15:	活動レポートまたは作品の完成 最終報告書の作成	報告書をまとめる

＊準備学習についての補足説明
先生に習うのではなく、主体的に学ぶことが目的であるため、予習、復習を十分に行い、疑問点を見つけて授業に臨むこと。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

各自のチャレンジに応じて、教科書や資料を準備する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

チャレンジの内容　計画への取り組み度　(活動状況)　最終報告書　などを総合的に評価する.
学習ルーブリックによる評価100%。評価内容は事前に伝える。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

疑問点を見つけ出し、わからないことは専門の先生に質問して解決すること。
毎回の報告内容に対して、コメントでフィードバックします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
社会と心理	FA40106	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
遠矢　幸子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	○

Ⅱ. 概要

本講義は、『対人魅力』『社会的スキルと適応』『集団の中での他者の影響性』の三点に関連したテーマに従って進められる
まず、対人魅力の規定因について実習を含めて明らかにした上で、他者との関係を相手に感じる魅力と対人関係の親密化過程から考察する。
次に、対人関係に関わる技能としての社会的スキルについて学び、対人関係の躓きの問題をより広い視点から捉える。
さらに、他者の存在が個人に与える直接的、間接的影響性について学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1　対人関係の構築に影響する対人魅力のメカニズムについて説明できる
2　社会的スキルに関する知識を習得し、自らの社会的スキルの特徴について説明できる。
3　日常生活の中で他者から受ける直接的影響性だけでなく、間接的影響性についても理解し説明できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:対人魅力とは	対人魅力研究の歴史についてまとめる
2:人の魅力について考える　個人ワークとグループ・ワーク	人の魅力を決める要因についてのグループ・ワーク結果をまとめる
3:対人魅力の三成分	対人魅力を捉える三成分とその測定方法についてまとめる
4:対人魅力の規定因	自分たちで考えた人の魅力一覧にその他の要因も加えてまとめる
5:自分の対人魅力の特徴について知る	LETS2の結果をまとめて振り返りレポートを作成する
6:社会的スキルの特徴　自分の社会的スキルを知る	社会的スキル(kiss18)の結果について振り返りレポートを作成する
7:社会的スキルの種類と階層①(前半)	社会的スキルの種類(前半)についてまとめる
8:社会的スキルの種類と階層②(後半)	社会的スキルの種類(後半)についてまとめる
9:アサーションの基礎知識	他者に対する4つの反応パターンの具体例についてまとめる
10:アサーション実習①　人にものをたのむ	人にものをたのむ際の自分の反応パターンの特徴についてまとめる
11:アサーション実習②　人からのたのまれごとを断る	人からのたのまれごとを断る際の自分の反応パターンの特徴についてまとめる
12:アサーション実習③　様々な依頼	アサーションに必要な要素についてまとめる
13:集団と群衆	集団と群衆の相違点とそれぞれの具体的な例についてまとめる
14:集団の中での他者の影響性　集団の特性	集団のもつ特性についてまとめる
15:集団の中での他者の影響性　社会的促進と社会的抑制	他者の存在が自らに与える影響性の違いについてまとめる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。 教員作成資料を配布する。
参考図書:授業中に紹介する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験 70%　グループ・ワークや実習後の振り返りレポート 10%　学習の意欲 20%
授業における話し合いへの積極的な参加、授業中の不必要なスマートフォンの使用や居眠り等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

本講義では、授業で得た知識を自らの経験を検証しながら学ぶ姿勢を重視するため、それぞれの意見や考えを表明する必要がある。
実習結果や振り返り表に記入した内容に関しては、教員が授業中にフィードバックする。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
経済学 （暮らしと経済）	FA40107	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
手嶋　康則		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

・経済学の基礎知識を習得し、家計、金融と経済の関係性を理解する。
・国際社会の経済活動が私たちの暮らしにどのように関わっているのかを事例を交えて理解する。
・家族が暮らしていくために必要な収入、支出、費用の重要性について具体的に学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1. 経済に関係する基本的な専門用語や時事用語を習得している。
2. 社会経済の変化を踏まえて、現状およびこれからの家計の在り方を想定することができる。
3. 経済に関連するニュースの要点を説明することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1: オリエンテーション　　コロナ禍の経済について **グループワーク:コロナ禍の社会で生まれたものは何か**	経済に関するアンケートの収集
2: フクオカの経済について **グループワーク:フクオカの魅力とは**	「フクオカの街の魅力」を原稿にまとめる
3: 時事問題 ①ニューノーマル、ワケーション　②コンプライアンス	時事用語に関する課題
4: 格差社会の中の経済について	少子高齢化に関する課題
5: SDGsと経済について **グループワーク:持続可能性の17の課題**	SDGsに関する課題
6: 食品ロスと衣料品廃棄の問題について	衣料品廃棄に関する課題
7: 時事用語 ③カーボンニュートラル　④サプライチェーン	時事用語に関する課題
8: 貿易と日本経済について **グループワーク:デフレとインフレはどちらが良いのか**	衣料品の輸入と輸出に関する課題
9:　働き方改革について **グループワーク:人生設計グラフを書く**	人生設計グラフの作成
10:　賃金について **グループワーク:アルバイトの最低賃金（時給）を考える**	企業の賃金について調べる
11: 時事用語 ⑤派遣切り　⑥ベーシックインカム	時事用語に関する課題
12: 家計と金融について **グループワーク:独立開業の考え方**	金融に関する課題
13: 社会保障と自己責任について **グループワーク:保険は必要か不必要かについて考える**	社会保障に関する課題
14: 家計支出と物価について **グループワーク:コロナ禍の経済について考える**	価格調査
15: 時事用語 ⑦定額制　⑧ダイナミックプライシング	時事用語に関する課題

＊準備学習についての補足説明

準備学習は、ニュースから関心をもった記事を探し、原稿用紙にまとめ提出してください。準備学習は各回30分以上行うこと。また、予習、復習に準備学習をの時間を含めて毎回60分を必要とします。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。 資料を適宜配布します。
参考図書 「2024年度版−内定ナビ−【イラスト図解】時事−一般常識」

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験（100点満点評価：試験50%）
小テストの総点数25%
課題提出25%

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

◇小テストのフィードバックは授業の中で解答と解説をおこないます。また、提出されたレポートは採点後にコメントをつけ返却します。
◈流通小売業のマネジメント、経営に長く携わり、その後大学でビジネス系科目を担当し論理と実践を合わせもつ教育を信条としています。

※この授業内容は対面授業を前提としおり、遠隔授業に変更された場合はWeb授業に適した授業運営を考えています。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
中国語	FA40111	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
陳　齢		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

基本表現を網羅した日常会話と練習に重点を置いた綜合的中国語基礎能力の養成。課程を修了後、中国語中検準4級・4級もしくはHSK1級・2級に挑戦できる語学能力を身につけることを目指す。

Ⅲ. 学習成果

1. 1000程度の単語を身につける。
2. 60程度の文法表現を習得する。
3. 基本的な挨拶言葉と日常用語を掌握する。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 発音の基礎(音節・声母・韻母)	録音教材を用いて、授業で学習した発音(ピンイン)を復習。
2: 発音の基礎(声母・韻母)	録音教材を用いて、授業で学習した発音(ピンイン)を復習。
3: 数を含んだいくつかの表現 ①数の数え方②年月日・曜日・時刻などの表し方③金銭の表し方	録音教材を用いて、中国語の「数」の使い方に馴染む。 新出語句、ポイントを復習、練習問題を宿題として完成
4: あいさつ語 ①こんにちは②お元気ですか③ありがとう④すみません⑤お名前は？等の日常挨拶	録音教材を用いて、挨拶言葉に馴染む。 新出語句、ポイントを復習、練習問題を宿題として完成
5: 认识你很高兴 ①名詞述語文②形容詞述語文③疑問詞疑問文など	録音教材を用いて、「认识你很高兴」の会話文に馴染む。 新出語句、ポイントを復習、練習問題を宿題として完成
6: 我在学习汉语 ①進行形②兼語文③どうぞ・・・してください等	録音教材を用いて、「我在学习汉语」の会話文に馴染む。 新出語句、ポイントを復習、練習問題を宿題として完成
7: 你家有几口人? ①存在を表す“在”②所有・存在を表す“有”③疑問代詞④介詞	録音教材を用いて、「你家有几口人?」の会話文に馴染む。 新出語句、ポイントを復習、練習問題を宿題として完成
8: 你喝什么茶? ①選択疑問文②“呢”を用いた疑問文③否定詞	録音教材を用いて、「你喝什么茶?」の会話文に馴染む。 新出語句、ポイントを復習、練習問題を宿題として完成
9: 我跟你一起去 ①連動文②助動詞③介詞	録音教材を用いて、「我跟你一起去」の会話文に馴染む。 新出語句、ポイントを復習、練習問題を宿題として完成
10: 田中来了吗? ①動作の完了・状態の変化を表す②副詞“没・没有”など③“怎么”の用法④“给” の用法など	録音教材を用いて、「田中来了吗?」の会話文に馴染む。 新出語句、ポイントを復習、練習問題を宿題として完成
11: 你看过这本书吗? ①過去の経験を表す②動作を回数を表す③補語④動詞の重ね型など	録音教材を用いて、「你看过这本书吗? 」の会話文に馴染む。 新出語句、ポイントを復習、練習問題を宿題として完成
12: 外边还下着雨吗? ①持続を表す“着”②自然現象の表現③副詞“就”	録音教材を用いて、「外边还下着雨吗? 」の会話文に馴染む。 新出語句、ポイントを復習、練習問題を宿題として完成
13: 我去看一看 ①試みの動作の表現②動詞“用”と助動詞“要”③“想”の助動詞的用法④動詞の繰り返し	録音教材を用いて、「我去看一看」 の会話文に馴染む。 新出語句、ポイントを復習、練習問題を宿題として完成
14: 你打算做什么工作？ ①“快要…了”、“还”、“打算”、“当”等	録音教材を用いて、「你打算做什么工作？」の会話文に馴染む。 新出語句、ポイントを復習、練習問題を宿題として完成
15: 会話のテスト	習得した会話文に対し、全面的に復習を行うこと。 正確且つ流暢な発音を以てテストに臨むこと。

＊準備学習についての補足説明

予習は特に要求しないが、復習は必ず行うこと。聞き流しでもいいから、録音を繰り返し聞くこと。準備学習時間(復習)は毎回60分以上としてください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

『週1回　1年間で学ぶ　中国語の基礎』(上野恵司著、白帝社)ISBN:978-4-86398-381-6

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲:30%
期末テスト:70%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

宿題を必ず完成すること。勉強と無関係の携帯電話の使用は控えること。
毎課の練習問題は宿題として完成してください。後日配布する解答と必ず答え合わせをしてください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
韓国語	FA40112	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
権　英姫		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

韓国語の文字であるハングルの起源や文字の構成を学びます。
文字の読み書きと初歩的な会話ができるよう反復学習を行います。
また、日韓言語の共通性や文化、歴史、ことわざなども学びます。

Ⅲ. 学習成果

1　ハングル文字を読むことの楽しさを覚えます。
2　点呼時の会話で発音のコツをつかみます。
3　単語や語彙のまめテストにより語彙力を上げます。
4　簡単な会話に達成により自信と意欲を養います。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:韓国語の起源　ハングル文字の由来と特徴 第1課　基本母音字	ハングル文字がユネスコの世界遺産(記録遺産)として 登録されていることを事前検索をすること。
2:第2課　基本子音字	単語をノートに書き、ふり仮名をふり正しく読む練習をする。 単語の暗記
3:発音のルール　有声音化	例題をノートに書き、繰り返し読む練習をする。 単語の暗記
4:濃音	例題をノートに書き、音の違いを理解しながら練習する。
5:合成母音	例題をノートに書き、口の形を確認しながら発音の練習をする。
6:終声子音字(パッチム)	テキストの学習内容をしっかり読み理解する。
7:発音のルール　連音化(リエゾン)	発音ルールを理解して読む練習をする。
8:会話編　第1課　丁寧形・主題の助詞	テキストのフレーズを繰り返し練習する。
9:初対面の挨拶	実際の場面を想定して挨拶の練習をする。
10:自己紹介 (数名のグループで自己紹介をする)	実際の場面を想定して挨拶の練習をする。
11:数詞　漢数詞　　日にち	漢数詞を数えて、日にちが言えるよう練習する。
12:固有数詞　　時間	固有数詞を数えて、時間を言う。
13:曜日　　存在詞　　助数詞	漢数詞と固有数詞に助数詞を組み合わせを理解する。
14:代名詞(事物・場所)	
15:DVD鑑賞・感想文　　まとめ	

＊準備学習についての補足説明
次回学習単元のフレーズをノートに書きふり仮名つけて提出します。正しい読み方の指導をします。準備学習は、各回10分程度行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

改定版　韓国語レッスン　初級Ⅰ　スリーエーネットワーク発行
ハングル表①②配布
日常挨拶語録・慣用語のプリント配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(75%)学習の意欲(10%)受講態度(10%)読み・会話テスト(5%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

韓国の文化や風土などがわかるDVDを鑑賞します。
授業中の私語、居眠り、スマートフォンの使用は禁止です。
提出課題がある場合は採点して返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
消費科学	FA40108	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
後藤　直子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

ここ数年、消費者、特に若者が悪質商法などのトラブルに巻き込まれる例が後を絶たない。それもクレジットを組んだものも多く、後々まで借金に悩まされてしまうという人もいる。このような被害から身を守るためにはどうしたらよいか、被害にあったらどうしたらよいかを考える。私たちが過ごしやすい快適な毎日を送るために、生涯生活全般にわたって様々な観点から検討を加え、消費者としての自覚を持ち、よりよい消費生活を追求する。

Ⅲ. 学習成果

・消費者問題全般についての基本的な知識を身につける。
・利息の計算ができるようになる。
・被害にあった場合の相談場所や対処法についての知識を身につける。
・消費者としての自覚を持つようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:消費者問題とは何か ・消費者問題の歴史　・様々な消費者問題	シラバスをよく読んでおくこと。左記のテーマに沿って自分でも書籍・雑誌・新聞記事やインターネット等で情報をを収集してくること。
2:悪質商法 ・悪質商法のいろいろ	左記のテーマに沿って自分でも書籍・雑誌・新聞記事やインターネット等で情報をを収集してくること。
3:マルチ商法 ・救済方法	左記のテーマに沿って自分でも書籍・雑誌・新聞記事やインターネット等で情報をを収集してくること。
4:消費者の権利と責務 ・消費者としての自覚・国民生活センター・消費生活センター	左記のテーマに沿って自分でも書籍・雑誌・新聞記事やインターネット等で情報をを収集してくること。
5:クレジット問題 ・クレジットカード・新聞記事にみるクレジット問題	左記のテーマに沿って自分でも書籍・雑誌・新聞記事やインターネット等で情報をを収集してくること。
6:借金の利息の計算をしてみる (利息は高いか安いのか？)	利息の計算ができるような課題をあたえるのでやってみる。 授業内容に関するテーマについて関心を持つこと。
7:多重債務と自己破産 ・問題対処法と救済方法・今後予測される問題	左記のテーマに沿って自分でも書籍・雑誌・新聞記事やインターネット等で情報をを収集してくること。
8:家庭の収入と支出 ・収入と支出・家計簿の必要性・生活設計(結婚・出産・教育・住宅取得・老後など)	左記のテーマに沿って自分でも書籍・雑誌・新聞記事やインターネット等で情報をを収集してくること。
9:事故などの情報 ・どこから情報をえるのか・安全な生活情報(衣・食・住)	左記のテーマに沿って自分でも書籍・雑誌・新聞記事やインターネット等で情報をを収集してくること。
10:地震(災害)・環境等 ・地震の歴史　・環境について	左記のテーマに沿って自分でも書籍・雑誌・新聞記事やインターネット等で情報をを収集してくること。
11:家電製品 ・家電製品の歴史、値段、安全性、PL法	左記のテーマに沿って自分でも書籍・雑誌・新聞記事やインターネット等で情報をを収集してくること。
12:未来(ロボット・クローン・遺伝子組み換えなど)と消費者問題	左記のテーマに沿って自分でも書籍・雑誌・新聞記事やインターネット等で情報をを収集してくること。
13:高齢者と消費者問題	左記のテーマに沿って自分でも書籍・雑誌・新聞記事やインターネット等で情報をを収集してくること。
14:発表について 発表テーマ決め・準備	発表テーマを考えておく。発表するグループ員を決めておく。発表する内容を調べる。
15:発表、まとめ・今後の課題	発表できるようにまとめてくること。他人の発表に関心を持って、更に自分でも調べてみること。今までの授業内容を復習してみること。

＊準備学習についての補足説明　消費者問題に関わる映画やビデオなどを参考にし新聞記事などの相談事例を挙げ、出来るだけ具体的な事例を基に授業するので、他人事と考えず、その立場になった場合の対処方法や相談場所などを知り、日頃から消費者問題に関心を持つよう新聞やニュースを見るようにする。準備学習は各回30分以上行うこと。単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

参考図書:「新生涯消費者教育論」 晃洋書房　奥村美代子・谷村賢治編　・「くらしの豆知識」国民生活センター　・「Newton」ニュートンプレス
その他、資料配布する。悪質商法など消費者問題に関するビデオ・DVDや映画、新聞記事などを参考にする。教科書は使用しない。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

レポート(70%)　発表(20%)　学習の意欲(10%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

上記したとおり、他人事と考えず、消費者問題に関心を持ち、日頃から新聞やニュースを見ることを期待している。授業中は携帯電話をしまうこと。私語などしない。発表については、自分のためになるようなものを調べ、他人にもわかりやすいものにしてほしい。課題や発表についてのフィードバックはその都度、参考になるような点についての紹介や意見などを行う予定。何事に対しても冷静な判断力を身に付けることが出来るような教育を行っている。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
フランス語	FA40113	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
		免許・資格など	教養科目		
担当者		履修要件他:			
村上　舞		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザインカとIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

フランス語の正しい発音、つづり字と発音の関係、基礎的な文法、語彙・表現を学び、総合的なコミュニケーション能力を身につけることを目的とします。
各課にあるdialogueの理解、関連した文法事項の学習、口頭練習、練習問題を通して、フランス語の基礎となる知識と基本的な表現を確実に身につけます。

Ⅲ. 学習成果

初めてフランス語を学ぶ人でもコミュニケーションが取れるように、4技能「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能をバランスよく習得し、様々なシチュエーションにおけるフランス語能力を身につけることを目標にしています。また、文化的背景(地理、歴史、社会、文化)についての知識を深め、異文化理解を深めることを目指します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: フランスの地図、挨拶、発音の基礎	フランス語の挨拶や自分の名前のスペルを発音する。
2: 動詞être、はい/いいえで答える疑問文	動詞êreの活用を覚えて、自己紹介をする。
3: 否定形、男性形/女性形	否定形の作り方を覚えて、発音する。
4: 規則動詞	規則動詞の活用の作り方を覚えて、発音する。
5: エリジョン	規則動詞を使い、今住んでいるところや出身地について言う練習をする。
6: 動詞venir	疑問詞を使った疑問文を作り、発音する。
7: comment / où / d'où の使い方	交通手段について言う練習をする。
8: 中間プレゼンテーション	これまで学んだフランス語を使って、自己紹介をする。
9: 不定冠詞と定冠詞、動詞travailler	動詞travaillerを使って、アルバイトについて言う練習をする。
10: 願望の表現、C'est＋形容詞	C'est＋形容詞を使って、感想を言う練習をする。
11: 不定冠詞	不定冠詞の規則を覚えて、発音する。
12: 動詞avoir	動詞avoirを使って、ペットなどについて言う練習をする。
13: 定冠詞	定冠詞の規則を覚えて、発音する。
14: 形容詞(男性形/女性形)	形容詞を使って、科目・先生について言う練習をする。
15: まとめ	これまでに学んできた文法事項を復習する。

＊準備学習についての補足説明
毎回の授業で30分程度必要です。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

『Moi, je… コミュニケーション』 Bruno Vannieuwenhuyse 著　アルマ出版

初学者向けの辞書には、『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)、『現代フランス語辞典(ル・ディコ)』(白水社)、『クラウン仏和辞典』(三省堂)などがあります。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

フランス語による「 聞く・話す 」「 読む・書く 」という基礎的なコミュニケーション能力がどれくらい身についたかを評価基準とします。
テスト(定期試験・小テスト)70%、学習の意欲(授業への参加度、課題など)30%によって、総合的に評価します。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

初めて学ぶ外国語の場合、継続的な学習が必要不可欠です。毎回の出席を心がけ、発音練習にも積極的に取り組んでください。また日頃から、インターネット、音楽、映画などで、フランス語圏に関する情報に親しんでください。
ペアやグループでのロールプレイに対するコメントはその場で行い、課題は授業中または添削をし個別に返却するなど、課題の出題方法に応じて対応します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
ビジネス英語	FA40114	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
矢野　美貴和		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	◎
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	◎

Ⅱ. 概要

コロナウィルスの影響で世界経済が大きな打撃を受けましたが、今後も、何度も経済は浮き沈みを繰り返すと思われます。
世界語として世界中で話されている英語を習得すれば、もっと仕事の可能性や選択肢も広がります。
授業では、特別な英語を使うのではなく、場面にふさわしい基本的な表現やビジネス関係の表現や実務、コミュニケーション力、
ファッションに関する英語力を高めていきます。

Ⅲ. 学習成果

学んだ事をベースにして、将来のキャリアに役立つような英語の基礎力を身につける事ができる。
ビジネス場面に相応しい上品な英語表現を理解し、対応する事ができる。
英語を通じて、自ら積極的にコミュニケーションを図ろうとする自信を持つ事ができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業についてのオリエンテーション	授業概要を読んで本授業に期待する内容を考えておく。
2: 接客英語　あいさつ・簡単なやりとりについて	予習として、日本語でフレーズを考えておくこと。 習った内容でわからない箇所を復習し、フレーズを発音練習する。
3: 接客英語　よく使う必須フレーズ・言いがちなBAD表現について	予習として、日本語でフレーズを考えておくこと。 習った内容でわからない箇所を復習し、フレーズを発音練習する。
4: 接客英語　入店・店内案内について	予習として、伝えたい場所を考えておくこと。 習った内容でわからない箇所を復習し、フレーズを発音練習する。
5: 接客英語　会計について	予習として、シチュエーションを考えておくこと。 習った内容でわからない箇所を復習し、フレーズを発音練習する。
6: 接客英語　トラブル対処について	予習として、シチュエーションを考えておくこと。 習った内容でわからない箇所を復習し、フレーズを発音練習する。
7: 英語での商品知識(サイズ、素材etc…) について	専門用語の予習・復習。
8: ビジネス英語と日常英会話の違いについて	予習として、違いを考えてみる。 習った内容でわからない箇所を復習し、フレーズを発音練習する。
9: ビジネス英語　定番フレーズ　あいさつ・自己紹介について	予習として、自己紹介文をまとる 習った内容でわからない箇所を復習し、フレーズを発音練習する。
10: ビジネス英語　定番フレーズ　スモールトークについて	予習として、日本語でフレーズを考えておくこと。 習った内容でわからない箇所を復習し、フレーズを発音練習する。
11: ビジネス英語　メールの基本の書き方について	予習として、日本語でフレーズを考えておくこと。 授業で学習した内容の確認、復習する。
12 :ビジネス英語　メールで使える例文・フレーズについて	予習として、日本語でフレーズを考えておくこと。 習った内容でわからない箇所を復習し、フレーズを発音練習する。
13 :ビジネスで使いたい英単語について	予習として、日本語でフレーズを考えておくこと。 習った内容でわからない箇所を復習し、フレーズを発音練習する。
14: ビジネスで使う英数字に関する表現について	予習として、日本語でフレーズを考えておくこと。 習った内容でわからない箇所を復習し、フレーズを発音練習する。
15: 接客英語・ビジネス英語　まとめについて	授業で学習した内容の確認、復習する。

＊準備学習についての補足説明
準備学習に必要な時間は各回1時間程度。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員作成資料を毎回配布します。
参考図書:接客の英会話、定員さんの英会話

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(上記内容1～13から出題)50%、小テスト20%、学習の意欲30%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

英語の技能を習得するには、毎日、短時間でも英語に触れることです。自分に合った学習法を確立し、復習してください。
授業では、積極的に取り組んでください。授業中の私語、プライベートでのスマートフォン使用は減点の対象です。
課題や小テイストに間しては、授業内もしくは個別にフィードバックします。
授業時、終業時には必ず挨拶をします。ビジネスでの挨拶、お辞儀の角度を覚えましょう。

ファッション総合学科２年

選　択　科　目

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
デジタルイラストレーション	FA50209	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	デザインフィールド		
徳山　真由美		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	◎
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

イラストレーションには様々な表現方法がある。その中でも近年コンピュータグラフィックス(CG)による表現が不可欠となってきている。
そこでCGソフト(フォトショップ)を使用してファッションイラストレーションの表現方法について学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

CGソフト(フォトショップ)の基本操作から様々な加工・合成等の応用までを理解し、作品を制作することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: フォトショップの操作方法 基本ツールの使い方	基本ツールの操作方法(プリント)を読んで用語を覚える
2: 服の陰影について 基本的な陰影の表現方法　ブラシ、色の濃度他について	ペンタブレットを使用した陰影の方法を練習をしておくこと
3: 基本的な着彩方法 基本ワンピースの下書き　スキャナー入力について	基本ワンピースの書き方の練習をしておくこと
4: 基本的な着彩方法 基本ワンピースへの着彩と陰影付け	着彩を仕上げておくこと
5: 着彩方法の応用 ベタ塗りでの表現方法について	ベタ塗り着彩の練習をしておくこと
6: オリジナル柄の作成	柄のデザインをスケッチしておくこと
7: 柄入れ及び着彩	作品を完成させる
8: ペンタブレットを使用した下絵の作成	人体及び服のデザインを決定しておく
9: ペンタブレットを使用した下絵の作成及び着彩	下絵を完成しておく
10: 着彩	着彩を進める
11: テクスチャー又は柄入れ	テクスチャー又は柄を決めておく
12: 背景の作成	作品を完成させる
13: 総合課題 各自のテーマで下絵を完成する	服のデザインを決定しておく
14: 総合課題 条件に沿った着彩をする	着彩を進める
15: 総合課題 作品を完成させる	作品を完成させる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分程度行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない　教員作成資料を配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題・提出物　95%　　学習の意欲　5%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出作品は添削して返却する。授業時間に作品の解説や講評を行う。
USBフラッシュメモリーが必要。
「ファッションイラストⅠ」又は「ファッションイラストⅡ」を受講していることが望ましい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
デジタル表現演習	FA50210	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	デザインフィールド		
杉森　孝		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	◎
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

主にフォトショップを使った人物描写の技法について、写真の加工や画像素材を活用する方法、
ゼロから手描きに近い手順で完成させていく方法などの技法を習得する。

Ⅲ. 学習成果

フォトショップを使った人物イラストの表現に関する技術、特殊な技法、画像の処理技術を身につけられる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:人物イラスト①(シルエットとブラシによる表現) フォトショップの基礎知識とブラシツールの使い方	フォトショップについて参考書等で予習しておく。
2:人物イラスト②(シルエットとブラシによる表現) 鉛筆書きのイラストをデジタルデータへ	フォトショップの各ツールの名称・機能について予習。
3:人物イラスト③(シルエットとブラシによる表現) 人物イラストの完成	途中経過のチェックを受け、修正箇所を修正する。
4:水彩ブラシを使ったアナログタッチの表現方法① 鉛筆書きの人物をスキャンしてデジタルデータへ	フォトショップのツールについての予習とラフスケッチの準備。
5:水彩ブラシを使ったアナログタッチの表現方法② 水彩風の表現に近いブラシの使い方	ブラシツールの復習
6:水彩ブラシを使ったアナログタッチの表現方法③ 細部の描きこみと全体の調整	途中経過のチェックを受け、修正箇所を修正する。
7:写真を加工して描く人物イラスト① 写真の選択と構成アイデアスケッチ	フォトショップのツールについての予習とラフスケッチの準備。
8:写真を加工して描く人物イラスト② 構成をもとにレイアウトを完成	レイアウトの完成と調整
9:写真を加工して描く人物イラスト③ 色調補正、レイヤー演算、全体の調整	途中経過のチェックを受け、修正箇所を修正する。
10:アナログ素材を使ったイラストレーション　① 作業手順の組み立て～下描き	アナログ素材の準備を行う。制作手順の組み立て。
11:アナログ素材を使ったイラストレーション　② アナログ素材による描画、作成	アナログ部分の完成～スキャニング準備
12:アナログ素材を使ったイラストレーション　③ デジタルによる加筆～完成	途中経過のチェックを受け、修正箇所を修正する。
13:オリジナルのキャラクターイラスト ① テーマ、コンセプトの決定～ラフスケッチ	オリジナルキャラクターのラフスケッチを１０案　行っておく。
14:オリジナルのキャラクターイラスト ② デザインの決定～スキャニング	デジタル作業のできる準備
15:オリジナルのキャラクターイラスト ③ PCでのフィニッシュワーク	途中経過のチェックを受け、修正箇所を修正する。

＊準備学習についての補足説明
　準備学習は毎回30分以上行うこと。必要に応じて内容や容量については必要に応じて説明する。
　単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

必要に応じて資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

授業での提出課題の点数(90%)　学習の意欲(10%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

USBメモリー(2GB以上)が必要。また可能なら2本用意することが望ましい(バックアップのために)
課題作品は採点し必要なアドバイスとコメントを口頭で行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
音のデザイン	FA50111	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	デザインフィールド		
河原　一彦		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

音を用いた空間演出・制作に必要な感性を身につけ、音に関する正しい知識と技術を身につけることを目標とする。
サウンドスケープ調査(音風景調査)や音を聴く訓練を通じて聴覚的な感性をみがく。
また、音の工学的な面についても解説する。さらに音編集の実習も行う。
受講者が、音の基礎知識を身につけ、自身のデザイン領域を音の分野にもひろげられるようにしたい。

Ⅲ. 学習成果

「音環境を聴く」態度が身につく。
「音の科学的・工学的知識」とそれに対応させた音の感性が身につく。
拡声機器等の音響設備・放送設備の仕組みが理解でき，操作することができる。
コンピュータを使ってCDなどから取りだした音などを編集(ファッションショーための音楽編集など)の技能が身につく。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 音とは何か .・まず、よく聴いてみよう.	眠気がないように体調を整えておくこと。
2: サウンドウォーク ・グループワーク:サウンドスケープ調査 香蘭短大の音名所を探そう.	日常生活の中で音を聴くことを意識すること。
3: フィールドワークのまとめ ・グループワーク:調査にもとづく音地図の作成、発表資料作成	一週間の音にまつわる体験を記録すること。
4: フィールドワークの発表会と、事例紹介 ・グループワーク: 香蘭短大の音地図の発表会、シェーファーによるサウンドスケープ	大学構内の音風景を意識すること。 発表資料をまとめておくこと。
5: 音とは何か(音の物理的側面と心理的側面) ・音の3要素について　・音の周波数	生活の中の音について、音の周波数を意識して過ごすこと。 また、それらをノート等に記録をとること。
6: 音とは何か ・音の3要素について　・音の大きさ	生活の中の音について、音の大きさを意識して過ごすこと。 また、それらをノート等に記録をとること。
7: 音の3要素について ・音のスペクトルと音色	生活の中の音について、音色を意識して過ごすこと。 また、それらをノート等に記録をとること。
8: 音響機器と室内音響学 ・音響機器の機能と仕組みについて. 体育館の音響設備の確認.	身近な音響機器について、マニュアルを読み、設定項目などを 確認すること。また、それらをノート等に記録をとること。
9: 音編集実習(その1) ・まずやってみよう.	音編集ソフトウエアを使って、信号の再生ができるようにすること。
10: 音編集実習(その2) ・ステレオミキシング. 音の定位を変える.	音編集ソフトウエアを使って、トラック間のバランスの調整が できるようになること。
11: 音編集実習(その3) ・CDの音を使う	CDから音を取り出すことができるようになること。 信号を、音編集ソフトウエアに読み込むことができるようになること。
12: 音編集実習(その4) ・いろいろな加工や編集技術について.	音編集ソフトウエアを使って、各トラックの信号に、エフェクトを かけることができるようになること。
13: 音編集実習(その5) ・グループワーク:音作品制作実習(1)	ラフな編集作業が終わらない場合は，各グループで 制作の時間をとること。
14: 音編集実習(その6) ・グループワーク:音作品制作実習(2)	仕上げの編集作業が終わらない場合は，各グループで 制作の時間をとること。
15: 音作品発表会とまとめ	各グループの作品を聴き、印象を言葉で記述できるようにすること。 また、それらをノート等に記録をとること。

＊準備学習についての補足説明
授業時間以外の学習方法:　日常生活において好きな(快適な)音環境を意識すること。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「音と音楽の科学」 岩宮眞一郎 著、技術評論社
参考図書: 音のチカラ-感じる，楽しむ，そして活かす-、岩宮眞一郎 著、コロナ社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学期末レポート(80%)、学習の意欲(20%)
グループワークによる(もしくは個人での取り組みによる)音作品を1つ以上，提出することを単位認定の条件とする。
学期末レポートにおいて，音環境についての正しく認識・評価できるようになったことを具体的な例をあげて記述できた場合は，8割以上の評価点を与える。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

この授業は音に関する授業であり、音楽(選曲)については取り上げないので注意すること。
フィールドワークについては，発表時に講評する。
音作品については，提出時に，個別に講評する。
「実務経験教員科目」特記事項:音響機器企業において、リアルタイム・デジタル信号処理機器の開発経験があり、その経験を活かして、音響機器の利用法についても教育する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
美術とファッション	FA50112	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	デザインフィールド		
徳山　真由美		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	◎
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

美術とファッションには、思わぬ関係がみられます。ファッションデザイナーは、美術作品からインスパイアーされた作品やコラボレーションをした作品を発表しています。このような美術とファッションの関連性について学びます。

Ⅲ. 学習成果

美術とファッションの関連性を学び、デザイン企画のための展開方法が身に付きます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 導入　西洋美術の流れについて 原始美術～エジプト美術について　エジプト美術からのデザイン展開	エジプト美術からのデザイン画を完成する
2: ギリシャ・ローマ美術について ギリシャ・ローマ美術からのデザイン展開	ギリシャ・ローマ美術のデザイン画を完成する
3: ビザンティン美術について ビザンティン美術からのデザイン展開	ビザンティン美術からのデザイン画を完成する
4: ロマネスク、ゴシック、ルネサンス美術について	一点透視図を完成する
5: ルネサンス美術について 遠近法からのデザイン展開	透視図からのデザイン画を完成する
6: ルネサンスについて ルネサンス美術からのデザイン展開	デザインのアイディアスケッチをしておく
7: バロック～ロココ美術について ①ロココ美術からのデザイン展開	ロココの装飾を使ったデザイン画を完成する
8: バロック～ロココ美術について ②ロココの服飾からのデザイン展開　下書き	ロココ時代の服飾の特徴について調べてくる
9: ロココ美術について ②ロココの服飾からのデザイン展開　完成	デザイン画を完成する
10: 新古典主義について 新古典主義からのデザイン展開	エンパイアスタイルの特徴を調べてくる デザイン画を完成する
11: ロマン主義～印象派について ①印象派からのデザイン展開　下書き	印象派の色彩等をデザイン画へ展開し、デザイン画を完成する
12: 印象派について ②印象派からのデザイン展開　完成	印象派の色彩等をモチーフに、デザイン画を完成する
13: 象徴主義について 象徴主義からのデザイン展開	クリムトをモチーフにしたデザイン画を完成する
14: アールヌーボー～キュビズムについて キュビズムからのデザイン展開	デザイン画を完成する
15: 未来派～現代アートについて ポップアートからのデザイン展開	デザイン画を完成する 授業ノート(ファイル帳)提出の準備をする

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分程度行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない　教員作成資料を配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

レポート・課題作品・提出物　95%　　学習の意欲　5%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出作品は添削して返却する。授業時間に作品の解説や講評を行う。
配布プリント・レポート等の整理の為、各自A4ファイル帳を準備してください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
フォーマルウェア概論	FA51206	開講時期:	1期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッションビジネスフィールド		
岡田　絵梨奈		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	◎
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

フォーマルウェアとは、公式な場や社交において相手を敬い、思いやる心の表現としての装いです。フォーマルウェアには様々な規定や基準や規定があるため、国際的儀礼や冠婚葬祭などに基づき正しい知識の習得が必要です。これらは、ファッションのデザイン提案にも応用できる知識であり、また社会人として、国際社会における円滑な人間関係の構築に活用することができます。

Ⅲ. 学習成果

国際儀礼に従ったフォーマルウェアについて理解し、正しい知識を習得します。
現代社会における様々なフォーマルシーン及びフォーマルウェアについて考察することができます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: フォーマルウェアとは何か	シラバスを読んでおくこと
2: 昼のフォーマルウェア　メンズ編 ・正礼装　準礼装　略礼装	昼のフォーマルウェア　検定対策プリントの学習
3: 昼のフォーマルウェア　レディス編 ・正礼装　準礼装　略礼装	昼のフォーマルウェア　検定対策プリントの学習
4: 夜のフォーマルウェア　メンズ編 ・正礼装　準礼装　略礼装	夜のフォーマルウェア　検定対策プリントの学習
5: 夜のフォーマルウェア　レディス編 ・正礼装　準礼装　略礼装	夜のフォーマルウェア　検定対策プリントの学習
6: 喪のフォーマルウェア　メンズ編 ・正礼装　準礼装　略礼装	喪のフォーマルウェア　検定対策プリントの学習
7: 喪のフォーマルウェア　レディス編 ・正礼装　準礼装　略礼装	喪のフォーマルウェア　検定対策プリントの学習
8: ブライダルフォーマル　メンズ編	ブライダルドレスのデザイン分析のための資料を収集する
9: ブライダルフォーマル　レディス編	コーディネートをまとめてコラージュの作成
10: タイの結び方・ポケットチーフについて	結び方の実技試験を実施　復習しておくこと
11: 和装における礼装の種類 ・冠婚葬祭のきもの	和装の情報を収集しておくこと
12: 国際社会における現代のフォーマルウェア ・日本の皇室、英国王室などの国際儀礼を参考に	フォーマルウェアの販売店舗などを調査し、デザインや価格帯など情報や資料を収集する
13: フォーマルウェアについてのフィールドワーク解説	フォーマルウェアの販売店舗などを調査し、デザインや価格帯など情報や資料を収集する
14: フォーマルウェアについての考察	フィールドワークで収集した資料をもとに、フォーマルウェアについて考察し、レポートにまとめる
15: これからのフォーマルウェアについて ・試験について	発表と講評

＊準備学習についての補足説明
課題プリントや各種調査など30分以上の準備学習が必要となります
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

日本フォーマル協会「フォーマルウェアルールブック」

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定筆記試験60%・検定対策小テスト20%、課題10%、学習の意欲10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

フォーマルウェアスペシャリスト検定準2級の対策支援も含めた授業です。
検定試験受験のためには時間外での自主学習が必要となります。
課題は返却時に個別にフィードバックします。
「実務経験教科科目」特記事項:マナー研修や検定対策講座などの経験を活かし、効率的な学習と実践的に活用できる内容です。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
ファッションビジネス戦略論	FA51207	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッションビジネスフィールド		
曽根　ゆかり		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

・ファッション業界の最先端なマーケティングトレンドを理解する。
・ファッションビジネスにおけるデジタルトランスフォーメーションの取組を具体的事例より学ぶ。
・ファッション関連企業の特徴と現状分析を理解し、事例企業の取組を同業種他社との比較から、その違いを研究する。
・ファッション関連企業やファッション業界の将来について学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1. ファッション業界のマーケティングトレンドを理解できている。
2. ファッションビジネスの変化とその理由を具体的に説明することができる。
3. ファッションビジネスの企業戦略について、重要性を理解し、マーケティングの視点から説明できる。
4. ファッション業界の現状課題と将来の可能性について、自分の考えや意見を述べることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション(シラバスの確認、授業概要) 企業戦略によるマーケティングの重要性	予習:シラバスを読んでおく 復習:マーケティングの基本をまとめる
2: 最先端 マーケティング 販売戦略の大変革:メタバース・売らない店・無人店舗	予習:最新の販売方法で話題になっている店舗をひとつをピックアップし、どの様な点が新しいのか、調べてまとめる
3: トレンドマーケティングにおける情報戦略 情報収集・発信の変化:顧客情報分析・広告宣伝方法(Cookies・ID)	予習:Cookiesとは何か？調べておく 復習:情報収集・発信のトレンドをこれまでと比較して、まとめる
4: 次世代ターゲットのライフスタイル 経営戦略の鍵:ターゲット分析(ミレニアム世代・Z世代)	予習:2021年のトレンドキーワードを5つ調べておく 復習:自分達世代の特徴を衣・食・住に分けてまとめる
5: ファッション業界のデジタルトランスフォーメーション(DX) DX導入よるメリット・デメリット:取組事例	予習:デジタルトランスフォーメーションとは何か？調べておく 復習:ファッションビジネスにおけるDX導入によるメリットをまとめる
6: 世界・日本の社会的課題とファッションビジネス戦略 ファッションビジネス戦略の核となるか:SDGs・地域活性化を取り入れるメリット	予習:SDGs17の世界的目標で、ファッションビジネスに影響を及ぼす項目をピックアップし、その理由をまとめる
7: 海外ファッション企業研究 個人ワーク:海外最先端のファッション企業を選択し、ビジネス戦略を研究	予習:人気な海外ファッションをネットで調べて、調査企業を選択する 復習:選択した企業のビジネス戦略をまとめ、プレゼン資料を完成させる
8: グループディスカッション　＊アクティブラーニング 各自企業研究を発表し、戦略上の重要なポイントをディスカッション	予習:プレゼンテーションの準備をする 復習:企業研究のプレゼンを聞き、各企業の戦略ポイントをまとめる
9: ファッション業界のデジタル活用 ファッション業界の販売戦略:TikTok・YouTube・Instagram・Line活用方法	予習:自分のお気に入りブランドのSNS活用をまとめておく 復習:ファション業界のSNS販売戦略をまとめる
9: アパレル日本企業の未来 ライフスタイル提案型戦略:アパレル企業の脱アパレルビジネスモデル	予習:日本のアパレル企業をひとつピックアップし、企業戦略を調べておく 復習:アパレル業界の未来について、自分の考えをまとめる
10: 化粧品業界の最新マーケティング戦略 コスメブランドの販売戦略:日本・韓国・欧米ブランドの特徴あるビジネス手法	予習:代表的なコスメブランド(日本・韓国・欧米各1)について調べてくる 復習:コスメブランドのマーケティング戦略をまとめる
11: ファッション業界のオムニチャンネル 顧客視点のビジネス戦略:ネットとリアルを統合した新しい売り方	予習:オムニチャンネルについて調べてくる 復習:アパレルでオムニチャンネルを活用している企業をまとめる
13: ファッションのサブスクリプション 次世代の主流戦略か？:ファッションを「買う」から「借りる」時代へ	予習:サブスクリプションについて調べてくる 復習:ファッションアイテムのサブスクリプションをまとめる
14: ファッションビジネスの新領域　フリマサービスを考える C to Cビジネス戦略:代表格「メルカリ」の戦略	予習:C to C ビジネスとは何か調べてくる 復習:フリーマーケットの今後について、自分の考えをまとめる
15: グループディスカッション　＊アクティブラーニング ファッションビジネスの未来:多様なニーズを捉えて、自ら考えよう	予習:日本のファッションビジネスにおける現在の課題をまとめておく 復習:ファッションに関する新しいビジネスを考える

＊準備学習についての補足説明
・予習、復習の課題は、次の講義に関連しています。理解度に関係しますので、必ず学習してください。・A4用紙　300文字を目安にまとめるようにしてください。(提出を求めることがあります)
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

・教科書は使用しません。適時資料を配布します。各自ファイリングをしてください。
・推薦図書:「最新マーケティングの教科書」、「ファッション業界大研究」

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・調査・レポート(40%)、プレゼンテーション(30%)、修了試験(20%)・学習の意欲(10%)
・学習意欲として、提出物期限や受講態度も評価に反映します。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・ノートと筆記具が持参してください。・座席指定をします。
・プレゼンテーションのためのパワーポイントでの資料作成・USBメモリーが必要です。
・情報収集において、各種ファッション雑誌、業界レポート等の準備が必要となります。
・予習、復習の配布シートは提出して頂きます。質問については、コメントを添えて返却します。
「実務経験教員科目」特記事項:百貨店でのバイヤー、MD,店舗プランニング経験あり。実務経験に基づき各回の授業を行っています。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
アパレル企画演習	FA51208	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:	ファッションビジネスフィールド		
尾畑　圭祐		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

アパレル業界における企画立案の方法を"ブランドの企画"を通して学習し、企画書を作成する。
アパレルの企画を立案するにあたって、最も重要な"コンセプト"を明確にするために必要な調査や裏付けを通して理論的に論じる方法(コンセプトワーク)を学習する。

Ⅲ. 学習成果

各々が持っている感性を企画のなかで表現し、アパレル業界だけでなく、様々な業界で通用する完成度の高いプレゼンテーションや企画書を製作することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:ブランドの企画提案　～ブランド立ち上げプロセス～ コンセプトの発想、イメージビジュアル作成(DM)	(復習)コンセプトストーリー、イメージビジュアルを完成させておく
2:ブランドにおけるターゲットイメージ(ボード作成)	(復習)イメージボードを完成させておく
3:企画立案におけるベンチマーク(企業リサーチ)	(復習)企業リサーチを仕上げておく
4:コンセプトリサーチ①(歴史と衣服の関係性)	(復習)コンセプトについてのレポートを仕上げておく
5:コンセプトリサーチ②(素材からのデザイン発想)	(復習)素材についてのレポートを仕上げておく
6:コンセプトリサーチ③(衣服におけるディテールとは？)	(復習)ディテールついてのレポートを仕上げておく
7:企画製品におけるブレーンストーミング(アイディアの抽出)	(復習)ブレーンストーミングの内容を整理しておく
8:企画製品におけるブレーンストーミング(ブラッシュアップ)	(復習)ブレーンストーミングで出たアイディアを整理しておく
9:企画書の概要と製品図の作成	(復習)製品図を完成させておく
10:企画書における素材選定と色構成	(復習)製品企画書を完成させておく
11:製品図からのデザイン発想・スタイル画の作成(下書き)	(復習)スタイル画の下書きを完成させておく
12:スタイル画作成(着色)	(復習)スタイル画の着色を完成させておく
13:スタイル画作成(レイアウト)	(復習)スタイル画のレイアウトを完成させておく
14:企画書の編集作業	(復習)企画書の編集を完成させておく
15:課題Ⅰの合評	(予習)合評に向けた準備をしておく

＊準備学習についての補足説明
1回の授業に対して30分程度の準備学習を行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリント配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題(合評を含む)　90%　　学習の意欲　10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

「実務経験教員科目」特記事項:ファッションデザイナー(アパレル企業)での実務経験をもとに、企業で実際に行っている企画立案のプロセスを修得できる授業構成である。
課題のフィードバックとして、合評を行う。また、提出課題は改善点や評価ポイント等を添えて返却をする。
提出期限厳守ですので、授業時間内に終えていない課題は次の授業までに追いつくように努力してください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
カラーマーケティング演習	FA51209	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッションビジネスフィールド		
桑野　優子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	○

Ⅱ. 概要

カラーマーケティングの授業では、カラーマーケティングと色彩心理、生理についての説明が出来、活用できる。また、消費者がどのように情報を収集し、どういう理由で商品を選択しているのか、カラーマーケティングにとって必須のアンケート調査を目的に応じて実施し、結果からの分析購入に至る経緯を論理的に理解し、現場で活かせるようになる。

Ⅲ. 学習成果

・カラーマーケティングと色彩心理、生理について論理的、科学的根拠に基づき説明が出来、活用できる。
・カラーマーケティング、アンケート調査の結果に基づき、商品開発、店舗デザイン、販促計画に有効活用できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:カラーマーケティングの基礎①　カラーマーケティングとは何か、色彩心理学、VMDとの関連を含め一般的なマーケテイニングとの相違点と共通点またその必要性	カラーマーケティングとは何か、カラーマーケティングに必要な要素とは何かを事前に書籍、インターネット検索等で調査しておく。(30分程度)
2:カラーマーケティングの基礎②　カラーマーケティングに必要な色彩心理を学ぶ　詳しい説明　アンケート調査vol1 調査実施計画・準備	カラーマーケティングとマーケティングの違いを調べる　(30分程度)　数名のグループに分かれて、マーケティングのターゲット設定等を話しあう。
3:カラーマーケティングの基礎③　カラーマーケティング実施報告　アンケート調査の結果を報告し、更にそこから見えてくるものは何か分析する	リサーチの実施報告(報告書の作成　2時間程度)　マーケティングリサーチ(アンケート)した内容を報告する
4:カラーマーケティングの基礎④　カラーマーケティングを有効活用するために　色彩心理学、生理学、色と人間の関係性を実践的に学ぶ	色彩心理学とは何か、教科書にて事前に読んでおく(1時間程度)　＊インターネット等の専門サイトから調査
5:カラーマーケティングの基礎⑤　アンケート調査の結果から分析する　アンケート調査の結果を色彩心理学をもとに分析する	教科書を読み、色彩心理学の復習　数名のグループに分かれて、アンケート調査の結果を分析する
6::カラーマーケティングの基礎⑥　アンケート結果を分析し、発表する　結果を分かり易く、第三者に伝達するにはどうしたらよいか検討する	カラーマーケティングのために実施したアンケート結果を分析し、発表するために準備をする。　発表後、結果を総括する(発表準備　2時間程度)
7:カラーマーケティングの基礎⑦　アンケート調査vol2　1回目のアンケートとは異なるテーマでアンケート調査を実施する	テーマに沿って、調査対象(ターゲット)を事前にリサーチする　教科書の内容を参考にしながらターゲットの好きな色を予測する(1時間程度
8:カラーマーケティングの基礎⑧　アンケート調査結果の中間報告　アンケート前に予測したものと実際の結果を照らし合わせ、後半の調査に反映させる	1回目より規模の大きいアンケートを実施するため、中間報告を行う　予測した内容と実際の結果を照らし合わせる(1時間程度)
9:カラーマーケティングの基礎⑨　アンケート調査の結果を最終報告　アンケート調査前の予測、実践、中間報告、最終報告、結果から分析	アンケート調査の最終報告の準備をする(2時間程度)
10:カラーマーケティングの応用①　これまでのアンケート調査の結果から商品開発、サービスへの活用法を考える　事例紹介	アンケート調査の結果から商品開発をした事例を文献やインターネット等で検索する(30分程度)
11:カラーマーケティングの応用②　ターゲット設定　商品、サービスのターゲットとなる消費者の具体的なプロフィールを設定する	年代による消費行動の違いを考える　自分自身の消費行動を書き出してみる(1時間程度)
12:カラーマーケティングの応用③　商品開発、サービスを考える　アンケート調査の結果、ターゲット設定より、商品開発、サービスを考える	ヒット商品、トレンド、注目商品を調査する(1時間程度)
13:カラーマーケティングの応用④　商品開発、サービスを発表する　プレゼンテーションとして、見やすいビジュアル表現をする	商品開発、サービスを発表する準備をする(2時間程度)
14:カラーマーケティングの応用⑤　カラーマーケティングと色彩心理の関係性　商品開発、サービスに関して色彩心理がどのように関わっているかを考える	色彩心理学について、教科書等を読み復習する(1時間程度)
15:まとめ　　カラーマーケティングの役割、活用法　カラーマーケティングの役割、活用法を振り返り、実践できるように習得する	今までの授業、自ら行ったアンケート調査やプレゼンテーションを振り返り、ノートや資料を見て復習しておく(1時間程度)

＊準備学習についての補足説明
　情報はあらゆる手段で手に入る時代です。講義前に知らない用語等は事前に調べておいてください。
　単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

●教科書　「プロが教える現場で役立つ色の使い方～明日から使える色のルール～」(桑野優子　著)　発行元:日本カラープランニング協会　1500円
●参考図書　「カラーマーケティング」(下川美知瑠)　「売れる色の理由」芳原　信
　＊講義に必要な資料等は、講義ごとに配布予定です。欠席した場合は、必ず翌週に配布物の有無を確認してください。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(上記内容より出題)(50%)　講義内でのプレゼンテーション(30%)　　学習意欲(20%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題の中にはグループ制作もあります。アンケートの実施は基本的にグループで行います。互いに協力し合い、価値観、思考、好み等の違いを体験しながら、調査結果をまとめるに はどうしたらよいか、試行錯誤しながら取り組んでいってください。社会人になって完全に個人で動くことの方が稀です。
グループ制作の中で実社会への練習をしましょう。
「実務経験教員科目」 特記事項:一般社団法人日本ｶﾗｰﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ協会代表理事。色彩心理をベースにマーケティングリサーチを常日頃、業務の中で実施

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
染色実習	FA52107	開講時期:	1・2期		
		形態:	実習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	生活スタイリングフィールド		
彌永　裕子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

絞り染め、ステンシル技法、シルクスクリーンの仕組みや、染料、顔料の使い方、染料の定着方法など実践的な制作を通して自身の作品制作や将来の方向性に活かす。前半は染料の基本的な使い方や絞り染め、ステンシル技法、天然染料などを用いて制作する。
後半はシルクスクリーン技法や染料、顔料を用いて捺染プリントでオリジナルのテキスタイルを制作する。

Ⅲ. 学習成果

・素材に適した染料や技法を理解できる
・染色技法を取得し、技術を応用することができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション 化学染料を使った色見本帳制作(精錬、染色)	復習:配布資料を読んで課題や授業内容を理解する。 化学染料の手順をノートにまとめる。色見本帳を完成させる。
2: 絞り染め①(絞りの作業、染色)	予習:配布資料を読んで、絞り染めの絞り方、染色の色のイメージを考えてくる。
3: 絞り染め②(絞りの作業、染色)	予習:絞りの作業を終わらせておく。
4: ステンシル実習①(デザインのプレゼンテーション、型を彫る)	予習:デザイン案のリサーチを行いステンシルの図案を考えてくる。 デザイン案プレゼンテーションの準備。
5: ステンシル実習①(染色、定着、講評)	予習:ステンシルの型を完成させておく。
6: 草木染め実習①(下地入れ、染色)	予習:身近な染材を採取してくる。
7: 草木染め実習②(染色、色見本帳制作)	復習:手順などをノートにまとめる。色見本帳を完成させる。
8: 捺染プリント実習①(デザインのプレゼンテーション、製版、布の準備)	予習:デザイン案のリサーチを行いデザイン案を考えてくる。 デザイン案プレゼンテーションの準備。
9: 捺染プリント実習①(捺染)	復習:シルクスクリーンの仕組みや、手順などをノートにまとめる。
10: 捺染プリント実習①(捺染、定着、講評)	復習:シルクスクリーンの仕組みや、手順などをノートにまとめる。
11: 捺染プリント実習②(デザインのプレゼンテーション、製版、布の準備)	予習:デザイン案のリサーチを行いデザイン案を考えてくる。 デザイン案プレゼンテーションの準備。
12: 捺染プリント実習②(捺染)	復習:シルクスクリーンの仕組みや、手順などをノートにまとめる。
13: 捺染プリント実習②(捺染)	復習:染料の作り方、手順などをノートにまとめる。
14: 捺染プリント実習②(捺染)	復習:刷り方、手順などをノートにまとめる。
15: 捺染プリント実習②(定着、仕上げ、講評)	復習:手順、作品の完成までの記録をノートにまとめる。

＊準備学習についての補足説明
・授業時間内に課題が進まなかった場合は次回までに進めておく。
・準備学習について毎回30分以上行うこと。

Ⅴ. 教科書・参考図書

染色の基礎知識 合成染料の技法/染織と生活社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

各回の課題70%　学習意欲20%　レポートやまとめたファイル10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

制作の時間は汚れてもいい服装で臨むこと。スケジュールや作業内容を確認し、必要な材料や道具を忘れないようにすること。
作品ごとに講評会を行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
きものと生活	FA52108	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	生活スタイリングフィールド		
岡田　絵梨奈		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	◎
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	○
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

日本の民族衣装であるきものは、歴史や風土によって多種多様な種類があり、現代でも人生儀礼や伝統芸能など日本文化の中で息づいています。また、デザインとしても世界的にも注目されてきたきものを、多方面から理解することで、今後どのように生活の中に取り入れていけばよいのか、日本文化のひとつとして次世代へ継承するために考察します。

Ⅲ. 学習成果

きものの種類や季節やTPOに合わせたきものの知識を習得することができる
テキスタイルとしての原料や制作工程、産地による染めや織などを学び、日本の風土と生地について理解することができる
日本の伝統芸能や各地の祭りなど、きものと関わる日本文化についての見識を持つ

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: きもの入門 オリエンテーション	シラバスを読んでおくこと
2: きものの名称・種類・帯・和装小物	身近なきものについてまとめる　人生儀礼・習い事・祭りなど
3: テキスタイルとしてのきものの魅力① 染のきもの　DVD鑑賞	染のきもの　課題プリントの実施
4: テキスタイルとしてのきものの魅力② 織のきもの　DVD鑑賞	織のきもの　課題プリントの実施
5: 日本の伝統文化を支えるきもの 祭り・能・歌舞伎	日本文化　課題プリントの実施
6: きもののTPO きものの格式と礼装について	きもののTPO　課題プリントの実施
7: 季節に応じたきもの ・素材の違い、季節の柄　　・グループワーク	テキスタイル　課題プリントの実施
8: 日本の伝統色 ・自然が育む豊かな色彩	日本の伝統色についてまとめる
9: 和の文様 ・身近なものにも和のこころ　・プレゼンテーション	和の文様を調べてまとめる 小テスト
10: きものの歴史	きものの歴史　課題プリントの実施
11: 人生儀礼・年中行事ときもの ・グループワーク	行事カレンダーの作成
12: 世界のファッションに影響を与えたきものの文化	テーマに合わせたファッションの切り取り
13: 自由研究 これからのきもの	自由研究のテーマ設定
14: 発表準備	テーマについてのリサーチと発表準備
15: 発表とまとめ　　・プレゼンテーション	試験について

＊準備学習についての補足説明
課題プリントや調査など30分以上の準備学習が必要となります
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

きもの文化検定公式教本1『きものの基本』　出版:ハースト婦人画報社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

筆記試験(70%)、実技評価(10%)、受講態度(10%)、学習の意欲(10%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

全ての課題やレポートについては返却時や発表時に個別にコメントをフィードバックします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
きもの製作と着装	FA52109	開講時期:	2期		
		形態:	実習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	生活スタイリングフィールド		
宮﨑　千草		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	◎
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	○
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

和裁の基礎として一番初めにマスターしてほしい浴衣は、夏の普段着としてかかせない着物のひとつでもある。
ゆかた・単衣長着のどちらかを選びミシンを使い、より早く仕立てる方法を学ぶ。
又製作したきものを使って着装と帯の結び方を学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

きものの寸法割り出し方法や縫製における基本的な知識を修得することができる
基本的な浴衣の着付けを学び、自分で着ることができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

	授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:	●浴衣又は単衣長着 和裁に必要な用具、名称について、寸法割り出しについて、反物を裁断する	市場調査・きものの名称を調べる 寸法割り出しの計算をしてみる
2:	印し付け・袖作り	縫製部分のプリントを読んで要点や注意点をまとめる
3:	背縫い・くり越し縫い・まつり・肩あて縫い	縫製部分のプリントを読んで要点や注意点をまとめる
4:	肩あて付け・脇縫い・脇耳ぐけ始末	縫製部分のプリントを読んで要点や注意点をまとめる
5:	襟下縫い・衽付け・耳ぐけ始末	縫製部分のプリントを読んで要点や注意点をまとめる
6:	裾くけ・共襟つけ・襟付け	縫製部分のプリントを読んで要点や注意点をまとめる
7:	襟芯つけ・襟くけ始末	縫製部分のプリントを読んで要点や注意点をまとめる
8:	袖付け・耳ぐけ始末	縫製部分のプリントを読んで要点や注意点をまとめる
9:	いしき当て付け・仕上げ	縫製部分のプリントを読んで要点や注意点をまとめる
10:	きものの着装　浴衣製作品　合評	帯の種類調査
11:	きものの着装・帯の結び方(半幅帯)	帯の結び方を練習する　結び方の手順をレポートにまとめる
12:	きものの着装・帯の結び方(お太鼓)	帯の結び方を練習する　結び方の手順をレポートにまとめる
13:	きものの着装・帯の結び方(二重太鼓)	帯の結び方を練習する　結び方の手順をレポートにまとめる
14:	きものの着装・帯の結び方(変わり結び)	帯の結び方を練習する　結び方の手順をレポートにまとめる
15:	実技試験とまとめ	試験に対応した練習

＊準備学習についての補足説明
予習部分の読んで分からない部分は理解したことを記入して最終レポートとしてまとめる

Ⅴ. 教科書・参考図書

教員作成資料配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

製作作品(50%)　レポート(20%)　学習意欲(10%)
着装実技試験(20%)各着装時5回の評価点も含む

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

着付けに必要な用具、きもの、帯は各自持参(家にあるもので準備できるもの)
持参できない人は担当者に相談してください。
課題作品は着装に使用し受講者全員で評価し担当者は作品についてコメントします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
ファブリックワーク	FA52110	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	生活スタイリングフィールド		
斉藤　朋子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

ファブリックとは　織り、編み、フェルト、レースなどの組織を持つ生地一般をさす言葉です。この授業では、身近にあるファブリックを使って、
ネックレスやブレスレットなどのアクセサリーを製作します。

Ⅲ. 学習成果

材料の特性を研究し、成形方法を考える力を身につけている。
布地やリボンを成形するための方法を考え、工夫して作ることができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 導入① 布を使ったアクセサリー(つけ衿)のデザイン計画	道具の使用方法、注意事項をまとめる。 試作を元に、アクセサリーのデザインを考える。
2: 導入② 各自のデザインを決定し、デザイン計画をイラスト付きレポートにまとめる。	デザインのポイントと使用素材を図にまとめる。 必要な材料について市場調査をし、材料を準備する。
3: 布を使ったアクセサリー(パターン作成)	製作に必要なファブリックを準備する。 パターンについてレポートにまとめる
4: 布を使ったアクセサリー(土台の縫製)	土台の縫製方法を確認しておく 土台の縫製についてレポートにまとめる
5: 布を使ったアクセサリー(各自の技法による装飾)	使用する技法について調べておく 技法についてレポートにまとめる
6: 布を使ったアクセサリー(各自の技法による装飾の展開)	使用する技法の展開について調べておく 仕上げについてのレポートを作成する。
7: 布を使ったアクセサリー(装飾の仕上)	装飾や仕上げについてまとめる 仕上げについてのレポートを作成する。
8: リボンを使ったアクセサリー(導入)	着彩デザインを描く準備をする。 製作に必要な材料を次回までに準備する。
9: リボンを使ったアクセサリー(ソータシエのデザイン計画)	製作工程についてまとめる ソータシエ部分のデザインをレポートにまとめる
10: リボンを使ったアクセサリー(アクセサリー全体のデザイン計画)	製作工程についてまとめる ソータシエを取り入れたアクセサリーのデザインをレポートにまとめる
11: リボンを使ったアクセサリーの製作①(ソータシエの技法で試作をつくる)	試作について考えをまとめておく 試作についてのレポートを作成する。
12: リボンを使ったアクセサリーの製作②(ビーズの配置を考える)	ビーズの配置を考えておく ビーズの配置をレポートにまとめる
13: リボンを使ったアクセサリーの製作③(製作工程を確認する)	製作工程について案をたてておく 製作工程をレポートにまとめる
14: リボンを使ったアクセサリーの製作④(製作する)	製作工程について確認しておく 製作工程をレポートにまとめる
15: 合評	各自の作品についてのプレゼンテーションをまとめておく 授業全体のレポートをファイルにまとめる

＊準備学習についての補足説明
市場調査の内容はプリントしてレポートに添付してください。 毎回30分程度の時間外学習が必要です。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

適宜プリントを配付します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題及びレポート80%　授業貢献度20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題のための材料は、基本的に各自で準備していただきます。(配布するものもあります)
提出課題とレポートにコメントでフィードバックする。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
ファッションデザインリサーチ	FA53207	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション造形フィールド		
尾畑　圭祐		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

衣服をデザインするうえで重要な情報収集と、それをデザインに転換させる為の方法を学ぶ授業である。
収集した情報を分析して様々な手法を用いてまとめたアイデアをもとにデザインを行い、完成度の高いポートフォリオを制作します。

Ⅲ. 学習成果

ファッションデザインに必要な情報収集能力、分析力、編集力、発想力を身につけることができる。
ポートフォリオの作成方法を身につけることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 導入・リサーチの目的と自分を知るためのブレーンストーミング パーソナルシートの作成	パーソナルシートの内容を整理しておく
2: テーマ、コンセプトを導く為のリサーチ①(情報収集) 図書館でのリサーチワーク	収集した情報をもとに、気になる情報を抜粋しておく
3: テーマ、コンセプトを導く為のリサーチ②(情報の編集とテーマ、コンセプトのテーマ) コンセプトシートの作成	自分のテーマ、コンセプトの概要をまとめておく
4:リサーチのまとめ方①(コンセプトにもとづく情報の追加リサーチ) 図書館でのリサーチワーク	リサーチした情報をジャンルごとに整理しておく
5: リサーチのまとめ方②(イメージの具現化) イメージボードの作成	イメージボードに使用する写真や画像を抽出しておく
6:リサーチのまとめ方③(リサーチの分析) 分析シートの作成	リサーチした情報をもとに追加収集しておく
7:立体表現でのリサーチ①(立体の表現方法と重要性) 布・紙等による立体物の製作①	製作する立体物のイメージやテクニックを整理しておく
8:立体表現でのリサーチ②(ボディー表現によるサンプルテスト) 布・紙等による立体物の製作②	製作した立体物の完成度を上げる作業をしておく
9: リサーチからデザインへ①(デザイン情報のリサーチ) デザイン分析シートの作成①	デザインのイメージソースを収集して整理しておく
10: リサーチからデザインへ②(デザインイメージの具現化) 人体コラージュの作成	人体コラージュの完成度を上げる作業をしておく
11: リサーチからデザインへ③(デザイン要素の分析) デザイン分析シートの作成②	デザインに取り入れるディテール情報を収集して整理して おく
12:デザインを伝える③(デザイン画の表現方法について) デザイン画(下書き)作成	デザイン画(下書き)の完成度を上げておく
13:デザインを伝える③(デザイン画の着色について) デザイン画着色作業	デザイン画(着色)の完成度を上げておく
14: ポートフォリオのレイアウトと構成 ポートフォリオの最終調整	今まで製作したものや情報を見直しておく
15:講評会・ポートフォリオのプレゼンテーション	プレゼンテーションの準備や練習をしておく

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと。内容については授業終了後に説明します。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出80%　学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

完成したポートフォリオに対してのフィードバックとして課題提出後に評価ポイントを記入して返却します。
時間内に終わらない課題は次の授業までに追いつくようにしてください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
ドレーピング演習Ⅱ	FA53208	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション造形フィールド		
坂元　美貴子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	◎
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

ドレーピングとは、ボディに(人台・ドレスフォーム)に布(シーチング)を当て、立体的に型紙を作る方法を言います。
この授業は、「ドレーピング演習Ⅰ」で習得した基本的な技法を応用して、さらに高度なドレーピングの技法を学びます。
また、後半では応用デザインとして有名デザイナーの服をドレーピングで製作します。

Ⅲ. 学習成果

ドレーピングにより、実際に縫製できるまでのパターンを完成させることができる。
立体的に服を見る目が養われている。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 導入　視覚養成のためのムラージュの習作(ボディの型抜き)	シーチングにアイロンをかけ基礎線を入れる
2: ムラージュの印付けと再度組み立て	ムラージュのドレーピングをノートにまとめる
3: ムラージュのトレースパターンの完成	シーチングにアイロンをかけ基礎線を入れる
4: ワンピース(パネルライン)のドレーピング	ワンピースのドレーピングをノートにまとめる
5: ワンピース(パネルライン)の印付けと再度組み立て	袖の作図をする
6: ワンピースの衿付けと袖付けを行いワンピースを完成させる	ワンピースのトレースパターンを完成させる ノートをまとめて提出する
7: テーラードジャケットのドレーピング(身頃)	シーチングにアイロンをかけ基礎線を入れる
8: テーラードジャケットの印付けと再度組み立て	テーラードジャケットのドレーピングをノートにまとめる
9: 2枚袖の作り方について	身頃のトレースパターンを作成する
10: テーラードジャケットに2枚袖を付けて完成させる	2枚袖のトレースパターンを作成する
11: マドレーヌヴィオネの作品研究 マドレーヌヴィオネの作品をドレーピングで作成する	シーチングにアイロンをかけて基礎線を入れる
12: マドレーヌビオネの作品のドレーピング	ドレーピングの方法をノートにまとめる
13: マドレーヌヴィオネの作品の印付けと再度組み立て	トレースパターンを作成する
14: デザイナーブランドの作品研究①	シーチングにアイロンをかけて基礎線を入れる
15: デザイナーブランドの作品研究②	最終ノート整理を行う

＊準備学習についての補足説明
シーチングのアイロン掛けは必ず行っておくこと。アイロン掛けや地直し、トレースパターン、ノート整理など毎回30分以上は行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない
教員作成の資料や師範作品を参考資料とする。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題作品(ノート提出物含む)　80%　　学習の意欲20%
準備学習ができていない場合は、学習意欲の評価の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

資料の再配布のはしないので紛失しないように保管すること。ノートやトレースパターンはコメントを添えて返却します。
授業の性質上、欠席をすると次の授業に支障をきたすので無断欠席はしないようにすること。病欠等で欠席した場合は必ず研究室に聞きに来ること
「実務経験教員科目」特記事項:アパレルメーカーでパタンナーとしての勤務経験あり。授業第1回から第15回まで現場で行っていたドレーピング技法を実習形式で行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
ファッションクリエート演習	FA53209	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	4単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション造形フィールド		
尾畑　圭祐		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	◎
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	◎
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

ファッション造形を学んだ学生の応用力を服製作に活かすことで、技術の向上、応用力、パターンの理解力を深めます。
デザイン提案したものを作品として完成させるために、素材選定、パターンへの展開、デザインと素材に合った縫製方法などを知識だけでなく
技術の向上を目指して、進めていきます。

Ⅲ. 学習成果

デザインからパターンへ展開、作品完成を通して選んだ素材に合った縫製工程や縫製方法を考え、完成させていく力を身につけることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 課題Ⅰ　ブラウス(薄物)　デザインを決定する	薄物として扱う素材を調べる。素材を探し購入する
2: パターン作成　　工業用パターンについて	参考になるパターンを調べる。
3: パターン完成、裁断(印付け)	工業用パターンの縫い代付けを確認しておく
4: 準備工程　芯裁断・接着・裁ち端の始末	素材に合った始末の方法を考えておく
5: 準備・縫製工程	縫製工程を決めておく
6: 縫製工程(身頃)	縫製工程を確認する。工程通りに進めておく
7: 縫製工程(身頃、衿)	縫製工程を確認する。工程通りに進めておく
8: 縫製工程(袖)	縫製工程を確認する。工程通りに進めておく
9: 縫製工程(仕上げ)	縫製工程を確認する。工程通りに進めておく
10: 作品完成　提出シート作成	提出シート準備
11: 課題Ⅱ　グループでテーマを決めオリジナル作品展開	グループでの話し合い
12: デザイン決定	テーマを決めておく
13: パターン作成(身頃)	パターン作成
14: パターン作成(衿、袖等)	パターンを完成する
15: 裁断	素材を購入しておく
16 準備工程　芯裁断等	作品完成までの工程を考える
17: 準備・仮縫い	仮縫いを進める
18: 仮縫い	グループで仮縫いを合わせる
19: 縫製工程(表地身頃縫い)	縫製工程を確認する。工程通りに進めておく
20: 縫製工程(表地衿縫い)	縫製工程を確認する。工程通りに進めておく
21: 縫製工程(表地見返し縫い)	縫製工程を確認する。工程通りに進めておく
22: 縫製工程(表地袖縫い)	縫製工程を確認する。工程通りに進めておく
23: 縫製工程(裏地パターン作成)	縫製工程を確認する。工程通りに進めておく
24: 縫製工程(裏地裁断)	縫製工程を確認する。工程通りに進めておく
25: 縫製工程(裏地身頃縫い)	縫製工程を確認する。工程通りに進めておく
26: 縫製工程(裏地袖縫い)	縫製工程を確認する。工程通りに進めておく
27: 縫製工程(裏地と表地付け)	縫製工程を確認する。工程通りに進めておく
28: 縫製工程 (仕上げ)	縫製工程を確認する。工程通りに進めておく
29: 完成	グループ作品としての完成を見合わせる
30: 合評	コーディネートを考え準備する

＊準備学習についての補足説明
1回の授業に対して30分程度の準備学習を行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布
文化ファッション体系の教科書

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題作品(80%)　提出シートを含むレポート(10%)　学習の意欲(10%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1年3・4期開講のファッション造形を修得した学生に限ります。
課題のフィードバックとして、合評を行う。また、提出課題は改善点や評価ポイント等を添えて返却をする。
各課題に必要な素材や付属品は各自準備する事が必要です。
提出期限厳守ですので、授業時間内に終えていない課題は次の授業までに追いつくように努力してください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
ドレス製作	FA53210	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	3単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション造形フィールド		
竹内　真由美		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	○
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

慶事日に装うドレスを製作する。
フォーマルドレスのシルエットや素材を学びオリジナルのドレスを製作する。

Ⅲ. 学習成果

さまざまなドレスの種類からシルエット(ライン)や素材が選べるようになります。
デザインに合ったパターン作成の知識が身に付きます。
繊細な素材の性質や縫製方法を習得することが出来ます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: デザイン及び素材、付属品決定、採寸	ドレスに合った表布や裏布、付属品を調べておく グループごとにデザインコンセプトを考えてまとめておく
2: パターン作成	パターン作成の手順や要点をまとめておく 表布、裏布、付属品の見本を準備しておく
3: トアルでの試着	トアルにパターンを写し仮縫いしつけ準備をしておく
4: パターン修正、(見返し、裏作成)	試着チェック箇所の修正手順をまとめておく 清書パターンの見直し、布ごとの用尺を算出しておく
5: (表地、裏地、芯地)裁断、芯貼	仮縫いしつけの手順や要点をまとめておく
6: 仮縫い	各素材の裁ち忘れが無いか確認しておく
7: 仮縫いチェック、補正、パターン修正	互いにサイズの確認をしあって測り直しておく 仮縫い補正の要点をまとめておく
8: 縫製(身頃)	身頃縫製の手順や要点をまとめておく
9: 縫製(見返し、裏付け)	見返しや付属品付けの手順を考えてまとめておく
10: 縫製(開きの始末)	縫いあがりの見直しをして修正箇所をまとめておく
11: 縫製(スカート)	スカート縫製の手順や要点をまとめておく
12: 縫製(コンシールファスナー付け)	いろんなファスナー付けについて調べてまとめておく
13: 縫製(裾始末)	縫いあがりの見直しをして修正箇所をまとめておく
14: 装飾製作	全体の仕上がりを見て装飾品を確認する
15: 最終チェック	作品のまとめ、ノート提出

＊準備学習についての補足説明
内容について詳しくは毎回の授業で説明します。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教員参考資料を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題作品　70%　　レポート　10%　　学習の意欲　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

「実務経験教員科目」特記事項:アパレルメーカーパタンナー勤務経験あり
授業第1回より第15回まで現場で行った事例を紹介している
現場で求められる手法を用いて授業を進める。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
デジタルパターン	FA53211	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション造形フィールド		
斉藤　朋子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	◎
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	◎
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	◎
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

デジタルファッションのソフトを用いて、アイテム別にシルエットを作成し、データをCADへ移行しパターン展開を行います。
シルエットを形成するためのデザイン線や構造線について、3Dから2Dへの展開でわかりやすく学び、CADを使用することで工業用の
完成パターン作成についても学びます。

Ⅲ. 学習成果

3Dシミュレーションで、パターンの着装状態の適合度を理解し、服の構造を理解できる。
アイテム別に基本型から応用型への展開方法を理解できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:デジタルパターンソフトDressingSimLSXの解説と基本操作 ワンピースシルエット作成	教科書「ワンピース編」で名称とシルエットを調べる
2:ワンピースの応用①　切替線を入れたワンピースシルエット作成 ワンピースシルエット作成	フリルの展開方法
3:ワンピースの応用② 縫製情報入力、シミュレーションソフトへの移行	工程を進めておく
4:ワンピース課題作成 課題レポート	縫製順序を考える
5:パンツの基礎　ストレートシルエット作成	教科書「パンツ編」で基本パンツのパターンを確認しておく
6:パンツ課題 CAD展開からシミュレーションへ移行	パンツの縫製工程を考える
7:パンツ課題 修正点	パンツの機能性から修正点を考える
8:パンツ課題完成 課題レポート	工程を進めておく
9:パンツに合うトップス(切り替え・袖つき) トップスのシルエット、袖のシルエット	セットインスリーブのパターンを理解しておく
10:トップス課題 CAD展開からシミュレーションへ移行	トップスのダーツ展開を理解しておく
11:トップス課題 素材情報の入力方法	素材データの材料を探す
12:重ねシミュレーション	工程を進めておく
13:トップス課題完成 最終課題のテーマ決め	課題レポートまとめ 2,019AWのトレンドを調べ津
14:最終課題	工程を進めておく
15:最終課題	

＊準備学習についての補足説明
30分程度行うこと。準備学習については毎回の授業で説明します。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教員作成資料配布
参考図書:文化ファッション体系スカート・パンツ・ワンピース

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題データ提出(60%)　最終課題(30%)　学習意欲(10%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

アパレルCAD履修者が望ましい。
USBメモリを準備してください
提出課題にコメントでフィードバックする

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
パターンメーキング検定演習Ⅱ	FA54202	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	体験フィールド		
斉藤　朋子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	◎
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	○

Ⅱ. 概要

パターンメーキング検定2級取得のための授業である。
一次試験(筆記)では4月上旬から6月の試験まで集中的に授業を行う。
二次試験(実技)対策は8月後半から9月の試験直前まで集中的に授業を行う。
尚、検定日が確定した後に詳しい日程を示す。

Ⅲ. 学習成果

パターンメーキング検定2級に合格することでパターンの応用力や工業用パターンの知識が身についている。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ＜一次試験(筆記)対策＞ ガイドブック　チャプター1(ガイダンスと検定の内容)についての講義	(予習)チャプター1のガイダンスと内容について読んでおく (復習)チャプター2の練習問題を解いておく
2: ガイドブック　チャプター2(理論試験)解説	(予習)チャプター2の練習問題を解いておく (復習)チャプター2の練習問題の見直し
3: ガイドブック　チャプター3(縮尺実技試験)解説	(予習)チャプター3の練習問題を解いておく (復習)チャプター3の練習問題の見直し
4: ガイドブック　チャプター4(ドレーピング実技試験)解説 ガイドブック　チャプター5(パターンメーキング実技試験)解説	(予習)チャプター3の練習問題を解いておく (復習)チャプター3の練習問題の見直し
5: 筆記試験対策問題①　解答と内容説明 理論問題	(予習)対策問題①対策問題を解いておく (復習)対策問題①で間違えた箇所を見直しておく
6: 筆記試験対策問題②　解答と内容説明 製図問題	(予習)対策問題②対策問題を解いておく (復習)対策問題②で間違えた箇所を見直しておく
7: 筆記試験対策問題③　解答と内容説明 工業用パターンメーキング	(予習)対策問題③対策問題を解いておく (復習)対策問題③で間違えた箇所を見直しておく
8: 筆記試験対策問題④　解答と内容説明 グレーディング	(予習)対策問題④対策問題を解いておく (復習)対策問題④で間違えた箇所を見直しておく
9: 筆記試験対策問題⑤　解答と内容説明 素材	(予習)対策問題⑤対策問題を解いておく (復習)対策問題⑤で間違えた箇所を見直しておく
10: 筆記試験対策問題⑥　解答と内容説明 骨格と筋肉	(予習)対策問題⑥対策問題を解いておく (復習)対策問題⑥で間違えた箇所を見直しておく
11: ＜二次試験(実技)対策＞ 実技試験対策問題①　パターンの作成、シーチング準備	(予習)パターンメーキング実技試験項目を読む (予習)パターンを1／2で作図する
12: 実技試験対策問題①　シーチング裁断、ピン打ち仕上げ	(予習)シーチングの準備まで終わらせておく (復習)実技試験対策問題①を終わらせておく
13: 実技試験対策問題②　パターンの作成、シーチング準備	(予習)シーチングの準備まで終わらせておく (予習)パターンを1／2で作図する
14: 実技試験対策問題②　シーチング裁断、ピン打ち仕上げ	(復習)実技試験対策問題②を終わらせておく
15: 実技試験対策問題のまとめ	(復習)実技試験対策問題①・②を見直しておく

＊準備学習についての補足説明
復習と時間外課題に1時間程度の学習時間が必要です
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

パターンメーキング技術検定試験2級ガイドブック、プリント配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

評価方法と評価基準は学科内規にもとずく
評価基準の詳細は検定ガイダンスで示す

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

筆記試験では1/2縮尺定規、トレーシングペーパーを各自で準備すること
実技試験ではシーチング、シルクピン、製図用紙を各自準備すること
「パターンメーキング技術検定3級」取得者のみ受講可能

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
企業研修	FA60106	開講時期:	通年		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	体験フィールド		
専任教員		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	○
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	◎

Ⅱ. 概要

アパレル企業の現場を視察研修することで、アパレル業界の仕事の流れや内容を理解し、学内では得られない知識を深めることを目的とする。また、美術館や特別展を見学し、ファッションを学ぶものとしての知識を広げる。

Ⅲ. 学習成果

アパレルメーカーの現場で商品企画から販売までのプロセスを知ることにより、学内の授業の理解を深める。
服作りに必要な副資材(芯地、裏地、ボタン、ファスナーなど)についての専門的な知識を学び、学内での実習に活かす。
美術館などの展示観覧を通してデザインの発想に活かす。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: 研修の概要の説明	研修先の概要について各自でノートにまとめる
2: 学生の組織編成	研修先についての調査を行う
3: 研修内容・レポート内容についての説明	研修先についての調査を行う
4: 研修前の指導 日程の確認 研修期間の服装や研修マナーについて	事前レポートの提出
5: 研修前の指導 注意事項の最終確認	出発前の準備を行う
6: 研修期間 (6講～14講) 7: 1、研修の概要 実施時期:9月中旬 2泊3日 8: 実施場所 東京 旅 程 事前研修にて説明 9: 授業形態 集中授業 2、研修内容(昨年度実績) 10: ①アパレルメーカー、素材に関する企業訪問 (株)ユミ・カツラインターナショナル 11: (株)レリアン (株)レモラファブリック 12: ②副資材メーカー三景株式会社による副資材講座 (研修場所:文化服装学園) 13: ③美術館・博物館の見学 (印刷博物館・アクセサリーミュージアム) 14: ④都内での自主研修	研修期間中はルールを守り行動すること 事後研修レポートのための準備をすること (ノート 写真 パンフレット 資料等の整理)
15: 事後研修 研修レポート提出についての説明	研修レポート提出

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成の資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

事前指導の参加及び事前の課題提出20% 事後のレポート70% 研修中の態度10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

確定参加者20名以上で実施する。
参加費用は旅行業者より提示
研修内容や訪問先は諸事情により、変更になることがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
インターンシップ	FA60107	開講時期:	通年		
		形態:	実習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	体験フィールド		
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	○
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	○

Ⅱ. 概要

学外の現場におけるデザイン企画、縫製技術、販売技術、生産管理等の専門分野に関わる業務等を学び、ファッションビジネスの考え方と現状を理解する。それと同時に自らの進路について考えるきっかけとなることを目的とする。

Ⅲ. 学習成果

様々な分野において専門知識を活かして社会人として自立するために必要なことは何かを知る。
実際の現場で体験することにより、将来の進路の方向性を見出すことができるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: インターンシップについての説明 職種別調査	インターンシップを体験したい職種の事前調査を行う
2: インターンシップ希望企業の調査	インターンシップ受入れ企業の事前調査を行う
3: アピールシート、履歴書の書き方、基本マナーの指導	インターンシップ受入れ企業の事前調査を行う
4: アピールシート、履歴書の書き方、基本マナーの指導	アピールシート、履歴書の作成
5: 書類作成、インターンシップでの注意事項の説明	アピールシート、履歴書の作成
6: 現場実習 実習時期 主に2月下旬～3月末 実習期間 1日8時間×4日間(21コマ) 体験内容 基本業務 企業でのマナー	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
7: 現場実習 実習時期 主に2月下旬～3月末 実習期間 1日8時間×4日間(21コマ) 体験内容 基本業務 企業でのマナー	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
8: 現場実習 実習時期 主に2月下旬～3月末 実習期間 1日8時間×4日間(21コマ) 体験内容 基本業務 企業でのマナー	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
9: 現場実習 実習時期 主に2月下旬～3月末 実習期間 1日8時間×4日間(21コマ) 体験内容 基本業務 企業でのマナー	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
10: 現場実習 実習時期 主に2月下旬～3月末 実習期間 1日8時間×4日間(21コマ) 体験内容 基本業務 企業でのマナー	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
11: 現場実習 実習時期 主に2月下旬～3月末 実習期間 1日8時間×4日間(21コマ) 体験内容 基本業務 企業でのマナー	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
12: インターンシップ終了後の報告会	実習レポートをまとめる
13: 企業へのお礼状作成について	企業へのお礼状の作成
14: 企業へのお礼状作成について	実習レポートの作成
15: まとめ 実習レポート提出	

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない
資料はプリントで配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

レポート80% 提出物10% 事前・事後指導での学習の意欲10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

事前事後の研修を必ず受けること
現場での実習は企業でのマナーを守って、礼儀正しい態度で臨むこと
作成書類についてはコメントでフィードバックします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
デジタルモデリング演習	FA50113	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	デザインフィールド		
杉森　孝		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	○
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	◎
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

3Dソフトウェア(スカルプトリス)の基本的な操作方法の技術を身につけ
オリジナルのキャラクターのデザインとそのファッションデザインを行い、
スカルプトリスによるモデリングまでを行う。

Ⅲ. 学習成果

① 3Dソフトウェアの基本的な操作技術を身につける。
② オリジナルキャラクターのデザイン手法とモデリングの方法を知る

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:スカルプトリスの基本操作とツールについて学ぶ	スカルプトリスについて参考作品等で予習しておく
2:球体状のキャラクターをモチーフにしたモデリング① ソフトウェアのツールの機能を知る	球体に近い既存のキャラクターを3体選択しておく 各ツールの使い方について予習
3:球体に近いキャラクターをモチーフにしたモデリング② ソフトウェアのツールのサブメニューについて知る	ツールの操作についてノートに整理しておく
4:球体に近いキャラクターをモチーフにしたモデリング③ 細部の作り込み方とツールのサイズについて知る	モデリングの完成作業と提出
5:2頭身のキャラクターをモチーフにしたモデリング① 腕や足の引き出し方について知る	2頭身に近いキャラクターを既存のキャラクターから選んでおく。
6:2頭身のキャラクターをモチーフにしたモデリング② 手足の作り込み	手足のデッサンの見直し
7:4頭身のキャラクターをモチーフにしたモデリング③ 胴体の作り方	4頭身のキャラクターの資料収集
9:4頭身のキャラクターをモチーフにしたモデリング④ 頭部の形の調整方法	頭部のモデリングを完成させる
9:4頭身のキャラクターをモチーフにしたモデリング⑤ 全体の調整・完成	モデリングで気づいたことをノートに整理
10:オリジナルデザインのキャラクターをモデリング① キャラクターのデザイン　ラフスケッチ～スタイル画下書き	キャラクターデザインのための資料を収集しておく
11:オリジナルデザインのキャラクターをモデリング② キャラクタースタイル画完成	スタイル画の完成と提出準備
12:オリジナルデザインのキャラクターをモデリング③ 全身の大まかなモデリング	モデリングの計画を立てておく
13:オリジナルデザインのキャラクターをモデリング④ 手足の作り込み	全身のモデリングの調整
14:オリジナルデザインのキャラクターをモデリング⑤ 細部の作り込み	頭部デザインの細部を計画
15:オリジナルデザインのキャラクターをモデリング⑥ 全体の調整	モデリングの完成と提出

＊準備学習についての補足説明
　準備学習は毎回30分以上行うこと。また内容や要領については必要に応じて説明する。
　単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

必要に応じて資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

授業での提出課題の点数(90%)　学習の意欲(10%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

アニメーション演習の授業と連動して進めていく
USBメモリー(2GB以上)が必要。また可能なら2本用意することが望ましい(バックアップのために)
課題作品は採点し必要なアドバイスとコメントを口頭で行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
アニメーション演習	FA50114	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	デザインフィールド		
亀井　哲治		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	◎
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

映像知識やアニメーションの作画、専門ソフトの扱いなど、アニメーション制作の基礎を学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

表現するための様々な知識と技能を身につけ、専用ソフトを使ってアニメーションムービーを制作できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: アニメーションとは　授業の流れと使用ソフトウェアの説明	アニメーション制作における役割や手段を理解する
2: 絵コンテについて①　絵コンテの読み方、描き方、カメラアングルの役割について	実際の映像作品を観ながら、カメラアングルの効果などを確認してみる
3: 絵コンテについて②　プロット(あらすじ)から絵コンテを描いてみる	絵コンテやカメラアングルについての解説を読み返しておく
4: ソフトウェアの基本操作①(stylos)　瞬きのアニメーション	作画ソフトの扱い方をノートにまとめておく
5: ソフトウェアの基本操作②(paintman)　回転のアニメーション	作画方法の違いを理解し、彩色ソフトの扱いを覚える
6: ソフトウェアの基本操作③(core retas)ボールのメタモルフォーゼ	自由な発想の元にアニメーションを描いてみる　編集ソフトの扱いを覚える
7: 歩行のアニメーション制作①　キャラクターデザインの制作	テーマに合わせたキャラクターデザインを考える
8: 歩行のアニメーション制作②　歩行のアニメーションの作画	歩くモーションの観察と研究
9: 歩行のアニメーション制作③　歩行時に起こる様々な動きの表現	服のしわや揺れ方、空気感の観察と表現
10: 歩行のアニメーション制作④　明暗にあわせた彩色	照明による明暗のつき方を研究しておく
11: 各テーマに合わせた楽曲制作	どのような曲でキャラクターを歩かせたいか、イメージを固めておく
12: ムービー用背景の制作	舞台となるステージデザインの具体的なイメージを持っておく
13: ムービー用カットの制作	キャラクターデザインの特徴を魅力的に伝えるアングルやカット割りを考える
14: アニメーションムービーの制作①	絵コンテを見返しつつ、映像全体の流れを把握しておく
15: アニメーションムービーの制作②・鑑賞　プレゼンテーションと講評	制作したアニメーションについて各自でプレゼンテーション 鑑賞後、講評を行う

＊準備学習についての補足説明

日常的に放送されているアニメーションをコマ送りしたり、色の塗り分けなど「制作するイメージ」を持って鑑賞する(30分程度)
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない　教員作成資料を必要に応じて配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題作品評価(60%)　学習の意欲(40%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

日常的な「動き」に興味を持ち、観察することを心がける
アイデアスケッチや、ソフトウェアの使用方法を記入できるスケッチブック　データ保存用のUSBフラッシュメモリを準備

提出された制作物は個別に講評を行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
ファッション広告演習	FA50215	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	デザインフィールド		
杉森　孝		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	○
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	◎
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

ファッション雑誌の表紙及び広告のデザインのための必要な知識と技術の習得を通して
ファッションのメディアについての理解を深める。

Ⅲ. 学習成果

ファッション雑誌の表紙及び広告のデザインに必要な知識とイラストレーター及びフォトショップによる
フィニッシュワークのための技術を身につける

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:広告デザインの仕事と役割	・広告デザインの分野で使われる専門用語について調査 ・ファッションに関わる広告について資料を収集しておく。
2:ファッション広告デザインの実際	・既存のファッション広告を収集しておく
3:文字についての知識とスペーシング	・タイプフェイスの異なる文字の資料収集 ・スペーシングの作業の残りを進めておく
4:絵画やポスターの構図に学ぶレイアウトの種類と方法	・既存の絵画やポスターの資料を収集しておく ・レイアウトの種類や方法についてノートにまとめておく
5:実際にあるポスターや広告の分析① 画面分析の種類	・既存のポスターを資料として収集する ・画面分析の種類についてノートに整理しておく
6:実際にあるポスターや広告の分析② 画面分析の手順	・画面分析の作業を進める
7:実際にあるポスターや広告の分析③ 分析結果の整理	・画面分析の作業を進める
8:実際にあるポスターや広告の分析④ 分析結果のまとめ	・分析結果のまとめを完成させる
9:自分のブランドを設定した広告デザイン① ブランド名の決定とオリジナルのロゴマーク・ロゴタイプのデザイン	・オリジナルブランドの名前のラフ ・既存の企業のロゴマーク・ロゴタイプを収集
10:自分のブランドを設定した広告デザイン② ダイレクトメールのデザイン	・ダイレクトメールの構成案のラフスケッチ ・既存の企業のダイレクトメール資料を収集
11:自分のブランドを設定した広告デザイン③ ポスターのデザインラフスケッチ	・ポスターの構成案のラフスケッチ ・既存ポスター資料の収集
12:自分のブランドを設定した広告デザイン④ ポスターのデザインフィニッシュワーク	・ポスター制作のPCでの作業を進める
13:自分のブランドを設定した広告デザイン⑤ 雑誌の表紙のデザイン　ラフスケッチ	・雑誌のデザインについて分析するために必要な資料を収集 ・雑誌表紙のレイアウト案ラフスケッチ
14自分のブランドを設定した広告デザイン⑥ 雑誌の表紙のデザイン制作	・雑誌表紙のための写真撮影など各エレメントを揃える
15:自分のブランドを設定した広告デザイン⑦ 雑誌の表紙のデザイン制作～完成	・途中経過のチェックを受け、修正箇所を修正する。

＊準備学習についての補足説明
　準備学習は毎回30分以上行うこと、内容や要領については必要に応じて説明する。
　単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

必要に応じてその都度配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

授業での提出課題の得点　90%　　学習の意欲　10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出された課題作品は採点し短いコメントとともに返却する
USBメモリが必要。可能であれば2本用意すると良い(1本はバックアップ用)

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
メンズファッション論	FA51110	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッションビジネスフィールド		
秦　寛史		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

民族や宗教で衣文化が異なるように、男女の性差によっても衣文化は異なります。
この授業では、メンズファッションを「ミリタリー」「ワーク」「ユニフォーム」「フォーマル」の4つのカテゴリーに分類し、
起源や特徴、またウィメンズファッションへの影響について学びます。

Ⅲ. 学習成果

1、メンズのアイテムをカテゴリーに分けることができる
2、カテゴリー毎の起源、歴史、特徴を説明できる
3、メンズファッションがウィメンズファッションへ与えた影響を説明できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: メンズファッションとウィメンズファッション 生活習慣や性差がファッションへ与える影響について	男女の装いの違いをまとめておく
2: ミリタリーウエア1 その歴史と代表的なアイテムについて	ミリタリーとは何か、調べておく
3: ミリタリーウエア2 仕様、ディテールについて	身の回りのファッションにあるミリタリーウエアの要素を調べる
4: ミリタリーウエア3 素材について	コラージュのための画像を集める
5: ミリタリーウエア4 ミリタリーウエアの特徴をコラージュにして発表	コラージュのための画像を集める
6: ワークウエア1 その歴史と代表的なアイテムについて	ワークウエアとは何か、調べておく
7: ワークウエア2 仕様、ディテール、素材について	身の回りのファッションにあるワークウエアの要素を調べる
8: ワークウエア3 ワークウエアの特徴をコラージュにして発表	コラージュのための画像を集める
9: ユニフォーム1 その歴史と代表的なアイテムについて	ユニフォームにはどのようなものがあるか、調べておく
10: ユニフォーム2 仕様、ディテール、素材について	身の回りのファッションにあるユニフォームの要素を調べる
11: ユニフォーム3 ユニフォームの特徴をコラージュにして発表	コラージュのための画像を集める
12: フォーマルウエア1 その歴史と代表的なアイテムについて	フォーマルウエアとは何か、調べておく
13: フォーマルウエア2 仕様、ディテール、素材について	身の回りのファッションにあるフォーマルウエアの要素を調べる
14: フォーマルウエア3 ドレスコードについて	日本で用いられるドレスコードをノートにまとめる
15: メンズファッションの今 メンズファッションの現在とこれから	現在のメンズファッションのトレンドを調べる

＊準備学習についての補足説明
各回45分程度必要
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。必要に応じて実物を用いて授業を行います。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

提出物50%、単位認定試験50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出物は採点、講評のうえ返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
メディアと映像	FA51211	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッションビジネスフィールド		
有馬　厚子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

情報社会でのコミュニケーションのありかたが重要視され、生活の中でも多くのメディア(情報媒体)が利用されている。コミュニケーションをより効果的にとるには、どの様な媒体を利用するのが良いのだろうか。講義では、テレビ・映像・音楽・映画・イベントなどのコンテンツをwebやSNSなどを利用し、成果を上げている事例を分析・考察する。毎回視聴する映像から、情報をどの様に受け止めて、自分の成長や仕事に取り入れていくのかを考え、自分の意見としてまとめる。 毎回アフターラニングシート(数個の設問に自分の考えを)に記入する。

Ⅲ. 学習成果

メディア毎の特性を知り、コミュニケーション力を高めると同時に、社会生活での情報選択に理解を深め、自分の考えをまとめて　表現できるスキルを獲得する。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:「ガイダンス」 講義のねらいと進め方・ルールを説明する。 コミュニケーションとは何か。興味あるアーティストの事をリサーチする。	当日のニュースをチェックしておく(各回30分−1時間程度行うこと) アフターラニングシートにレポート記入　(毎回7−10分程度)
2:　コミュニケーションにおけるメディアの多様化について 「未来のコミュニケーション」	未来のコミュニケーションを想像してみる。 アフターラニングシートにレポート記入
3: メディアから見る新流通を考察する。 「中国のSNS情報]	eコマスを利用した中国社会から考える。 アフターラニングシートにレポート記入
4:　先端技術とファッションの未来を考察する 「ファッションとデジタル化」	メディア利用の現状 アフターラニングシートにレポート記入
5: ルミエール兄弟から現代の映像作家まで 「画像・動画・映画の始まりと歩み」	映像の表現力とメディアの選択 アフターラニングシートにレポート記入
6:　広告メディアの歴史を考察する。 「CFの誕生・CFの歩み」	好きなCMをもう一度見て　分析してみる。 アフターラニングシートにレポート記入
7:　家族をテーマにした両国の映画を見て考える。 「日韓の映画」というメディアが伝えるもの。	好きな映画と映画監督を調べてみる。 アフターラニングシートにレポート記入
8:　主張するメディアとアートする映像 「メディアアートとデジタルアート」 アートとテクノロジーの融合で生まれる映像	調査しPP発表の準備をする。 アフターラニングシートにレポート記入
9:「伝統と革新」リアルな役者とCGテクノロジーの融合の考察 「伝統芸能とCGキャラクターの競演」	ニコニコ動画を調べてみる。 アフターラニングシートにレポート記入
10:　情報の送り手と受け手(情報を得る＆資金を集める)方法の選択肢 「サブスクリプションとクラウドファンディングの考察　」	情報を発信する立場と受け取る立場の両方を考えてみる。 アフターラニングシートにレポート記入
11: 歌い手とユーチューバーをテーマに考える。 「ソーシャルメディア時代の音楽と映像」	音楽と映像の関係性をチェック。 アフターラニングシートにレポート記入
12: メディア戦略で世界の舞台へ 映像とSNSを活用し「見る音楽」で言葉の壁を超えるアイドルグループの考察	アイドルグループのSNSをチェック。 アフターラニングシートにレポート記入
13: ソーシャルメディア時代の注目JOBを考えてみる 「ユーチューバー:プロゲーマー」の世界	各自でリサーチしてみよう。 アフターラニングシートにレポート記入
14:　SNS利用で気を付ける事 「SNS時代の光と影」	メリット＆デメリットを考え、自分なりの傾向と対策を。 アフターラニングシートにレポート記入
15:　メディアと映像を自在に使って仕事をするには、著作権の知識が必須。 「著作権についての考察」	ビジネス上で守らなければいけない著作権のこと。 アフターラニングシートにレポート記入

＊準備学習についての補足説明
講義最後に次回のテーマについて紹介するので関連情報をチェックする。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

参考番組や参考図書は随時紹介する。必要に応じて資料配布する。
参考図書:「コミュニケーションデザイン」2016電通　岸勇希著、「2030年の世界地図」2019年SBクリエイティブ　落合陽一著
「つながりの創り方」2019年川上昌直著(東洋経済)「2050年のメディア」2019年下山進著(文芸春秋)
「K−POP新感覚のメディア」2018年Kim Sungmin著(岩波書店)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

(毎回のアフターラニング・シートの設問に自分の考えを記述し、提出する)50%　・　試験30%　・　受講意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

「実務経験教員科目」特記事項:「日本広告学会」「日本映像学会」「芸術工学会」「ファッションビジネス学会」会員、 映像制作の実務経験は30年。
「メディアと映像」の講義では、事例を多くピックアップし、ジャンルを超えて　広い視野で総合的に考えます。
皆さんが興味をもった内容をきっかけとして、各自で情報のリサーチをして知識を深める事をお勧めします。
毎回の出席を前提とします。　提出物は試験前にまとめて返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
ショップマネジメント	FA51212	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッションビジネスフィールド		
秦　寛史		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

ショップマネジメントとは、ショップの運営管理や、経営を意味します。
しかし、ひと口にショップといっても、実にたくさんの形態があります。
この授業では、まず「ショップ」について理解し、そしてショップを運営するにあたって必要な「商品」「消費者」「コスト」の理解と管理を中心に学びます。

Ⅲ. 学習成果

1、ファッションビジネスにおける「ショップ」の種類や役割を説明できる。
2、消費者の世代区分を理解し、ショップのターゲット設定を考えることができる。
3、商品MDの考え方を説明できる。
4、売上管理、コスト管理の係数計算ができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション ショップマネジメントとはなにか。学ぶ目的について。	普段どんなショップで買い物をしているか、まとめておく
2: ショップ形態の変遷　1 戦後～80年代までの変遷	戦後以降の日本のファッションの特徴についてまとめる
3: ショップ形態の変遷　2 90年代～現在までの変遷	高度成長期以降の日本のファッションの特徴についてまとめる
4: 店舗販売形態の分類と特徴　1 有店舗販売にはどのようなものがあるか1(百貨店、チェーンストア)	最近どんな店舗で買い物をしたか、まとめておく
5: 店舗販売形態の分類と特徴　2 有店舗販売にはどのようなものがあるか2(ファッションビル、専門店)	有店舗販売の特徴についてまとめる
6: 店舗販売形態の分類と特徴　3 無店舗販売にはどのようなものがあるか	無店舗販売の特徴についてまとめる
7: 販売形態の変化	販売形態にはどのようなものがあるか、特徴をまとめる
8: 消費者分類1 世代ごとの消費特性と人口1(戦後～バブル期の世代)	世代毎の価値観の特徴をまとめる
9: 消費者分類2 世代ごとの消費特性と人口2(バブル以降～現在まで)	世代毎の価値観の特徴をまとめる
10: プレゼンテーション グループワークで、ターゲット層に合わせたショップコンセプトを立て、プレゼンをする	ショップコンセプトについて調べておく
11: 商品仕入1 適切な商品とは	配布資料を読んでおく
12: 商品仕入2 気候や行事にあわせた商品計画	配布資料を読んでおく
13: 商品仕入れ3 取引形態について	取引形態のメリットとデメリットをまとめる
14: 係数と計算1 仕入れに必要な計算	係数計算ができるように理解しておく
15: 係数と計算2 ショップ経営に必要な計算	係数計算ができるように理解しておく

＊準備学習についての補足説明
各回30分程度必要
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。適時資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

提出物30%、単位認定試験70%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出物は全てコメントをつけて返却します。
「実務経験教員科目」特記事項:アパレルの「販売、仕入れ、商品企画、デザイン、経営」の実務経験を活かし、今の市場、現場に則した実践的な知識を習得できる授業を行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
インテリア生活	FA52111	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	生活スタイリングフィールド		
河野　洋子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	○
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

インテリアコーディネートに必要な基礎知識を学び、商業空間(特に服飾販売空間)の家具のレイアウトや色彩計画・視線計画について学んでいく。

Ⅲ. 学習成果

1.インテリアの基礎資料である人体寸法と空間の関係が理解できる
2.家具のレイアウトを的確に行うことができる
3.目的に応じたインテリアイメージを提案できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション(図面について)	図面の種類を理解し、自分のへやのPLANを描く
2:人間工学(人体寸法とインテリア)	人の大きさと家具の大きさの関係を調べる
3:動線について	室内での人の動きを調べる
4:カラースキーム	色の3要素についてまとめる
5:イメージボードの作成①(3LDK住宅に家具を配置する)	部屋の機能と人の動きについてまとめ、必要な家具のリストを作成する
6:イメージボードの作成②(インテリアイメージを決めて家具を選ぶ)	イメージワードと家具のデザインの関係をまとめる
7:イメージボードの作成③(発表)	わかりやすい言葉で発表をする
8:飲食店の家具レイアウト①(動線・家具の種類)	客と店員の動きの違いをまとめる
9:飲食店の家具レイアウト②(視線の誘導)	色と感じ方の関係をまとめる
10:イメージボードの作成①(飲食店の家具を選ぶ)	飲食店に必要な家具の種類と機能についてまとめる
11:イメージボードの作成②(飲食店　発表)	他の人の作品と自分の作品の違いをまとめる
12:物販店の家具レイアウト	売り物の大きさとディスプレイの方法、什器の関係をまとめる
13:イメージボードの作成①(物販店の家具レイアウトとカラースキーム)	さまざまな物販店の例を調べる
14:イメージボードの作成②(物販店　室内パースを描く)	パースグリッドを使って自分の部屋のパースを描いてみる
15:物販店のイメージボード発表	他の人のイメージボードについてまとめる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回30分以上行うこと。授業時に説明を行う
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。必要に応じて教員が作成した資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題の提出(70%)、学習の意欲(30%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出された課題は授業の中で取り上げ、コメントを行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
キッズ製作	FA52112	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	生活スタイリングフィールド		
宮﨑　千草		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	◎
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	○
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

乳幼児期の玩具は成長過程に合わせたものが重要となる。乳幼児期の玩具を調査しオリジナルのものを製作する。
幼児期、児童期の体型を考慮したデザインを考え、子供服に適した装飾等を取り入れオリジナルの服を製作する。

Ⅲ. 学習成果

乳幼児期の成長過程に合う玩具について理解し、身につけることが出来る。
子供の体型の特徴を理解し、着心地や機能性を考慮した子供服を作ることで、素材、縫製方法、縫製手順が身に付く。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

	授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:	●乳幼児期の手作り玩具　手作りおもちゃ計画	おもちゃ市場調査の結果をまとめる、材料収集
2:	デザイン決め、製作	型紙の考案、材料切抜き、縫製工程計画
3:	製作①	縫製工程計画
4:	製作②	縫製要点や注意点をまとめる
5:	仕上げ、合評	レポートまとめ、次回作品の市場調査と材料収集
6:	●幼児期パンツ(パターン使用)　パンツの説明、布裁断	プリントによる縫製順序確認
7:	製作(ポケット付け、脇縫い、股下縫い)	プリントによる縫製手順の確認
8:	股ぐり縫い、ウエスト始末	プリントによる縫製手順の確認
9:	ゴムテープ通し、裾縫い　仕上げ	次回作品の市場調査とまとめ
10:	●幼児期ワンピースドレス(パターン使用)　デザイン決め、パターン修正	デザイン画案作成
11:	裁断	布地によるパターン配置計画をまとめる
12:	印し付け、縫い代始末	縫製計画表作成、理解点をまとめる
13:	肩縫い、襟作り、襟付け	襟付け縫製方法の種類をまとめる
14:	切り替え縫い合わせ、袖作り、袖付け	袖作りの種類をまとめる
15:	仕上げ、合評	レポートまとめ

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと。内容について毎回の授業で説明します。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

参考文献提示、教員作成資料配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題作品70%　レポート20%　学習意欲10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題作品に対して受講者全員で評価し、担当者は作品についてコメントします。
提出日を厳守してください。
授業時間内の予定に達しない場合は次回時間までに終了させる努力をしてください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
生活コーディネート演習	FA52113	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	生活スタイリングフィールド		
河村　章子		履修要件他:			
石井　康子		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

この授業はオムニバスで行い、効果的なスタイルとして形作る事を多方面から学ぶ授業です。インテリアをコーディネートする授業として家とは違うホテルの心地よさが生まれる理由をインテリア、しつらえという視点から学び、暮らし方に応用します。実際にプランニングボードにMy Hotel roomプランを作成します。ラッピングでは、包む品物に合ったペーパーの大きさの決め方、基本の包み方、リボンワーク、包材の種類とその特性を活かしたラッピング方法と応用法を修得します。最後に制限や限界の中でイメージしたものに近付ける構成力を表現するボディワークを行います。生活の中に自然を取り入れる効用や季節の行事、テーブルコーディネートなどを学習します。

Ⅲ. 学習成果

プランニング力を付け、それをビジュアルプレゼンテーションができる力がつきます。
様々な場面において、的確にスタイルとして表現できる考え方が身につきます。
暮らしに役立つ植物の効用やインテリアとしての植物の基礎知識が習得できます。
季節の行事やテーブルコーディネートの基礎が習得できます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ラッピング　包むスタイリングを学ぶ　1～7　担当:河村 プランニング	ファッション雑誌や店頭のディスプレイを観察し 創作作品のテーマを模索しておく
2: ラッピング基礎1	包装の3パターンを意識し身近な包装を観察する
3: ラッピング基礎2	さまざまな形状のものを包装し応用する
4: リボンワーク	素材や配色、バランス等を服飾や雑貨からイメージして取り入れる
5: ディスプレイ基礎	包材の市場調査や雑貨選びのためのワードローブの確認を行う
6: 創作	コンセプトをもとにフォーカスポイントとなる物を意識し配置する
7: プレゼンテーション・意見交換	スライドや動画等、ツールを模索する
8:季節を表現するテーブルコーディネート　　8～15　担当:石井	テーブルコーディネートの歴史、文化、銀器、食器などを学習する
9:作品作り:テーブルに飾るハートアレンジ	テーマ、コンセプトを考え作品を作りプレゼンテーションをする
10:フラワーギフトの贈り方	花の贈り方の基礎知識をワークで確認する
11:作品作り:ハーバリウム	テーマ、コンセプトを考え作品を作りプレゼンテーションする
12:お正月について 作品作り:しめ縄	伝統的な日本の行事を調べる
13:ファッションフロアでの効果的なグリーンについて ボタニカルアートについて、鑑賞	商業施設内でのグリーンを調べる
14:テーブルコーディネートのナプキンの折り方	ナプキンの折り方を練習する
15:ハートのアレンジやハーバリウム、ナプキンを使い各自でテーブルを作る テーブルに込める表現方法について	テーブルに込めた想いをプレゼンテーションする

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については詳しくは毎回の授業で説明します。8回～10回は授業の順序が変わる可能性があります。
予習に関しては事前にお知らせします。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教員作成資料配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

(河村)　表現力　40%　　技術力　　40%　　学習の意欲　20%
(石井)　レポート 40%　　作品制作 40%　　学習の意欲　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

2講座それぞれの授業回数に3／4以上出席すること(満たない場合は、その講座は0点になります)一部の講座において、材料を購入準備する必要があります。
授業中の私語、スマートフォンの使用は減点の対象とします。この授業は、オムニバスのため追再試験は行いません。

課題にはコメントをフィードバックし、ディスプレイ作品はクラス内で鑑賞し意見交換します。
制作作品はテーマ、コンセプトの発表をするのでプレゼンテーション力が身につきます。(石井)

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
ファッションアート	FA52114	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	生活スタイリングフィールド		
彌永　裕子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	○
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	◎
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

布や糸、繊維のさまざまな表現の可能性を見つけ、アイデアの着想方法から、作品へ形にしていくプロセスを学ぶ。既存の価値観を問い直しファッションやアートの領域を行き来しながら探究し作品を制作する。

Ⅲ. 学習成果

アート、ファッションの違いや、共通するもの、自分のクリエーションとは何かを考えながら新い表現技法や発想方法を学ぶ。
作品を自分の言葉でプレゼンテーションする力や、他の作品へのコメントを通して言語化して使える力を身につける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション アート、ファッションの作品に触れる、知る	(復習) 気になった作品や、考え方についてリサーチ
2: 課題①　ファイバーアート 繊維素材を使った作品作り。リサーチ、試作	(予習) 素材を集める (復習) 試作
3: 課題①　ファイバーアート 繊維素材を使った作品作り。アートピースの制作	(予習) 試作 (復習) 制作
4: 課題① ファイバーアート 繊維素材を使った作品作り。アートピースの制作	(予習) 制作 (復習) 制作
5: 課題① ファイバーアート 仕上げ、プレゼンテーション	(予習) 仕上げ、プレゼンテーション準備 (復習) 講評の記録
6: 課題②ファッションとアート ファッションとは何か？のリサーチ、イメージ、素材を集める	(予習) 素材を集める、リサーチ (復習) アイデア出し
7: 課題②ファッションとアート アイデアを考える、デザイン画、作品のイメージ制作	(予習) アイデア出し (復習) 再検討とアイデアをビジュアルにまとめる
8: 課題②ファッションとアート アイデア、イメージボードにまとめる	(予習) イメージボードにまとめる (復習) 修正や再検討
9: 課題②ファッションとアート 作品のプレゼンテーション	(予習) プレゼンテーション準備 (復習) 講評の記録
10: 課題③ 着るアート テーマを設定して装うことのできる作品の制作、リサーチ	(予習) リサーチ、テーマを考える (復習) デザイン画、アイデアスケッチ等を作る
11: 課題③着るアート リサーチ、試作	(予習) 試作、材料集め 復習) 試作
12: 課題③ 着るアート 試作、デザイン画の作成	(予習) 試作 (復習) 本制作を進める
13: 課題③ 着るアート 制作	本制作を進める
14: 課題③ 着るアート 制作	本制作を進める
15: 課題③ 着るアート 仕上げ、プレゼンテーション、講評	(予習) 仕上げ、プレゼンテーション準備 (復習) 講評の記録

＊準備学習についての補足説明

準備学習は毎回30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

必要に応じてプリントを配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

授業での提出課題の得点　90%　学習の意欲　10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

美術館などにも足を運び、いろいろな作品、考え方に触れておく。
課題のフィードバックとして、合評を行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
パターンメーキングⅡ	FA53212	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション造形フィールド		
竹内　真由美		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	○
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	◎
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	○
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	◎
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

アイテムごとの原型を平面で展開するというパターンメーキングの基本的理論と立体作図法を学びます。

Ⅲ. 学習成果

さまざまなデザイン画をパターン展開できる力を修得することができます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ダーツの移動、分散による展開方法	人体の骨格や筋肉の付き方をまとめておく
2: プリンセスラインOP作図	プリンセスラインの切り替え線について調べてまとめておく
3: プリンセス身頃トアル組み立て、チェック	パターンの見直しをし、トアルの準備をしておく
4: カフス付きパフスリーブ作図	テーパードやパフスリーブ等袖の種類を調べてまとめておく
5: フラットカラー作図 袖、衿トアル組み立て、チェック	シャツやフラットカラー等衿の種類を調べてまとめておく パターンの見直しをし、トアルの準備をしておく
6: 3面体テーラードJK作図	JKの3面体と4面体の違いを調べてまとめておく
7: テーラーカラー作図	ラペルとテーラーカラーの関係を調べてまとめておく
8: 3面体テーラードJKトアル組み立て、チェック	パターンの見直しをし、トアルの準備をしておく
9: 二枚袖作図 トアル組み立て、チェック	一枚袖と二枚袖の違いを調べてまとめておく
10: パンツ原型作図	人体学から足の構造に付いてまとめておく
11: パンツ原型トアル組み立て、チェック	パターンの見直しをし、トアルの準備をしておく
12: ストレートパンツ作図	ストレート、スリム、ワイドパンツのシルエットの違いを調べておく
13: ストレートパンツトアル組み立て、チェック	パターンの見直しをし、トアルの準備をしておく
14: ラグラン袖パターンメーキング　トアル組み立て、チェック	デザインライン(切り替え線)に付いて調べておく
15: まとめ	それぞれの作品を合評する

＊準備学習についての補足説明
内容について詳しくは毎回の授業で説明します。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教員作成資料を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題作品　50%　　試験作品　30%　　学習の意欲　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題ごとに提出されたパターンには個別にコメントを行います。
「実務経験教員科目」特記事項:アパレルメーカーパタンナー勤務経験あり
授業第1回より第15回まで現場で行った事例を紹介している
現場で求められる手法を用いて授業を進める。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
パターンメーキング検定演習Ⅰ	FA54101	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	体験フィールド		
角谷　由加里		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2　ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	◎
DP3　服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	◎
DP4　ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5　ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6　修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7　専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

9月下旬から12月上旬の検定試験まで集中的に授業を行う。(授業の日程は、検定日が確定したあとに詳細を示す。)
パターンメーキングの授業のスキルアップにつながる科目である。
授業の日程は、検定日が確定したあとに詳細を示す。

Ⅲ. 学習成果

パターンメーキング技術検定3級に合格する力を身につける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 筆記試験対策① ガイドブック　チャプター1(ガイダンス)、2(検定内容)の講義	(課題)過去問題①を解き、わからない点をまとめておく
2: 筆記試験対策②　過去問題①の解説 ガイドブック　チャプター3(既製服の概念)、4(ファーストパターンメーキング)の講義	(課題)過去問題②を解き、わからない点をまとめておく
3: 筆記試験対策③　過去問題②の解説 ガイドブック　チャプター5(工業用パターンメーキング)、6(グレーディング)の講義	(課題)過去問題③を解き、わからない点をまとめておく
4: 筆記試験対策④　過去問題③の解説、ガイドブック　チャプター7(素材)の講義	(課題)過去問題④⑤を解き、わからない点をまとめておく
5: 筆記試験対策⑤　過去問題④⑤の解説 実技試験対策①　デザイン1/内容説明、製図手順確認	(復習)製図の手順を覚える
6: 実技試験対策②　デザイン1/製図、ファーストパターン作成	(復習)製図からファーストパターン作成までの方法を復習する
7: 実技試験対策③　デザイン1/シーチング地直し、トワル組立準備	(予習)服飾造形の基礎P131を読んで地直しの方法を確認しておく
8: 実技試験対策④　デザイン1/トワル組立	(復習)製図～組立までの方法を復習する
9: 実技試験対策⑤　デザイン2/内容説明、製図手順確認、製図	(復習)製図の手順を覚える
10: 実技試験対策⑥　デザイン2/製図、ファーストパターン作成、トワル組立準備	(予習)シーチングの地直しをする。製図と組立の手順や寸法を確認する。
11: 実技試験対策⑦　デザイン2/トワル組立	(予習)シーチングの裁断まで終わらせておく (復習)製図～組立までの方法を復習する
12: 実技試験対策⑧　デザイン1/製図、ファーストパターン作成、トワル組立準備	(予習)シーチングの地直しをする。製図と組立の手順や寸法を確認する。
13: 実技試験対策⑨　デザイン1/トワル組立	(復習)製図～組立までの方法を復習する
14: 実技試験対策⑩　デザイン2/製図、ファーストパターン作成、トワル組立準備	(予習)シーチングの地直しをする。製図や組立の手順や寸法を確認する。
15: 実技試験対策⑪　デザイン2/トワル組立	(復習)製図～組立までの方法を復習する

＊準備学習についての補足説明
各回30分程度の準備学習を行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

パターンメーキング技術検定試験3級ガイドブック
配布資料

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定受検／60%　課題提出／30%　学習意欲／10%
評価基準の詳細は検定ガイダンスで示す

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題は、改善点等の添えて返却する。
試験に必要な備品は各自で準備すること。
この科目は「パターンの理解」と「パターンメーキングⅠ」を履修済みであることが望ましい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ファッション総合学科	学年:	2年
海外研修	FA60105	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	体験フィールド		
専任教員		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。	○
DP2 ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。	
DP3 服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。	
DP4 ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。	
DP5 ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。	
DP6 修得した知識や技術を総合的に活用することができる。	○
DP7 専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力を有している。	

Ⅱ. 概要

ファッションを取り巻く現代と過去の文化や歴史に触れ、質の高い製品作りを体感できるヨーロッパでの研修を目的としています。
イタリアの都市ミラノ・ヴェネツィア・フィレンツェ・ローマにおいてファッションの異文化に触れることで日本や学校では学べない知識や見聞を広めます。

Ⅲ. 学習成果

ヨーロッパの文化や歴史に触れ、知識や見聞を広げ新しい考え方を身につけます。
団体行動を通して、人間力、協調性、コミュニケーション能力を身に付けます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
Ⅰ 研修計画の概要(予定) 研修実施国:イタリア(ローマ・ヴェネツィア・フィレンツェ・ミラノ) 研修内容 各都市での歴史や文化探訪 ミラノ:ドゥオーモ見学 ヴェネツィア:サンマルコ大聖堂、アカデミア美術館見学 フィレンツェ:ファッション関係美術館見学、皮革製品工場見学 ローマ:ファッション専門学校研修 各都市でのグループ研修 ※詳細は、5月に予定している説明会でお知らせします	説明会後の予定 6月 参加申し込み締め切り 7月 参加者説明会(旅行社) 9月 履修登録、パスポートコピー提出、保険等書類提出他 10月 参加者説明会(旅行会社) 11月 参加者説明会(旅行会社)
Ⅱ 指導内容	
1: 授業の内容説明、研修個人テーマ設定	研修場所について調べる
2: 最終日程について、荷物の計画、グループテーマ	グループ研修の場所を調べる
3: 個人テーマ、グループ研修設定	研修場所を調べ、個人テーマについて考える
4: グループ研修決定	研修場所の交通機関や訪問先などを調べる
5: 学科長より海外研修について	研修計画を決定し、自分の荷物等を把握しておく
6: 最終説明会(旅行社)	外貨交換のためのレートを調べる。
7: 海外研修期間(8日間)	レポートをまとめる為の記録を取っておく
8: 〃	〃
9: 〃	〃
10: 〃	〃
11: 〃	〃
12: 〃	〃
13: 〃	〃
14: 〃	〃
15: 研修レポート作成について、アンケート ※決められた日時にレポートを提出すること	レポートを作成する

＊準備学習についての補足説明
個人・グループのテーマ設定においてイタリアの都市を充分に調べる為の時間(1週間に1時間程度)を取ること。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

研修先に関するガイドブックは各自または各グループで準備すること。
その他必要な資料は配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

現地研修の参加 55% レポート 35% 研修に対する学習意欲 10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

現地では決められたルールを守り、グループで行動を共にしてください。
研修参加後、レポート未提出の場合、単位は修得できません。

テクニカル専攻科

科目名	科目ナンバリング	学科:	テクニカル専攻科	学年:	1年
セコンダリーセミナー Ⅰ	TA10101	開講時期:	前期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	必修		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1	
DP2	
DP3	
DP4	
DP5	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

テクニカル専攻科終了後の進路や将来の人生設計に向かって積極的に行動するとともに、社会人となるための
コミュニケーション力、チームワーク力、社会人基礎力を養う。またファッションのプロとして通用する力を養う。

Ⅲ. 学習成果

社会人基礎力が身につき、進路に向けて積極的に行動することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 学科賞表彰式　表彰式後、HRにて履修登録確認　前期目標計画	計画表作成　企業の研究をしておく
2: 進路指導①　企業のリストアップ、履歴書記入チェック 就職希望状況調査　小テスト①	小テスト①の予習　履歴書記入のための準備をしておく(下書き)
3: 進路指導②　就職活動で必要な就職マナー(外部講師)	外部講師の資料を読んでおく
4: 香蘭祭ミーティング①　企画の立案 進路指導③　小テスト②	香蘭祭の企画について考えておく 小テスト②の予習をしておく
5: 体育大会企画　企画について 進路指導④　小テスト③	体育大会の企画を考えておく 小テスト③の予習をしておく
6: 学修ポートフォリオ　履修科目の振り返り(前半) 小テスト④	学修ポートフォリオを進めておく(前半部分) 小テスト④の予習をしておく
7: 進路指導⑤ 小テスト⑤	小テスト⑤の予習をしておく
8: 進路指導⑥ 小テスト⑥	就職活動のレポートを完成させておく 小テスト⑥の予習をしておく
9: 香蘭祭ミーティング②　内容のブラッシュアップ 小テスト⑦	香蘭祭の企画を進めておく 小テスト⑦の予習をしておく
10: 履修指導①　修了制作について	修了制作のコンセプトを考えておく
11: 香蘭祭ミーティング③　企画書作成	香蘭祭の企画書をまとめておく
12: 教育講演会	レポートを完成させておく
13: 履修指導②　後期履修指導 小テスト⑧	後期の履修計画を立てておく 小テスト⑧の予習をしておく
14: 学修ポートフォリオ　履修科目の振り返り(後半)	学修ポートフォリオを進めておく
15: 夏期休暇中計画 (修了制作計画も含む)	設定した目標の達成度を振り返る

＊準備学習についての補足説明
小テストの範囲は事前にプリントを配布します。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

小テストの内容に準じたテキストを使用する
その他必要な資料は配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

授業貢献度60%　小テスト30%　レポート(教育後援会・外部講師の講演)10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業内容は外部講師により一部変更になることがある。
提出課題にコメントとつけてフィードバックを行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	テクニカル専攻科	学年:	1年
企業とのプロジェクト企画	TA20202	開講時期:	通年		
		形態:	演習	単位:	4単位
		履修方法:	必修		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1	
DP2	
DP3	
DP4	
DP5	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業は、企画・生産・販売などの専門分野に関して、企業とプロジェクトを組み、実際に仕事を行っていく。
その中で企業の仕組みや専門職の仕事内容についての理解を深める。
個人で企業の一員として仕事をする場合と、何人かのグループでプロジェクトを組んで仕事をする場合とがある。

Ⅲ. 学習成果

学内では学べない知識や見聞を広げることができる。
プロとの仕事を体験することにより、プロとして働くことはどんなことかを理解する。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: 導入 企業とのプロジェクト企画の内容説明	事前にプロジェクト企画の実施企業の調査を行うこと。
2: ①履修時期 前期に2単位、後期に2単位履修するか、前期のみ又は後期のみで	
3: 4単位履修してもよい	
4: ②内容(過去の事例の一部) 通信販売会社とのプロジェクト…商品企画からHPアップまでの業務	
5: 百貨店と企業とのプロジェクト…百貨店での販売計画と商品作り 保育園とのプロジェクト…保育士用エプロンの製作	
6: アパレルメーカーとのプロジェクト…パタンナー業務 企業の一員として勤務する場合や、空き時間を使って学内で作業をする	
7: こともある	
8: ③その他の注意点 事前事後の研修を必ず受けること	
9: 日程・時間・仕事内容については、企業と打ち合わせを十分に行うこと	
10: ④報告書の提出 毎日の仕事内容や進捗状況の報告書を記入すること	報告書と最終レポートの提出
11: 企業で仕事をする場合は企業担当者の印をもらうこと	
12: ※内容は講義回数とは関係なく行われます。	
13:	
14:	
15:	

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

必要に応じて資料を配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

実施体験70%　報告書の提出30%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

企業の一員として仕事をする,その場合は、企業の就業規則を守ること。
時間厳守、あいさつ等、社会人としての基本的なマナーを守ること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	テクニカル専攻科	学年:	1年
課題研究A	TA20203	開講時期:	前期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1	
DP2	
DP3	
DP4	
DP5	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

テクニカル専攻科の授業科目以外で、2年間では学べなかった科目や、より深めたい科目を選択し
その中から研究課題を見つけ、研究をしていく科目である。その研究部門の専任教員を指名し指導してもらうことができる。

Ⅲ. 学習成果

研究課題をまとめポートフォリオを作成し、就職活動に活かすことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 導入	
2: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
3: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
4: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
5: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
6: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
7: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
8: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
9: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
10: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
11: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
12: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
13: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
14: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
15: 研究レポートまたは作品の提出	

＊準備学習についての補足説明

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書や配布資料等は指導教員の指示に従う

Ⅵ. 評価方法と評価基準

評価方法と評価基準は、指導教員の指示に従う

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

研究課題が決定したら、担当教員より15回の授業内容を作成し配布します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	テクニカル専攻科	学年:	1年
クリエート企画演習	TA30101	開講時期:	前期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	選択		
担当者		免許・資格など			
尾畑　圭祐		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1	
DP2	
DP3	
DP4	
DP5	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

デザイン発想の核である「何を表現するのか？」＝「コンセプト」を服装史や建築など、視覚情報からの発想である“VISIBLE”と感覚的や思想など、目には見えない対象からの発想である“UNVISIBLE”(造語)の発想方法により導き出し、リサーチや実験を通してイメージを具現化するプロセスを学習してクリエーティブなデザイン企画を行う。

Ⅲ. 学習成果

各々の感性を衣服デザインに落としこむ手法を学習し、企画立案からポートフォリオの作成、プレゼンテーション、コンテストのためのコンセプト設定など完成度の高い企画提案をすることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:課題Ⅰ　自己分析によるデザイン企画　　導入、課題の概要 パーソナルシート作成(自分を知る)	(復習)パーソナルシートを完成させておく
2:ブレーンストーミングによる発想の連鎖とプレゼンテーション	(復習)ブレーンストーミングを完成させておく
3:コンセプトに関する情報収集	(復習)収集した情報をまとめておく
4:コンセプトコラージュの作成	(復習)コラージュを完成させておく
5:リサーチで得たコンセプトの分析	(復習)コンセプトの分析を仕上げておく
6:テストサンプルによる具現化	(復習)テストサンプルを仕上げておく
7:シーチングによるイメージテスト	(復習)シーチングの形だしをしを完成させておく
8:デザインバリエーション	(復習)デザイン画を仕上げておく
9:ポートフォリオの編集作業とプレゼンテーション(合評)	(予習)合評の準備をしておく
10:形の表現 パターン作成①	(復習)パターン50%まで仕上げておく
11:パターン作成②	(復習)パターンを完成させておく
12:シーチング組み立て(ピン仕上げ)	(復習)シーチング組み立て(ピン打ち)を仕上げておく
13パターン修正及びシーチング組み立て(縫い仕上げ)①	(復習)シーチング組み立て50%まで仕上げておく
14:シーチング組み立て(縫い仕上げ)②	(復習)シーチング組み立てを完成させておく
15:企画プレゼンテーション(合評)	(予習)合評の準備をしておく

＊準備学習についての補足説明

1回の授業に対して30分程度の準備学習を行うこと。

単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリント配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題　70%　　合評　20%　　学習の意欲10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題のフィードバックとして、合評を行う。また、提出課題は改善点や評価ポイント等を添えて返却をする。

提出期限厳守ですので、授業時間内に終えていない課題は次の授業までに追いつくように努力してください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	テクニカル専攻科	学年:	1年
テクニカル造形実習	TA30202	開講時期:	前期		
		形態:	実習	単位:	2単位
		履修方法:	必修		
担当者		免許・資格など			
坂元　美貴子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1	
DP2	
DP3	
DP4	
DP5	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

テクニカル専攻科では，2年間の学びにプラスしたワンランク上の服作りを目指す。そのための一つの方法として、デザイナーズコレクション
の中から、デザインとパターンテクニックを研究し、それらのパターンを応用発展させ各自の作品を完成させる。
さらにこの授業で学んだ技術を後期からの修了制作に繋げていく。コレクションのデザイン選びは習熟度別に検討する。

Ⅲ. 学習成果

雑誌等のコレクションの作品を見て、パターンを読み取ることが出来るようになる。
ファッション業界で通用するレベルの縫製仕様書が書けるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 導入　原型について　企業原型(スローパ)と文化式原型の違いについて	採寸の準備
2: 個人の採寸と原型作成(自分の体型を知る)	個人原型の作図を完成させる
3: 個人原型の作図	原型のシーチングの組み立てを行う
4: 個人原型のフィッテイングと修正	デザイナーのコレクションの中から製作するデザインを決定しておく
5: 課題Ⅰ.ワンピースの作成(デザイン決定からパターン作成にはいる)	平図を完成させておく
6: ワンピースのパターン作成(本体)	パターン作成を進める
7: ワンピースのパターン作成(本体)	パターン作成を進める
8: ワンピースのパターン作成(袖・衿パターン作成)	パターン作成を進める
9: ワンピースのパターン作成(裏地パター作成)	パターン作成を進める
10: 行程分析表の作成・裁断・準備工程(接着芯貼り・ノッチ・ロック)	パターン作成を進める
11: 表身頃の縫製	空き時間や自宅での縫製を行う
12: 表身頃の縫製	空き時間や自宅での縫製を行う
13: 表身頃の縫製	空き時間や自宅での縫製を行う
14: 裏地の縫製	空き時間や自宅での縫製を行う
15: ワンピースの完成	空き時間や自宅での縫製を行う
16: 平図と縫製仕様書の作成　合評	デザイナーのコレクションの中から製作するデザインを決定しておく
17: 課題.Ⅱジャケットの作成(デザイン決定からパターン作成にはいる)	平図を完成させておく
18: ジャケットのパターン作成(本体)	パターン作成を進める
19: ジャケットのパターン作成(本体)	パターン作成を進める
20: 2枚袖のパターン作成　裏地パターンの作成	パターン作成を進める
21: ジャケットのパターン完成(縫い代つけ)	パターン作成を進める
22: 行程分析表の作成・裁断・準備工程(接着芯張り・ノッチ・ロック)	パターン作成を進める
23: 行程分析表の作成・裁断・準備工程(接着芯張り・ノッチ・ロック)	パターン作成を進める
24: 表身頃の縫製	空き時間や自宅での縫製を行う
25: 表身頃の縫製	空き時間や自宅での縫製を行う
26: 表身頃の縫製、衿、袖の縫製	空き時間や自宅での縫製を行う
27: 表身頃の縫製、裏地の縫製	空き時間や自宅での縫製を行う
28: 表身頃の縫製、	空き時間や自宅での縫製を行う
29: ジャケットの完成、提出　平図と縫製仕様書の作成	空き時間や自宅での縫製を行う
30: 完成、合評	完成作品の仕上げをしておく

＊準備学習についての補足説明
準備学習は30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明します。授業時間内で作業が遅れた場合は必ず次回までに進めておくこと

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成の資料を配布する。
「近藤れん子の婦人造形理論とパターン」の中から必要と思われる資料をコピーして配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題作品70%　行程分析表および縫製仕様書20%　学習の意欲10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題作品は提出期限を守って下さい。遅れた場合は減点とします。縫製について問題があれば返却時に説明をします。
「実務経験教員科目」特記事項:アパレルメーカーでデザイナー兼パタンナーとしての実務経験あり。特に第16回目と第29回目の平図と縫製仕様書の
作成は、現場で行っていた方法を実践する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	テクニカル専攻科	学年:	1年
コーディネート演習	TA31201	開講時期:	前期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	選択		
担当者		免許・資格など			
岡田　絵梨奈		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1	
DP2	
DP3	
DP4	
DP5	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

目的・条件に適したトータルなコーディネートテクニックのための知識を基礎から応用までを、実践演習をまじえながら学びます。
歴史的なファッション分析の演習を通して、現代のトレンドやハイファッション、ストリートファッションなどあらゆるジャンルの
デザインを観察・分析し、コーディネートがもたらす今後のファッションの可能性について考察します。

Ⅲ. 学習成果

コーディネートのために必要な基礎知識、コーディネートテクニックの応用、コミュニケーションを含む表現力を習得することを目標とします。
これからのファッション業界で求められるコーディネートとは何か、ファッションを取り巻く時代性やアートなど多面的なアプローチを通して
コーディネートの技術を習得します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション ・コーディネートの必要性	シラバスを読んでおくこと
2: 時代とファッション① ・年代別ファッショントレンド1920年・1930年　・プレゼンテーション	年代別のコーディネートをまとめる コーディネートの実践と発表の準備
3: 時代とファッション② ・年代別ファッショントレンド1940年・1950年　・プレゼンテーション	年代別のコーディネートをまとめる コーディネートの実践と発表の準備
4: 時代とファッション③ ・年代別ファッショントレンド1960年・1970年　・プレゼンテーション	年代別のコーディネートをまとめる コーディネートの実践と発表の準備
5: 時代とファッション④ ・年代別ファッショントレンド1980年・1990年以降　・プレゼンテーション	年代別のコーディネートをまとめる コーディネートの実践と発表の準備
6: ファッションのTPO ・装いのマナーと素材やデザインの違い	男性と女性のフォーマルウェアのコラージュを作成
7: 絵画から見るファッション ・アートから読み解くファッションコーディネート	課題の絵画のファッションについて調査する
8: トレンドのコーディネート分析 ・雑誌やWeb情報から時代を読む	トレンドのコーディネートの特徴を調査し、まとめる
9: アクセサリーコーディネート ・素材やボリュームの組み合わせ　・コーディネートのグループワーク	アクセサリーの分類とコーディネート実践
10: コーディネート提案① ・テーマの設定とコーディネート企画	テーマに合わせた資料を集める
11: コーディネート提案② ・スタイリングの実践　発表	テーマに合わせたコーディネートを実践
12: コーディネート提案③ ・撮影	撮影で使用する小物などを準備する
13: コーディネート提案④ ・Illustratorで提案シートを作成	Illustratorを使用し、文章とレイアウトを考える
14: アートとファッション ・美術館やギャラリーでセンスを磨く　・フィールドワーク	課外授業 課題レポート作成
15: 発表とまとめ ・これからの時代が求めるコーディネートとは　・プレゼンテーション	発表の準備 提出物の確認

＊準備学習についての補足説明
課題プリントや調査など30分以上の準備学習が必要となります
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書はありませんが、毎回テキストプリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出物(50%)、実技評価(30%)、受講態度(10%)、学習の意欲(10%)
※ 原則として評価対象の課題は全て提出すること。また、提出の際は規定のファイル形式で提出すること。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

ファッション雑誌を使用して課題を作成しますので、切り取りのできるファッション雑誌、のり、はさみ等が必要です
また、全ての課題については返却時に個別にフィードバックを実施いたします。

「実務経験教員科目」特記事項:スタイリスト経験を活用し、コーディネートにおける共通言語の重要性を実践を通じて深めていきます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	テクニカル専攻科	学年:	1年
パターン演習	TA33101	開講時期:	前期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	選択		
担当者		免許・資格など			
竹内　真由美		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1	
DP2	
DP3	
DP4	
DP5	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

アイテムごとのスローパーを原型から展開するという、アパレル業界で行われているパターンメーキングのテクニックを学び
産業パターン作りに必要な技術を身に付ける。

Ⅲ. 学習成果

人体の動きに基づいた布の動き、ゆとり、バランスを立体的に分析するアパレル業界の現場に即したパターン力を修得出来ます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 身頃、腰、首、腕原型作成(身体の立体的な構造を知る)	人体の骨格や筋肉の付き方をまとめておく
2: オリジナルジャケット作成(シルエットの変化)	グループごとにリサーチをしジャケットのデザインを調べておく
3: プリンセスラインからパネルラインへの変化	プリンセスラインとパネルラインの違いを調べてまとめておく
4: 衿、袖のバリエーション	衿や袖の種類を調べてまとめておく
5: トアルチェック、パターン修正	パターンの見直しをし、トアルの準備をしておく
6: オリジナルワンピース作成(シルエットの変化)	グループごとにリサーチをしワンピースのデザインを調べておく
7: ストレートラインからドレープラインへの変化	シルエットの種類を調べてまとめておく
8: トアルチェック、パターン修正	パターンの見直しをし、トアルの準備をしておく
9: オリジナルコート作成(シルエットの変化)	グループごとにリサーチをしコートのデザインを調べておく
10: シェイプラインからボックスラインへの変化	コートに多い衿と袖の種類を調べてまとめておく
11: 二枚袖からラグランスリーブへの変化	二枚袖とラグランスリーブの違いを調べてまとめておく
12: トアルチェック、パターン修正	パターンの見直しをし、トアルの準備をしておく
13: オリジナルスカート作成(タイトラインからフレアーラインへの変化)	グループごとにリサーチをしスカートのデザインを調べておく
14: トアルチェック、パターン修正	パターンの見直しをし、トアルの準備をしておく
15: まとめ	それぞれの作品を合評する

＊準備学習についての補足説明
内容について詳しくは毎回の授業で説明します。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教員参考資料を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題作品　50%　　試験作品　30%　　学習の意欲　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

デザイン画は雑誌の持ち込みでも良い。スマホの写真はプリントアウトしておくこと。
「実務経験教員科目」特記事項:アパレルメーカーパタンナー勤務経験あり
授業第1回より第15回まで現場で行った事例を紹介している
現場で求められる手法を用いて授業を進める。

科目名	科目ナンバリング	学科:	テクニカル専攻科	学年:	1年
インターンシップA	TA34101	開講時期:	前期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1	
DP2	
DP3	
DP4	
DP5	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学外の現場におけるデザイン企画、縫製技術、販売技術、生産管理等の専門分野に関わる業務等を学び、ファッションビジネスの考え方と現状を理解する。それと同時に自らの進路について考えるきっかけとなることを目的とする。

Ⅲ. 学習成果

様々な分野において専門知識を活かして社会人として自立するために必要なことは何かを知る。
実際の現場で体験することにより、将来の進路の方向性を見出すことができるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: インターンシップについての説明 職種別調査	インターンシップを体験したい職種の事前調査を行う
2: インターンシップ希望企業の調査	インターンシップ受入れ企業の事前調査を行う
3: アピールシート、履歴書の書き方、基本マナーの指導	アピールシート、履歴書の作成
4: アピールシート、履歴書の書き方、基本マナーの指導	アピールシート、履歴書の作成
5: 書類作成、インターンシップでの注意事項の説明	
6: 現場実習　実習時期　主に2月下旬～3月末	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
7: 現場実習　実習期間　1日8時間×4日間(21コマ)	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
8: 現場実習　体験内容　基本業務　企業でのマナー	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
9: 現場実習	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
10: 現場実習	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
11: 現場実習	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
12: インターンシップ終了後の報告会	
13: 企業へのお礼状作成について	企業へのお礼状の作成
14: 実習レポート作成について	実習レポートの作成
15: まとめ　実習レポート提出	

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない
資料はプリントで配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

レポート80%　提出物10%　事前・事後指導での学習の意欲10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

事前事後の研修を必ず受けること

科目名	科目ナンバリング	学科:	テクニカル専攻科	学年:	1年
学外学修	TA34103	開講時期:	通年		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1	
DP2	
DP3	
DP4	
DP5	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

アパレル企業の現場を視察研修することで、アパレル業界の仕事の流れや内容を理解し、学内では得られない
知識を深めることを目的とする。また、美術館や特別展を見学し、ファッションを学ぶものとしての知識を広げる。

Ⅲ. 学習成果

アパレルメーカーの現場で商品企画から販売までのプロセスを知ることにより、学内の授業の理解を深める。
服作りに必要な副資材(芯地、裏地、ボタン、ファスナーなど)についての専門的な知識を学び、学内での実習に活かす。
美術館などの展示観覧を通してデザインの発想に活かす。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: 研修の概要の説明	研修先の概要について各自でノートにまとめる
2: 学生の組織編成	研修先についての調査を行う
3: 研修内容・レポート内容についての説明	研修先についての調査を行う
4: 研修前の指導 日程の確認 研修期間の服装や研修マナーについて	事前レポートの提出
5: 研修前の指導 注意事項の最終確認	出発前の準備を行う
6: 研修期間 (6講～14講) 7: 1、研修の概要 実施時期:9月中旬 2泊3日 8: 実施場所 東京 旅 程 事前研修にて説明 9: 授業形態 集中授業 2、研修内容(昨年度実績) 10: ①アパレルメーカー、素材に関する企業訪問 (株)ユミ・カツラインターナショナル 11: (株)レリアン (株)レモラファブリック 12: ②副資材メーカー三景株式会社による副資材講座 (研修場所:文化服装学園) 13: ③美術館・博物館の見学 (印刷博物館・アクセサリーミュージアム) 14: ④都内での自主研修	研修期間中はルールを守り行動すること 事後研修レポートのための準備をすること (ノート 写真 パンフレット 資料等の整理)
15: 事後研修 研修レポート提出についての説明	研修レポート提出及びプレゼンテーション

＊準備学習についての補足説明

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成の資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

事前指導の参加及び事前の課題提出20%　事後のレポート及びプレゼンテーション70%　研修中の態度10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

確定参加者20名以上で実施する。(ファッション総合学科の学生との合計)
参加費用は旅行業者より提示
研修内容や訪問先は諸事情により、変更になることがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	テクニカル専攻科	学年:	1年
セコンダリーセミナーⅡ	TA10102	開講時期:	後期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	必修		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1	
DP2	
DP3	
DP4	
DP5	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

テクニカル専攻科終了後の進路や将来の人生設計に向かって積極的に行動するとともに、社会人となるための
コミュニケーション力、チームワーク力、社会人基礎力を養う。またファッションのプロとして通用する力を養う。

Ⅲ. 学習成果

社会人基礎力が身につき、進路に向けて積極的に行動することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 全体集会　全体集会後、HRにて履修登録確認　後期目標と計画	後期の目標を立てる　履修時間と単位の確認
2: 報告書作成　企業とのプロジェクト企画報告書作成	小テスト①の予習 企業とのプロジェクト企画報告会の準備をしておく
3: 報告会　企業とのプロジェクト企画報告会	小テスト②の予習　報告書をまとめておく
4: 課題計画1　修了小冊子作りの計画	小テスト③の予習　紙面企画を考えておく
5: 課題計画2　修了小冊子作りの計画表作成	小テスト④の予習　計画表を完成させておく
6: 学修ポートフォリオ　履修科目の振り返り(前半)	小テスト⑤の予習　学修ポートフォリオを進めておく(前半部分)
7: 学科賞表彰式　表彰式後香蘭祭反省会(グループワーク)	小テスト⑥の予習　レポートを完成させておく
8: 課題制作1　修了小冊子作り　画像、文章入力作業	小テスト⑦の予習　画像、文章入力を完成させておく
9: 教育講演会Ⅱ　外部講師	レポート完成と提出
10: 課題制作2　修了小冊子作り　紙面たたき台完成	小テスト⑧の予習　たたき台を完成させておく
11: 課題制作3　修了小冊子作り　紙面レイアウト調整	小テスト⑨の予習　紙面レイアウトを完成させておく
12: 就職支援①　社会人基礎知識②社会人になるための心構え (外部講師)	レポート完成と提出
13: 課題制作4　修了小冊子作り　紙面修正と完成	レポート完成と提出　小冊子を完成させておく(入稿)
14: 学修ポートフォリオ　履修科目の振り返り(後半)	小テスト⑩の予習　学修ポートフォリオを進めておく
15: 1年間の反省 1年間の反省と社会人に向けて(グループワーク)	目標に向けての振り返り

＊準備学習についての補足説明
小テスト10回は予習が必要となる。修了小冊子作りは時間外での作業が必要となる。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

小テストの内容に準じたテキストを使用する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

授業貢献度60%・小テスト30%・レポート10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

学科行事、学校行事クラス企画内容により、時間外の学修時間が必要となる場合がある。
提出課題にコメントとつけてフィードバックを行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	テクニカル専攻科	学年:	1年
修了制作	TA20201	開講時期:	後期		
		形態:	演習	単位:	4単位
		履修方法:	必修		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
尾畑　圭祐		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1	
DP2	
DP3	
DP4	
DP5	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

各自がテーマを設定してその調査研究を行う。それらを基にデザインを決定しテクニカル専攻科1年間の集大成となる作品を完成させる。
完成した作品はテクニカル専攻科の修了製作として学外で発表する。
この授業は、前期の「クリエート企画演習」と連動して授業を行う。

Ⅲ. 学習成果

各自のテーマについて研究および課題制作に取り組み、その過程を通してプレゼンテーション力、デザイン力、被服構成の技術が身についている。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 各自のテーマ設定	テーマ設定のための調査
2: 各自のテーマ設定	作品完成までの計画表提出
3: 調査研究の資料収集	調査研究の資料作成のための授業時間外での調査
4: 調査研究の資料収集	調査研究の資料作成のための授業時間外での調査
5: 調査研究の資料収集	調査研究の資料作成のための授業時間外での調査
6: 調査研究の資料収集	調査研究の資料作成のための授業時間外での調査
7: 具体的なデザイン決めと試作品の制作	試作品の作成
8: 具体的なデザイン決めと試作品の制作	試作品の作成
9: 具体的なデザイン決めと試作品の制作	デザイン画を描く
10: 具体的なデザイン決めと試作品の制作	デザイン画を描く
11: パターン作成(身頃)	パターン作成
12: パターン作成(見頃とその他のパーツ)	パターン作成
13: パターン完成	パターン作成
14: シーチングでの組み立て	シーチングのアイロンかけ(地直し)
15: シーチング作品の完成	シーチング審査会の準備　テーマと研究課題のプレゼンの準備
16: パターン修正と縫い代つけ	パターン作成
17: 本生地の裁断	パターン作成
18: 芯貼り　印しつけ　仮縫い	パターン作成
19: 縫製	空き時間や自宅での制作
20: 縫製	空き時間や自宅での制作
21: 縫製	空き時間や自宅での制作
22: 縫製	空き時間や自宅での制作
23: 縫製	空き時間や自宅での制作
24: 縫製	空き時間や自宅での制作
25: 縫製	空き時間や自宅での制作
26: 縫製	空き時間や自宅での制作
27: 縫製	空き時間や自宅での制作
28: 本体作品完成	空き時間や自宅での制作
29: コーディネート小物の制作や装飾	レポート作成
30: コーディネート小物の制作や装飾　作品完成	レポート作成

＊準備学習についての補足説明

①10月下旬頃にテーマと研究課題発表及び試作品が出来る様に、準備学習を十分に行っておくこと(30分程度の準備学習を行う事)②後半はアドバイス会や審査会の期日に合わせて、空き時間を使って制作を進めること(各自の進度にあわせた時間が必要となる)　単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

調査研究のための資料が必要となる

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学科教員の作品評価70%　レポート20%　学習の意欲10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

テーマ設定の資料は「クリエート企画演習」の授業の中で完成させておくこと
パターンや縫製については、各自の進度に応じてチェック日を設け、指導を行う
作品は1人2点以上制作する。(一人3点が望ましい)
中間アドバイス会、本体審査会は2年生の卒業制作と同じ時期に行う

科目名	科目ナンバリング	学科:	テクニカル専攻科	学年:	1年
課題研究B	TA20204	開講時期:	後期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1	
DP2	
DP3	
DP4	
DP5	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

テクニカル専攻科の授業科目以外で、2年間では学べなかった科目や、より深めたい科目を選択し
その中から研究課題を見つけ、研究をしていく科目である。その研究部門の専任教員を指名し指導してもらうことができる。

Ⅲ. 学習成果

研究課題をまとめポートフォリオを作成し、就職活動に活かすことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 導入	
2: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
3: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
4: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
5: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
6: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
7: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
8: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
9: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
10: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
11: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
12: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
13: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
14: 研究課題を決定し、専任教員と相談をして15回の授業内容の計画を立てる	準備学習(予習・復習)の計画を立てる
15: 研究レポートまたは作品の提出	

＊準備学習についての補足説明
指導教員の指示に従うこと
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書や配布資料等は指導教員の指示に従う

Ⅵ. 評価方法と評価基準

評価方法と評価基準は、指導教員の指示に従う

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

研究課題が決定したら、担当教員より15回の授業内容を作成し配布します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	テクニカル専攻科	学年:	1年
ファッションビジネスと商品分析 TA31102		開講時期:	前期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
岡田　絵梨奈		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1	
DP2	
DP3	
DP4	
DP5	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ファッションデザインとファッションビジネスは、いつの時代も表裏一体となって進化しています。
市場商品を幅広くリサーチする力を身につけるために、レディースウェア以外のアパレル商品にも視野を広げ
多様化するファッションデザインと、その販売方法やサービスを含むファッションビジネスについて学びます。

Ⅲ. 学習成果

多様化する商品の見識を深め、商品展開やサービスなど多角的に調査する技術を習得します。
商品とファッションビジネスを総合的に学び、企画やデザインに応用することができます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション	シラバスを読み、わからない言葉を調べておくこと
2: 商品の販売方法について ・店舗の違いと販売方法について	ファッションの販売形態について調べて、情報をまとめる
3: 商品とファッションビジネスについて① ・商品とブランディング	課題プリントの作成
4: 商品とファッションビジネスについて② ・商品とブランディングのリサーチ	テーマに合わせた調査を実施し、プレゼンテーションシートを作成
5: 商品とファッションビジネスについて③ ・商品とサービスの関係　リサーチ結果のプレゼンテーション	発表の準備
6: 子供服 ・新生児用のベビー服からキッズウェアまで	課題プリントの作成
7: フォーマルウェア ・冠婚葬祭最新情報とフォーマルウェアの変化	課題プリントの作成
8: レディースウェア ・シニア向けファッション市場　コンフォートデザイン	課題プリントの作成
9: メンズウェア ・ビジネスウェアとカジュアルウェア　デザインとジェンダー	課題プリントの作成
10: 天神地区　市場調査①　課外授業　フィールドワーク ・調査内容、予定の作成	これまでの学習をまとめ、調査項目を作成する
11: 天神地区　市場調査②　課外授業　フィールドワーク ・百貨店、セレクトショップ、路面店のリサーチ	これまでの学習をまとめ、調査項目を作成する
12: 天神地区　市場調査③　課外授業　フィールドワーク ・店舗における商品展開とデザインのリサーチ	これまでの学習をまとめ、調査項目を作成する
13: 天神地区　市場調査④ ・リサーチの結果をまとめる	課題制作　発表準備
14: 天神地区　市場調査⑤ ・市場調査のプレゼンテーション	課題制作　発表準備
15: 発表とまとめ ・これからのファッションビジネスとは	

＊準備学習についての補足説明
課題プリントや調査など30分以上の準備学習が必要となります
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書はありませんが、毎回テキストプリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出物(50%)、実技評価(30%)、受講態度(10%)、学習の意欲(10%)
※ 原則として評価対象の課題は全て提出すること。また、提出の際は規定のファイル形式で提出すること。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

ファッション雑誌を使用して課題を作成しますので、切り取りのできるファッション雑誌、のり、はさみ等が必要です
また、全ての課題については返却時に個別にフィードバックを実施いたします。

「実務経験教員科目」特記事項:デザインストラテジー修士。理論的なデザイン分析の演習等を取り入れたカリキュラムです。

科目名	科目ナンバリング	学科:	テクニカル専攻科	学年:	1年
素材特性研究	TA32101	開講時期:	後期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	選択		
担当者		免許・資格など			
今福　智美		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1	
DP2	
DP3	
DP4	
DP5	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

衣服は生活する上で欠かせないものです。外部から身を守り、環境に合わせて様々に変化してきました。そして使われる素材も多種にわたります。
繊維・糸・布の性能および構造が、衣服の着心地や外観に与える影響について学びます。

Ⅲ. 学習成果

繊維の分類・特徴を説明することができ、衣服素材の特徴や性能の理解を深めることで、快適な衣生活の提案ができることを目的とします。
実験予想・結果・考察を繰り返すことでプレゼンテーション力の向上につなげます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 繊維とは① 服の起源・身近な繊維	繊維の定義を理解し、疑問や興味を書き出す
2: 繊維とは② 繊維の分類と特徴	着用している衣服や家庭にある衣服の素材を調べ一覧にまとめる
3: 繊維とは③ 繊維の鑑別・燃焼実験　(グループワーク)	燃焼実験の手順を理解し、実験予想を立てる 燃焼実験をまとめレポートに仕上げる
4: 糸とは 糸の大別・糸のより	糸の素材、糸の種類を調べ書き出す
5: 布とは 【布の形態的特性】厚さ・糸密度・剛軟性(グループワーク)	布の定義を理解し、形態的特性をレポートに仕上げる
6: 染色実験　(グループワーク)	染色実験手順を理解し、実験予想を立てる 測定した結果をまとめレポートに仕上げる
7: 衣服材料の性能① 【形態的性能】ドレープ性(グループワーク)	ドレープ性実験の測定手順を理解し、実験予想を立てる 測定した結果をまとめレポートに仕上げる
8: 衣服材料の性能② 【機械的性能】引き裂き強度(グループワーク)	引き裂き強度実験の測定手順を理解し、実験予想を立てる 測定した結果をまとめレポートに仕上げる
9 : 衣服材料の性能③ 【保健衛生的性能】吸水性(グループワーク)	吸水性実験の手順を理解し、実験予想を立てる 測定した結果をまとめレポートに仕上げる
10 : 衣服材料の性能④ 【保健衛生的性能】保温性(グループワーク)	保温性実験の手順を理解し、実験予想を立てる 測定した結果をまとめレポートに仕上げる
11 : 衣服材料の性能④ 【保健衛生的性能】撥水性(グループワーク)	撥水性実験の手順を理解し、実験予測を立てる 測定した結果をまとめレポートに仕上げる
12: 熱移動と水分 人体の熱移動と収着熱の視点から	衣服気候について調査し、説明できるようになる
13 : 衣服材料の性能⑤ 【保健衛生的性能】透湿性(グループワーク)	透湿性実験の手順を理解し、実験予想を立てる 測定した結果をまとめレポートに仕上げる
14: 環境と衣生活 衣服が環境にもたらす影響・人間にもたらす影響	企業の繊維リサイクルへの取り組みを調べまとめる
15: 衣服の取り扱い 洗濯機と洗剤	家庭で使用している洗濯機、洗剤を一覧にまとめる

＊準備学習についての補足説明
予習学習については毎回授業時に説明します。レポート作成の場合は締め切りまでに提出すること。各回　1時間程度行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員作成資料・参考資料を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

レポート提出(50%)　予習学習(20%)　学習、実験への積極性や意欲(30%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

レポートは提出後、添削・評価し返却します。
レポート用紙を準備すること。レポート作成は、手書き・パソコンどちらでも可。
携帯電話およびスマートフォンは、授業内容と関係のある場合の操作は認める。
不明な点は積極的に意見すること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	テクニカル専攻科	学年:	1年
特殊素材製作	TA32202	開講時期:	後期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	選択		
担当者		免許・資格など			
津留﨑　順子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1	
DP2	
DP3	
DP4	
DP5	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

アパレル素材には様々な素材が使われている。その中から薄物やレース、皮革、毛皮などの特殊素材について学ぶ。
それらの特性について学び、素材に適したデザインや縫製方法などを学び、作品を製作する。

Ⅲ. 学習成果

薄物、レース、皮革、毛皮素材などの特性を学び、素材に対する扱いや縫製技術を身につけることができる。
素材に適したデザインを考える。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ●皮革を用いた作品製作(スカート) 皮革の特性を生かしたデザイン及びパターン作成、トワル組み立て	素材収集、市場調査の結果をまとめる
2: 皮革裁断、縫製実験、印し付け、芯裁断	皮革の特性と縫製実験の結果をまとめる
3: 縫製	縫製指示書作成
4: 縫製、仕上げ、合評	縫製指示書確認とまとめ
5: ●レース素材を用いた作品 レースの特徴を生かしたデザイン及びパターン作成	素材収集、市場調査の結果をまとめる
6: シーチングによる仮縫い、縫製実験	トワル組み立て
7: 裁断(表布・裏布)	縫い代確認
8: 裏打ち、通し躾、見返し芯貼り	縫製指示書作成
9: 縫製	レースの特性及び縫製実験の結果をまとめる
10: 縫製	縫製計画確認
11: 縫製、仕上げ、合評	縫製計画確認 ・ 縫製指示書確認とまとめ
12: ●毛皮を使った作品製作 デザイン及びパターン作成、裁断	素材収集、市場調査の結果をまとめる
13: 縫製実験、 縫製	縫製実験の結果をまとめ縫製指示書作成
14: 縫製	縫製計画確認
15: 縫製、仕上げ、合評	縫製指示書確認とまとめ

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教員作成資料配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題作品70%、 レポート20%　学習の意欲10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業時間内に進まなかったり欠席した場合は、次回までに各自で課題を進める努力をしてください。
レポートはコメントをつけて返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	テクニカル専攻科	学年:	1年
デジタルパターン演習	TA33202	開講時期:	後期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	選択		
担当者		免許・資格など			
南　達也		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1	
DP2	
DP3	
DP4	
DP5	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ブラウスの作図をCAD操作で工業用パターンに完成させる。
(入力作業・作図・抜き取り作業・情報付け・縫代付け・サイズ展開・型入れ作業など)
実践形式で、現場で役立つスキルを身につける。

Ⅲ. 学習成果

アパレルCADソフトの操作を習得し、企業の即戦力となる技術が身についている。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: テキスト(パターンマジック　1st　STEP)を使って過去に学習した操作の復習	授業中はメモを取り、ノートにまとめて復習したものを各自用のマニュアルとして作成していく。
2: テキスト(パターンマジック　1st　STEP)入力作業の習得	授業中はメモを取り、ノートにまとめて復習したものを各自用のマニュアルとして作成していく。
3: テキスト(パターンマジック　1st　STEP)各メニューの再確認　管理表作成	授業中はメモを取り、ノートにまとめて復習したものを各自用のマニュアルとして作成していく。※管理表提出
4: ブラウスⅠ作成　身頃の作図	授業中はメモを取り、ノートにまとめて復習したものを各自用のマニュアルとして作成していく。※3回目までのノート提出
5: ブラウスⅠ作成　衿・袖の作図	授業中はメモを取り、ノートにまとめて復習したものを各自用のマニュアルとして作成していく。
6: ブラウスⅠ作成　工業用パターンの準備(地の目　ステッチ　ノッチ　文字入力)	授業中はメモを取り、ノートにまとめて復習したものを各自用のマニュアルとして作成していく。
7: ブラウスⅠ作成　工業用パターンの完成(情報付け　縫代付け　管理表作成)	授業中はメモを取り、ノートにまとめて復習したものを各自用のマニュアルとして作成していく。※管理表提出
8: ブラウスⅡ作成　身頃の作図	授業中はメモを取り、ノートにまとめて復習したものを各自用のマニュアルとして作成していく。※4～7回目までのノート提出
9: ブラウスⅡ作成　衿・袖の作図	授業中はメモを取り、ノートにまとめて復習したものを各自用のマニュアルとして作成していく。
10: ブラウスⅡ作成　工業用パターンの準備(地の目　ステッチ　ノッチ　文字入力)	授業中はメモを取り、ノートにまとめて復習したものを各自用のマニュアルとして作成していく。
11: ブラウスⅡ作成　工業用パターンの完成(情報付け　縫代付け　管理表作成)	授業中はメモを取り、ノートにまとめて復習したものを各自用のマニュアルとして作成していく。※管理表提出
12: ジャケット作成　身頃の作図	授業中はメモを取り、ノートにまとめて復習したものを各自用のマニュアルとして作成していく。※8～11回目までのノート提出
13: ジャケット作成　衿・袖の作図	授業中はメモを取り、ノートにまとめて復習したものを各自用のマニュアルとして作成していく。
14: 実寸パターンの出力　型入れ図の提出	授業中はメモを取り、ノートにまとめて復習したものを各自用のマニュアルとして作成していく。
15: グレーディング　基本的なグレーディングの考え方	授業中はメモを取り、ノートにまとめて復習したものを各自用のマニュアルとして作成していく。

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回30分以上行うこと。
内容についての詳細は毎回の授業で説明します。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

提出課題90%　学習の意欲10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出された管理表、またノートは講師が個別に講評します。

「実務経験教員科目」特記事項:　アパレルメーカー所属、後のフリーランスで培ったアパレル業界全体の経験を活かし、より実践に近い内容でCADの操作と、その活用の意義を伝える授業を行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	テクニカル専攻科	学年:	1年
インターンシップB	TA34102	開講時期:	後期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1	
DP2	
DP3	
DP4	
DP5	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学外の現場におけるデザイン企画、縫製技術、販売技術、生産管理等の専門分野に関わる業務等を学び、ファッションビジネスの考え方と現状を理解する。それと同時に自らの進路について考えるきっかけとなることを目的とする。

Ⅲ. 学習成果

様々な分野において専門知識を活かして社会人として自立するために必要なことは何かを知る。
実際の現場で体験することにより、将来の進路の方向性を見出すことができるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: インターンシップについての説明 職種別調査	インターンシップを体験したい職種の事前調査を行う
2: インターンシップ希望企業の調査	インターンシップ受入れ企業の事前調査を行う
3: アピールシート、履歴書の書き方、基本マナーの指導	アピールシート、履歴書の作成
4: アピールシート、履歴書の書き方、基本マナーの指導	アピールシート、履歴書の作成
5: 書類作成、インターンシップでの注意事項の説明	
6: 現場実習　実習時期　主に2月下旬～3月末 実習期間　1日8時間×4日間(21コマ)　体験内容　基本業務　企業でのマナー	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
7: 現場実習　実習時期　主に2月下旬～3月末 実習期間　1日8時間×4日間(21コマ)　体験内容　基本業務　企業でのマナー	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
8: 現場実習　実習時期　主に2月下旬～3月末 実習期間　1日8時間×4日間(21コマ)　体験内容　基本業務　企業でのマナー	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
9: 現場実習　実習時期　主に2月下旬～3月末 実習期間　1日8時間×4日間(21コマ)　体験内容　基本業務　企業でのマナー	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
10: 現場実習　実習時期　主に2月下旬～3月末 実習期間　1日8時間×4日間(21コマ)　体験内容　基本業務　企業でのマナー	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
11: 現場実習　実習時期　主に2月下旬～3月末 実習期間　1日8時間×4日間(21コマ)　体験内容　基本業務　企業でのマナー	一日の実習報告書を作成して、企業の確認印をもらう
12: インターンシップ終了後の報告会	
13: 企業へのお礼状作成について	企業へのお礼状の作成
14: 企業へのお礼状作成について	実習レポートの作成
15: まとめ　実習レポート提出	

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない
資料はプリントで配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

レポート80%　提出物10%　事後指導での学習の意欲10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

事前事後の研修を必ず受けること

科目名	科目ナンバリング	学科:	テクニカル専攻科	学年:	1年
海外学修	TA34104	開講時期:	後期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1	
DP2	
DP3	
DP4	
DP5	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ファッションを取り巻く現代と過去の文化や歴史に触れ、質の高い製品作りを体感できるヨーロッパでの研修を目的としています。
イタリアの都市ミラノ・ヴェネツィア・フィレンツェ・ローマにおいてファッションの異文化に触れることで日本や学校では学べない知識や見聞を広めます。

Ⅲ. 学習成果

ヨーロッパの文化や歴史に触れ、知識や見聞を広げ新しい考え方を身につけます。
団体行動を通して、人間力、協調性、コミュニケーション能力を身に付けます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
Ⅰ 研修計画の概要(予定) 研修実施国:イタリア(ローマ・ヴェネツィア・フィレンツェ・ミラノ) 研修内容 各都市での歴史や文化探訪 ミラノ:ドゥオーモ見学 ヴェネツィア:サンマルコ大聖堂、アカデミア美術館見学 フィレンツェ:ファッション関係美術館見学、皮革製品工場見学 ローマ:ファッション専門学校研修 各都市でのグループ研修 ※詳細は、5月に予定している説明会でお知らせします	説明会後の予定 6月 参加申し込み締め切り 7月 参加者説明会(旅行社) 8月 履修登録、パスポートコピー提出、他 9月 保険等書類提出
Ⅱ 指導内容	
1: 授業の内容説明、研修個人テーマ設定	研修場所について調べる
2: 最終日程について、荷物の計画、グループテーマ	グループ研修の場所を調べる
3: 個人テーマ、グループ研修設定	研修場所を調べ、個人テーマについて考える
4: グループ研修決定	研修場所の交通機関や訪問先などを調べる
5: 学科長より海外研修について	研修計画を決定し、自分の荷物等を把握しておく
6: 最終説明会(旅行社)	外貨交換のためのレートを調べる。
7: 海外研修期間(8日間)	レポートをまとめる為の記録を取っておく
8: 〃	〃
9: 〃	〃
10: 〃	〃
11: 〃	〃
12: 〃	〃
13: 〃	〃
14: 〃	〃
15: 研修レポート作成について、アンケート ※決められた日時にレポートを提出すること	レポートを作成する

＊準備学習についての補足説明
個人・グループのテーマ設定においてイタリアの都市を充分に調べる為の時間(1週間に1時間程度)を取ること。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

研修先に関するガイドブックは各自または各グループで準備すること。
その他必要な資料は配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

現地研修の参加 55% レポート 35% 研修参加態度 10%
専攻科独自の課題レポートの提出が別に必要です。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

現地研修の時間についてはファッション総合学科の学生と同様であるが、学修成果充実のために事前指導、事後指導の時間を別途取ります。
研修地での行動は、ルールを守りグループで行動すること。
現地研修終了後のレポートが未提出の場合、単位は修得できません。